

AO

平成 28 年度 2016

広島大学 AO入試 学生募集要項

総合評価方式

募集学部

総合科学部

文学部

教育学部

法学部

経済学部

理学部

医学部

歯学部

薬学部

工学部

生物生産学部



HIROSHIMA UNIVERSITY

広島大学は、挑戦する意欲を持ち、行動を起こす人材を育てます。

広島大学のアドミッション・ポリシー

広島大学は、挑戦する意欲を持ち、行動を起こす人材を育てます。

また、自ら考え、判断し、表現することができる創造性豊かな人材の育成に努めます。

広島大学は、次のような人の入学を期待しています。

- 豊かな心を持ち平和に貢献したいと願う人
- 知の探求・創造・発展に意欲のある人
- 専門知識・技術を身につけ、社会の発展に貢献したい人
- 多様な文化・価値観を学び、地域・国際社会で活躍したい人

各学部・学科等では、それぞれの教育目的・目標に沿ったアドミッション・ポリシーを明示して、個性を尊重する多様な選抜を実施しています。

広島大学は、このようにして受け入れた人たちと共に「世界トップレベルの特色ある総合研究大学」を目指します。

目 次

| | |
|-------------------|---|
| 広島大学のアドミッション・ポリシー | |
| 募集学部・学科等関連ページ一覧 | 1 |
| AO入試（総合評価方式）について | 3 |
| 1. AO入試について | 3 |
| 2. 総合評価方式について | 3 |

総合評価方式Ⅰ型（大学入試センター試験を課さない入試） 募集学部・学科等

総合科学部総合科学科

教育学部第二類（科学文化教育系）数理系コース

教育学部第三類（言語文化教育系）国語文化系コース，英語文化系コース，日本語教育系コース

教育学部第四類（生涯活動教育系）健康スポーツ系コース，人間生活系コース，音楽文化系コース，造形芸術系コース

理学部数学科，物理科学科，化学科，生物科学科，地球惑星システム学科

工学部第四類（建設・環境系）

| | |
|-------------------------|----|
| 1. 募集人員・実施日程 | 7 |
| 2. アドミッション・ポリシー（求める学生像） | 9 |
| 3. 出願資格 | 12 |
| 4. 出願手続 | 14 |
| 5. 入学者選抜方法等 | 17 |
| 6. 教育学部実技検査実施要項 | 23 |
| 7. 合格者発表等 | 25 |

総合評価方式Ⅱ型（大学入試センター試験を課す入試） 募集学部・学科等

教育学部第一類（学校教育系）初等教育教員養成コース，特別支援教育教員養成コース

教育学部第二類（科学文化教育系）自然系コース，技術・情報系コース，社会系コース

教育学部第五類（人間形成基礎系）教育学系コース，心理学系コース

法学部法学科夜間主コース

経済学部経済学科昼間コース，夜間主コース

医学部医学科，保健学科看護学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻

歯学部歯学科，口腔健康科学科口腔保健学専攻，口腔工学専攻

薬学部薬学科，薬科学科

工学部第一類（機械システム工学系）

工学部第二類（電気・電子・システム・情報系）

工学部第三類（化学・バイオ・プロセス系）

生物生産学部生物生産学科

| | |
|-------------------------|----|
| 1. 募集人員・実施日程 | 26 |
| 2. アドミッション・ポリシー（求める学生像） | 28 |
| 3. 出願資格 | 32 |
| 4. 出願手続 | 37 |
| 5. 入学者選抜方法等 | 41 |
| 6. 大学入試センター試験 | 50 |
| 7. 合格者発表等 | 53 |

総合評価方式Ⅲ型（ゼミナール（授業）への出席を課す入試） 募集学部・学科等

文学部人文学科

| | |
|-------------------------|----|
| 1. 募集人員 | 54 |
| 2. 実施日程 | 54 |
| 3. アドミッション・ポリシー（求める学生像） | 54 |
| 4. 出願資格 | 55 |
| 5. 出願手続 | 56 |
| 6. 入学者選抜方法等 | 58 |
| 7. 合格者発表等 | 60 |

共通事項

| | |
|----------------------------|---|
| 1. 出願書類等提出先 | 61 |
| 2. 出願に関する注意事項 | 61 |
| 3. 受験に関する注意事項 | 61 |
| 4. 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談 | 61 |
| 5. 合格しなかった者の取扱い | 62 |
| 6. 入学手続（概要） | 62 |
| 7. 長期履修学生制度について | 62 |
| 8. 学生宿舎について | 62 |
| 英語外部検定試験を利用したAO入試について | 63 |
| インターネットで出願できます！ | 64 |
| 入学資格の個別審査について | 68 |
| 広島大学AO入試における成績の開示について | 69 |
| 試験場位置図 | 70 |
| 広島大学の入試に関する情報について | 73 |
| 広島大学フェニックス奨学制度 | 74 |
| 広島大学位置図 | 裏表紙裏面 |
| 学部等照会先 | 裏表紙 |
| 添付用紙 | 入学志願票，写真票・受験票・入学検定料振込証明書貼付用紙・大学入試センター試験成績請求・受験教科・科目確認票，住所票，実技検査受験種目届，自己推薦書，スポーツ種目競技実績調査書，美術に関わる活動実績調査書，入学検定料振込依頼書（入金票），ハガキ（出願書類受領通知及び受験番号通知用），封筒（小：AO入試受験票等送付用，大：AO入試出願用） |

募集学部・学科等関連ページ一覧

| 学 部 | 学 類 コ 専 | (系) 一 ス 攻 | 募集人員 | | | 募集学部・学科等関連ページ 下記に示すページは必ず確認してください。 | |
|-------|------------------|----------------|--------|---------------------------|-------|---|---------------------------------|
| | | | 総合評価方式 | | | | |
| | | | I 型 | II 型 | III 型 | | |
| 総合科学部 | 総合科学科 | | 12 | | | 7~9, 12, 14~17, 25 | |
| 文学部 | 人文学科 | | | | 25 | 54~60 | |
| 教育学部 | 第一類 (学校教育系) | 初等教育教員養成コース | | 10 | | | 26~28, 32, 37~41, 50, 52~53 |
| | | 特別支援教育教員養成コース | | 7 | | | 26~28, 32, 37~41, 50, 52~53 |
| | 第二類 (科学文化教育系) | 自然系コース | | | 6 | | 26~28, 32, 37~41, 50, 52~53 |
| | | 数理系コース | 5 | | | | 7~9, 12, 14~17, 25 |
| | | 技術・情報系コース | | | 4 | | 26~28, 32, 37~40, 42, 50, 52~53 |
| | | 社会系コース | | | 4 | | 26~28, 32, 37~40, 42, 50, 52~53 |
| | 第三類 (言語文化教育系) | 国語文化系コース | 7 | | | | 7~9, 12, 14~17, 25 |
| | | 英語文化系コース | 8 | | | | 7~9, 12, 14~16, 18, 25 |
| | | 日本語教育系コース | 11 | | | | 7~9, 12, 14~16, 18, 25 |
| | 第四類 (生涯活動教育系) | 健康スポーツ系コース | 10 | | | | 7~9, 12, 14~16, 18, 23, 25 |
| | | 人間生活系コース | 3 | | | | 7~9, 12, 14~16, 19, 25 |
| | | 音楽文化系コース | 5 | | | | 7~8, 10, 12, 14~16, 19, 23~25 |
| | | 造形芸術系コース | 5 | | | | 7~8, 10, 12, 14~16, 19, 24~25 |
| | 第五類 (人間形成基礎系) | 教育学系コース | | | 5 | | 26~28, 32, 37~40, 42, 50, 52~53 |
| | | 心理学系コース | | | 5 | | 26~28, 32, 37~40, 43, 50, 52~53 |
| | 法学部 | 法学科 | 夜間主コース | | 5 | | 26~28, 32, 37~40, 43, 50~53 |
| 経済学部 | 経済学科 | 昼間コース | | 15 (A選抜 13 B選抜 2) | | 26~27, 29, 33, 37~40, 44, 50~53 | |
| | | 夜間主コース | | 15 | | 26~27, 29, 33, 37~40, 44, 50~53 | |

注1 1~6ページ及び61~74ページは全募集単位共通事項となりますので必ず確認してください。

注2 AO入試の総合評価方式の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は、一般入試(前期日程)の募集人員に含めます。

| 学 部 | 学 類 （ 系 ） コ 専 攻 | | 募集人員 | | | 募集学部・学科等関連ページ 下記に示すページは必ず確認してください。 |
|--------|---------------------------------|---------------|----------------------------|--|-------|---|
| | | | 総合評価方式 | | | |
| | | | I 型 | II 型 | III 型 | |
| 理 学 部 | 数 学 科 | | 7 | | | 7～8, 10, 12, 14～16, 20, 25 |
| | 物 理 科 学 科 | | 10 | | | 7～8, 10, 12, 14～16, 20, 25 |
| | 化 学 科 | | 10 (化学グランプリ利用含む) | | | 7～8, 10, 12, 14～16, 20, 25 |
| | 生 物 科 学 科 | | 7 (一般型 5 科学オリンピック型2) | | | 7～8, 11, 13～16, 21, 25 |
| | 地球惑星システム学科 | | 5 (日本地学オリンピック 利用含む) | | | 7～8, 11, 13～16, 21, 25 |
| 医 学 部 | 医 学 科 | | | 5 | | 26～27, 29, 33, 37～40, 44, 50～53 |
| | 保 健 学 科 | 看 護 学 専 攻 | | 8 (一般型 1 大学院進学位型 5 専門型 3) | | 26～27, 29, 34, 37～40, 45, 50～53 |
| | | 理 学 療 法 学 専 攻 | | 3 (大学院進学位型) | | 26～27, 29, 34, 37～40, 45, 50～53 |
| | | 作 業 療 法 学 専 攻 | | 4 (大学院進学位型) | | 26～27, 29, 34, 37～40, 45, 50～53 |
| 歯 学 部 | 歯 学 科 | | | 5 | | 26～27, 30, 34, 37～40, 45, 50～53 |
| | 口 腔 健 康 科 学 科 | 口 腔 保 健 学 専 攻 | | 5 | | 26～27, 30, 34, 37～40, 46, 50～53 |
| | | 口 腔 工 学 専 攻 | | 3 | | 26～27, 30, 34, 37～40, 46, 50～53 |
| 薬 学 部 | 薬 学 科 | | | 5 | | 26～27, 30, 34, 37～40, 47, 50, 52～53 |
| | 薬 科 学 科 | | | 7 | | 26～27, 30, 34, 37～40, 47, 50, 52～53 |
| 工 学 部 | 第 一 類 (機械システム工学系) | | | 5 | | 26～27, 31, 35, 37～40, 47, 50, 52～53 |
| | 第 二 類 (電気・電子・システム・情報系) | | | 5 | | 26～27, 31, 35, 37～40, 48, 50, 52～53 |
| | 第 三 類 (化学・バイオ・プロセス系) | | | 7 | | 26～27, 31, 35, 37～40, 48, 50, 52～53 |
| | 第 四 類 (建設・環境系) | | 5 | | | 7～8, 11, 13～16, 22, 25 |
| 生物生産学部 | 生 物 生 産 学 科 | | | 15 (A型(専門型) 2 B型(研究者 養成型) 4 C型(一般型) 9) | | 26～27, 31, 36～40, 49, 50, 52～53 |

注1 1～6ページ及び61～74ページは全募集単位共通事項となりますので必ず確認してください。

注2 AO入試の総合評価方式の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は、一般入試(前期日程)の募集人員に含めます。

AO入試（総合評価方式）について

1. AO入試について

広島大学は、平成28年度入学者選抜を、「一般入試」と「AO入試」の2つに大別して行います。

このうち、AO入試は、平成17年度まで実施していた推薦入学、AO入試、特別選抜及びフェニックス入学制度を一つにまとめたものであり、学部・学科等それぞれの募集単位が、アドミッション・ポリシー（求める学生像）に従って、小論文、筆記試験、面接、実技、出願書類等を用いて実施する入学者選抜です。

AO入試には、総合評価方式、対象別評価方式及びフェニックス方式の3つの方式があります。この募集要項は、総合評価方式についてのものです。

<平成28年度広島大学の入学者選抜の分類>

| | | |
|-------|------------------------|--------------------------|
| 一般入試 | 前期日程 | |
| | 後期日程 | |
| AO入試 | 総合評価方式 | I型（大学入試センター試験を課さない入試） |
| | | II型（大学入試センター試験を課す入試） |
| | | III型（ゼミナール（授業）への出席を課す入試） |
| | 対象別評価方式 | 帰国生入試 |
| 社会人入試 | | |
| | フェニックス方式（中高年者を対象とした入試） | |
| 推薦入試 | 医学部医学科推薦入試「ふるさと枠」 | |

2. 総合評価方式について

(1) 総合評価方式による選抜の考え方

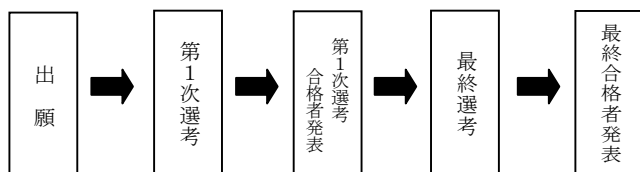
- ① 小論文や筆記試験、面接、実技、出願書類、プレゼンテーションなどを組み合わせ、各学部・学科等のアドミッション・ポリシーに従って、きめ細かな選抜を行います。
- ② 受験者が大学入学までに培ってきた学力や課外活動及び社会的な活動などを、結果だけではなく、そのプロセスについても評価します。
- ③ 受験者一人一人が持っている将来の夢や、ぜひ広島大学で学び、研究してみたいという強い意欲を重視します。
- ④ 受験者の将来の夢を叶えるために、そして大学での勉強を継続するために必要な基礎的な学力の判定を行います。
- ⑤ 自分の意見を他の人にわかりやすく伝えたり、他人の意見を理解し行動したりする力などを、面接やプレゼンテーションなどをおして評価します。

(2) 総合評価方式の7つのパターン

① I型（大学入試センター試験を課さない入試）

【総合科学部, 教育学部(第二類数理系コース, 第三類, 第四類), 理学部(化学科, 生物科学科(一般型))】

ア. 選抜のプロセス



イ. 選抜の概要

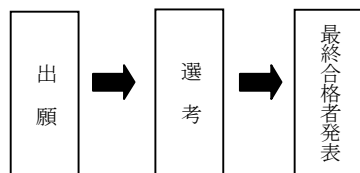
第1次選考：出願書類（調査書，自己推薦書等）により選考します。

最終選考：小論文や筆記試験，面接，実技などを総合して選考します。

② I型（大学入試センター試験を課さない入試）

【理学部(数学科, 物理科学科, 生物科学科(科学オリンピック型), 地球惑星システム学科), 工学部(第四類)]

ア. 選抜のプロセス



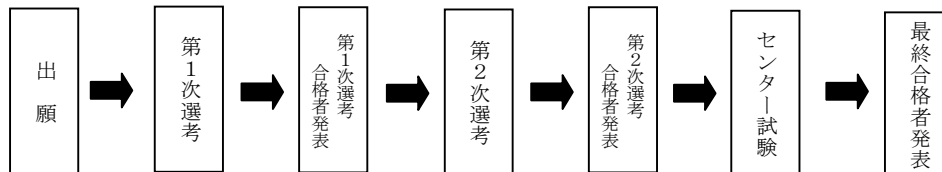
イ. 選抜の概要

選考：小論文や筆記試験，面接，出願書類（調査書，自己推薦書等）などを総合して選考します。

③ II型（大学入試センター試験を課す入試）

【教育学部(第一類, 第二類自然系コース, 技術・情報系コース, 社会系コース, 第五類), 生物生産学部】

ア. 選抜のプロセス



イ. 選抜の概要

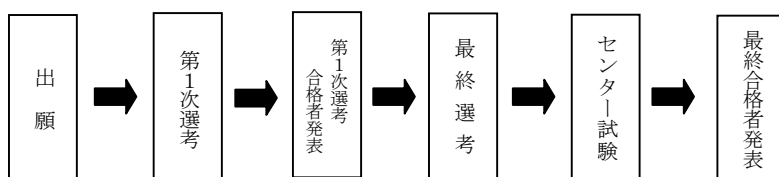
第1次選考：出願書類（調査書，自己推薦書等）により選考します。

第2次選考：小論文や面接などを総合して選考します。

最終選考：大学入試センター試験の指定した科目の得点の合計が合格基準点以上であった者を最終合格者とします。

④ II型（大学入試センター試験を課す入試）【医学部，歯学部，薬学部】

ア. 選抜のプロセス



イ. 選抜の概要

【医学部医学科】

第1次選考：出願書類（調査書，自己推薦書及び出願要件を証明できる書類）により選考します。

最終選考：小論文や面接などを総合して選考します。なお，最終合格者となるには，大学入試センター試験の指定した科目の得点合計が合格基準点以上であることが必要です。

【医学部保健学科】

第1次選考：出願書類（調査書，自己推薦書）により選考します。

最終選考：小論文や面接などを総合して選考します。なお，最終合格者となるには，大学入試センター試験の指定した科目の得点合計が概ね合格基準点以上であることが必要です。

【歯学部，薬学部】

第1次選考：出願書類（調査書，自己推薦書）により選考します。

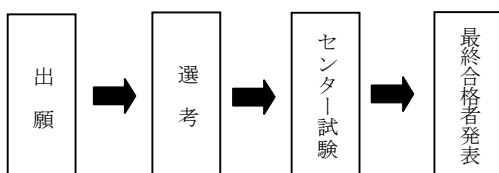
歯学部は上記に加え小論文を課し，出願書類と総合して選考します。

最終選考：小論文や筆記試験及び面接などを総合して選考します。なお，最終合格者となるには，大学入試センター試験の指定した科目の得点合計が概ね合格基準点以上であることが必要です。

⑤ II型（大学入試センター試験を課す入試）

【法学部(夜間主コース)，経済学部】

ア. 選抜のプロセス



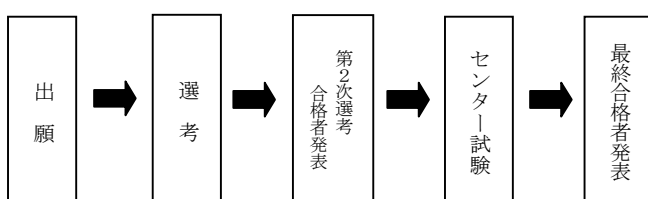
イ. 選抜の概要

選考：小論文，面接，出願書類（調査書，自己推薦書）などを総合して選考します。なお，最終合格者となるには，大学入試センター試験の指定した科目の得点合計が概ね合格基準点以上あることが必要です。

⑥ II型（大学入試センター試験を課す入試）

【工学部(第一類，第二類，第三類)】

ア. 選抜のプロセス



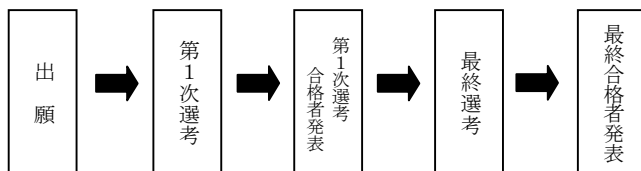
※第1次選考は行いません。

イ. 選抜の概要

選考：小論文、面接及び出願書類（調査書、自己推薦書）などを総合して選考します。なお、最終合格者となるには、大学入試センター試験の指定した科目の得点合計が概ね合格基準点以上あることが必要です。

⑦ Ⅲ型（ゼミナール(授業)への出席を課す入試)【文学部】

ア. 選抜のプロセス



イ. 選抜の概要

第1次選考：本学教員が行う分野別ゼミナール（授業）の受講，ゼミナール終了後に課される総合問題，出願書類（自己推薦書）を総合して選考します。

第1次選考における合格予定者数は，ゼミナール開設分野ごとに5名までとします。

最終選考：ゼミナール開設分野ごとに面接を行います。

総合評価方式 I 型

(大学入試センター試験を課さない入試)

- ・ 総合科学部 総合科学科
- ・ 教育学部 第二類 (科学文化教育系) 数理系コース
- ・ 教育学部 第三類 (言語文化教育系) 国語文化系コース
- ・ 教育学部 第三類 (言語文化教育系) 英語文化系コース
- ・ 教育学部 第三類 (言語文化教育系) 日本語教育系コース
- ・ 教育学部 第四類 (生涯活動教育系) 健康スポーツ系コース
- ・ 教育学部 第四類 (生涯活動教育系) 人間生活系コース
- ・ 教育学部 第四類 (生涯活動教育系) 音楽文化系コース
- ・ 教育学部 第四類 (生涯活動教育系) 造形芸術系コース
- ・ 理学部 数学科
- ・ 理学部 物理科学科
- ・ 理学部 化学科
- ・ 理学部 生物科学科
- ・ 理学部 地球惑星システム学科
- ・ 工学部 第四類 (建設・環境系)

1. 募集人員・実施日程

| 学 部 | 学 科 等 | 募集人員 | 出願期間 | 第1次選考 | |
|------------|----------------|-------------|-------------------------------------|------------------------------------|------|
| 総合科学部 | 総合科学科 | 12名 | 平成27年10月5日(月) ～ 平成27年10月9日(金) | 書類選考 | |
| 教育学部 | 第二類(科学文化教育系) | 数理系コース | | | 5名 |
| | 第三類(言語文化教育系) | 国語文化系コース | | | 7名 |
| | | 英語文化系コース | | | 8名 |
| | | 日本語教育系コース | | | 11名 |
| | 第四類(生涯活動教育系) | 健康スポーツ系コース | | | 10名 |
| | | 人間生活系コース | | | 3名 |
| | | 音楽文化系コース | | 5名 | |
| 造形芸術系コース | | 5名 | | | |
| 理学部 | 数学科 | | | 7名 | / |
| | 物理科学科 | | | 10名 | |
| | 化学科 | 一般型 | | 10名 | 書類選考 |
| | | (化学グランプリ利用) | | | |
| | 生物科学科 | 一般型 | 5名 | | |
| | | 科学オリンピック型 | 2名 | 平成27年8月31日(月) ～ 平成27年9月4日(金) | |
| 地球惑星システム学科 | 一般型 | 5名 | 平成27年10月5日(月) ～ 平成27年10月9日(金) | | |
| | (日本地学オリンピック利用) | | | | |
| 工学部 | 第四類(建設・環境系) | | | 5名 | / |

(注) 合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員は一般入試(前期日程)の募集人員に含めます。

| 第1次選考 合格者発表 | 選考／最終選考 | 最終合格者発表 | 入学手続期間 |
|----------------|--|-------------------------------------|---|
| 平成27年10月28日(水) | 平成27年11月14日(土) 平成27年11月19日(木) ∩ 平成27年11月20日(金) | 平成27年11月27日(金) | 平成27年11月30日(月) ∩ 平成27年12月4日(金) |
| / | / | / | / |
| 平成27年10月28日(水) | 平成27年11月20日(金) 平成27年11月19日(木) ∩ 平成27年11月20日(金) | / | / |
| / | 書類選考 平成27年11月19日(木) ∩ 平成27年11月20日(金) 平成27年11月20日(金) 平成27年11月19日(木) ∩ 平成27年11月20日(金) | 平成27年9月24日(木) 平成27年11月27日(金) | 平成27年9月25日(金) ∩ 平成27年10月1日(木) 平成27年11月30日(月) ∩ 平成27年12月4日(金) |

2. アドミッション・ポリシー（求める学生像）

| 学部・学科等 | アドミッション・ポリシー |
|---|--|
| <p>総合科学部 総合科学科</p> | <p>総合科学部では、豊かな人間的教養を備えると同時に、幅広い知識を統合して問題解決を図ることができ、国際社会に貢献できる人材の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) はっきりとした目的意識を持ち、高等学校までの基礎的学力を幅広く身につけた人 (2) 文系・理系の枠にとらわれない、知的好奇心の旺盛な人 (3) ある分野で特に優れた能力や資質を持つ人 (4) 他者を理解し自己を表現できる能力を身につけ、卒業後、地域、社会、国の境界を越えて活躍できる人</p> |
| <p>教育学部 第二類 (科学文化教育系) 数理系コース</p> | <p>数理系コースでは、高等学校までの学習・生活を通して数学の基礎的・基本的内容を確実に身につけ、自ら考える力と豊かな心及び数学に強い興味と関心を持ち、将来数学科の中・高等学校教員や教育専門家としてすぐれた教育を実践し、あるいは大学院に進学して数学教育学の研究者としての研鑽を積み、学校・大学や社会において数学教育の発展に貢献しようという強い意欲を持つ人材を求めています。</p> |
| <p>教育学部 第三類 (言語文化教育系) 国語文化系コース</p> | <p>国語文化系コースでは、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 人間的な資質にすぐれ、感性が豊かで創造性に富む人 (2) 高等学校もしくは中等教育学校在学中の学力が優れていて、国語文化に高い関心がある人 (3) 学校教育および生涯教育などの場で活躍しようとする、また、大学院に進学して国語教育学あるいは国語科内容学系領域（国語学、国文学、漢文学）を研究しようとする強い意欲のある人</p> |
| <p>教育学部 第三類 (言語文化教育系) 英語文化系コース</p> | <p>英語文化系コースでは、豊かな人間的教養を備えると同時に、幅広い知識を統合して問題解決を図ることができ、グローバル社会に貢献できる人材の育成を目指しており、次のような学生を求めます。</p> <p>(1) 高等学校までの基礎的・基本的な学力を幅広く身につけた人 (2) 英語を的確に理解でき、適切に運用できる一定程度の英語コミュニケーション能力を身につけている人 (3) 既存の学問分野の枠を超えて、より広い視野で世界や日本を見ようとする人 (4) 自らの問題意識に基づいて主体的に学び、論理的に表現できる人 (5) 中等教育の英語科教員を目指す人、また、広く英語を用いてグローバル社会に貢献しようとする人</p> |
| <p>教育学部 第三類 (言語文化教育系) 日本語教育系 コース</p> | <p>日本語教育系コースでは、日本語を外国語として教える日本語教師をはじめとして、日本語・日本文化について国際社会で説明できる知識と語学力、先入観にとらわれない真の国際感覚と独創性を備えて、これからの地球社会で幅広く活躍できる人材の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 日本語を的確に理解し、適切に運用できる人 (2) 自分の頭で考え、自分のことばで語り、主体的にコミュニケーションできる人 (3) 日本語だけでなく外国語に対して深い関心と高い能力がある人 (4) 異文化交流の経験を持ち、異文化に対する受容・適応能力が高い人 (5) 日本語を教えることの意義をよく理解し、情熱をもって取り組むことができる人</p> |
| <p>教育学部 第四類 (生涯活動教育系) 健康スポーツ系 コース</p> | <p>健康スポーツ系コースでは、特定の運動・スポーツ種目において高い競技水準を持ち、入学後に大学スポーツ（課外活動を含む）の発展に貢献するとともに、健康や運動・スポーツの指導や研究に強い関心と意欲を持った次のような学生を、AO入試では求めています。</p> <p>(1) 中学校または高等学校の保健体育科の教員をめざす人 (2) 競技スポーツや生涯スポーツ、健康づくりの分野における指導者をめざす人 (3) 将来、大学院に進み、健康やスポーツに関する教育・研究の専門家をめざす人</p> |
| <p>教育学部 第四類 (生涯活動教育系) 人間生活系コース</p> | <p>人間生活系コースでは、人間生活教育学、生活経営学、人間発達科学、住居学、食物学、アパレル科学など人間生活の向上・発展に貢献する専門科学の研究や教育に関心を持ち、主体的・意欲的に問題を探究できる学生、あるいはこれらを基盤にして学校教育に活かそうとする次のような学生を、AO入試では求めています。</p> <p>(1) 家庭科教育及び関連の学問に強い関心をもち、中学校および高等学校の家庭科の教員をめざす人 (2) 将来、大学院に進み、プロフェッショナルとして人間生活に関する教育や専門科学の研究に携わろうとしている人 (3) 新たな発想をもって、人間生活に関する教育的な課題や学問的な課題の解決について考えることのできる人</p> |

| 学部・学科等 | アドミッション・ポリシー |
|-----------------------------------|--|
| 教育学部 第四類 (生涯活動教育系) 音楽文化系コース | <p>音楽文化系コースでは、AO入試で、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 幼児から高齢者までの総合的な音楽教育に強い関心を持ち、将来、特に中・高等学校の音楽科教員、あるいは生涯学習活動の教育者になることを希望している人</p> <p>(2) 現代の多様な音楽文化の発展や教育的分野の状況に関心を持ち、将来、音楽文化教育・社会教育等の専門的な指導者になろうという意欲を持つ人</p> <p>(3) 将来、大学院に進学して音楽教育学、音楽学等の研究者、または作曲、声楽、器楽等の専門家となり、これらの分野の発展に貢献したい人</p> |
| 教育学部 第四類 (生涯活動教育系) 造形芸術系コース | <p>造形芸術系コースでは、AO入試で、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 中等教育における造形芸術教育に強い関心を持ち、教員をめざす意欲と能力を十分に持っている人</p> <p>(2) 生涯にわたって造形芸術の活動をし続ける人々を支援する指導者として、社会に貢献することに強い希望を持っている人</p> <p>(3) 将来大学院に進み、さまざまな教育の場において、より専門的な造形芸術の教育・研究に携わることをめざしている人</p> <p>(4) 学校でのさまざまな活動やボランティア等の社会的な活動の経験があり、それを造形芸術の教育・研究の分野で発展させようとする強い意志を持っている人</p> |
| 理学部 数学科 | <p>数学科では、創造性豊かな教育を重視し、現代数学の基礎をしっかりと身につけ、数学的感性と幅広い教養に根ざした総合的判断力をもった人材の養成を目指しています。</p> <p>AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 高等学校での基礎的学力を身につけ、特に数学に関して高い学力を有する人。また、数学をはじめとする大学での学習のために欠かせない文章読解力、そして自分の考えを論理的に表現できる能力を有する人</p> <p>(2) 積極的に数学科の仲間と議論し、難しい課題にも意欲的に取り組み、数学科の仲間をリードして数学科を元気にしてくれる人</p> <p>(3) 次のような将来像を描いている人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学の発展を担う研究者 ・数学の楽しさと本質を知り、自信をもって教壇に立てる教育者 ・数学的思考能力・創造力を活かして活躍する社会人 |
| 理学部 物理科学科 | <p>物理科学科では、基礎学力を備え、知識や意見を発信・共有するためのコミュニケーション能力や応用力を備えている人材、また、自ら考えて課題を見つけ出し、自らその解決の方策を考えることのできる人材の育成を目指しています。AO入試では、特に次のいずれかに当てはまるような学生を求めています。</p> <p>(1) 高等学校の物理学および数学について高い学力をもち、学業成績が優秀で勉学意欲にあふれている人</p> <p>(2) 物理学への強い興味をもっており、物理学に係わるクラブ活動、各種シンポジウムや物理学コンテストなどへの参加を積極的に行ってきた実績を有する人</p> <p>(3) 科学者として自らを高めるために大学院に進学して専門性と独創性を磨き、国際的な研究プロジェクトにも参加して、将来、研究者、技術者、教育者になりたいと考えている人</p> |
| 理学部 化学科 | <p>化学は、原子・分子を考え方の基本としており、自然科学や生命科学のあらゆる分野と密接に関係しているという立場から、化学科では、自ら考えて課題を見つけ出し、自らその解決の方策を考えることのできる人材の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 化学がその基礎をなす広い研究領域を理解するために必要な数学と物理の基礎学力、および語学力(英語)も有している人</p> <p>(2) 化学への強い興味を持ち、各種シンポジウムやコンテストなどへ積極的に参加した実績を有する人</p> <p>(3) 化学を通して国際社会においても活躍する意欲のある人。さらに大学院に進学して専門性と独創性を磨き、化学の分野で研究者、技術者、教育者になることを希望する人</p> |

| 学部・学科等 | アドミッション・ポリシー |
|---|---|
| <p style="text-align: center;">理学部 生物科学科</p> | <p>生物科学科では、分子・細胞レベルから個体・集団レベルにみられる生物学的要素や事象を体系的に学習できる基礎生物学教育を行い、生物や生命現象を多角的に捉えることができる人材の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 生物を学ぶために必要な基礎学力があり、下記のいずれかに該当する人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物を含む高校理科学科の成績が群を抜いて優秀である ・生物や生物が関わる自然現象について、課外活動を通して或いは自身で調査究明し、大きな成果を得たことがある ・国際生物学オリンピックなどの生物学に関連したコンテストや各種シンポジウムに参加し、優秀な成績をおさめたことがある <p>(2) 生物や生物が関わる自然現象に強い好奇心をもち、自ら探求する意欲のある人</p> <p>(3) 生物学の専門的知識や経験を活かして社会に貢献することを目指している人</p> |
| <p style="text-align: center;">理学部 地球惑星システム 学科</p> | <p>地球惑星システム学科では、地球惑星科学の広い分野を基盤に持つ研究者、技術者、教育者の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 地球惑星科学を学ぶために必要な英語・数学・理科の基礎学力があり、下記のいずれかに該当する人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地学一般・自然災害・環境問題に関心があり、関連する書籍を読むなど積極的に学んでいる人 ・地質・化石・鉱物に興味があり、野外調査を行った経験のある人、または行う意欲のある人 ・理科のコンテスト、または地球・惑星に関するシンポジウムに積極的に参加した経験のある人 ・課外活動などでリーダーシップを発揮した経験のある人 <p>(2) 地球惑星科学の広い分野を学び、地球や惑星の進化・ダイナミクス・物理化学素過程を解明することや、自然災害・環境問題へ取り組むことに魅力を感じる人</p> <p>(3) 将来、大学院へ進学して大学や研究機関の研究者、企業の技術者になる意欲のある人、または理科の教師になることを希望する人</p> |
| <p style="text-align: center;">工学部 第四類 (建設・環境系)</p> | <p>第四類では、建築・社会基盤・輸送機器・環境分野で活躍する人材の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 自然科学に興味を持ち、課外活動などを通じて深く掘り下げて学習した経験がある人</p> <p>(2) モノ作りが得意で、これまでに何かを創意工夫して作り、顕著な成果を挙げた経験がある人</p> <p>(3) 数学・物理いずれかにおいて特に秀でた学力を有する人</p> <p>(4) 海外で就学または活動した経験がある、あるいは TOEIC[®]、実用英語技能検定等において好成績を修めた特に秀でた語学力を有する者で、第四類に関連する分野で国際的な活動を行うことを望んでいる人</p> |

3. 出願資格

| 学部・学科等 | 出 願 資 格 |
|---|---|
| 総合科学部 総合科学科 | <p>総合科学部総合科学科での勉学を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (5) 文部科学大臣の指定した者 (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）により大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 28 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの |
| 教育学部 第二類 (科学文化教育系) 数理系コース | <p>左記に示す学部・学科等での勉学を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成 26 年 3 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 26 年 3 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 26 年 3 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 |
| 教育学部 第三類 (言語文化教育系) 国語文化系コース 英語文化系コース 日本語教育系コース | |
| 教育学部 第四類 (生涯活動教育系) 健康スポーツ系コース 人間生活系コース 音楽文化系コース 造形芸術系コース | |
| 理学部 数学科 | <p>理学部数学科での勉学を強く希望し、学業成績、人物共に優れ、合格した場合、入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成 27 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 27 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 27 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 |
| 理学部 物理科学科 | <p>理学部物理科学科での勉学を強く希望し、学業成績、人物共に優れ、合格した場合、入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成 26 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 |
| 理学部 化学科 | <p>理学部化学科での勉学を強く希望し、学業成績、人物共に優れ、合格した場合、入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成 27 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 27 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 27 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 |

| 学部・学科等 | 出 願 資 格 |
|------------------------|---|
| 理学部 生物科学科 | <p>【一般型】 理学部生物科学科での勉学を強く希望し、学業成績、人物共に優れ、合格した場合、入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>【科学オリンピック型】 ※科学オリンピック型で志願する者は上記の出願資格に加え、過去 3 年間に実施された日本生物学オリンピックで優秀賞を受賞している者、あるいは受賞が決定している者</p> |
| 理学部 地球惑星システム学科 | <p>理学部地球惑星システム学科での勉学を強く希望し、学業成績、人物共に優れ、合格した場合、入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>(4) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(6) 文部科学大臣の指定した者</p> <p>(7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）により大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 28 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(8) 学校教育法（昭和 22 年法律第 22 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学において大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの</p> <p>(9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(注) 上記（8）及び（9）に基づき、入学資格審査を希望する者は、68 ページの「入学資格の個別審査について」のとおり申請してください。</p> |
| 工学部 第四類 (建設・環境系) | <p>工学部第四類（建設・環境系）での勉学を強く希望し、学業成績、人物共に優れ、合格した場合、入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>(4) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(6) 文部科学大臣の指定した者</p> <p>(7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）により大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 28 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(8) 学校教育法（昭和 22 年法律第 22 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学において大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの</p> <p>(9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(注) 上記（8）及び（9）に基づき、入学資格審査を希望する者は、68 ページの「入学資格の個別審査について」のとおり申請してください。</p> |

4. 出願手続

(1) 出願期間

【理学部生物科学科（科学オリンピック型）】

平成27年8月31日（月）～9月4日（金）午後5時まで（必着）

※インターネット出願における志願情報入力、入学検定料の支払は平成27年8月24日（月）から可能です。

※出願書類は、9月4日（金）午後5時必着としますが、これ以降に到着した場合は、9月2日（水）までの消印があるものだけに限り受理します。

【その他の学部・学科等】

平成27年10月5日（月）～10月9日（金）午後5時まで（必着）

※インターネット出願における志願情報入力、入学検定料の支払は平成27年9月28日（月）から可能です。

※出願書類は、10月9日（金）午後5時必着としますが、これ以降に到着した場合は、10月7日（水）までの消印があるものだけに限り受理します。

(2) 出願方法

以下の二つのいずれかの方法により、出願できます。

①インターネット出願（志願情報等をインターネットで入力する出願方法。ただし、調査書など別途郵送が必要な書類があります。）

※インターネット出願をする場合は、64ページから67ページを必ず確認してください。

②志願票等を提出する出願（募集要項添付の所定の用紙に必要事項を記入し、調査書等の必要書類と一緒に郵送する出願方法）

(3) 出願書類

| 出願書類 | 摘 要 | 提出を要する 学部・学科等 | インターネット出願 における出願書 類郵送の要否 |
|--------|---|--------------------|--------------------------------|
| 入学志願票等 | 所定の用紙に記入してください。入学志願票、写真票・受験票・入学検定料振込証明書貼付用紙・大学入試センター試験成績請求・受験教科・科目確認票、住所票が所定の用紙になっています。各ページは切り離さずに提出してください（大学入試センター試験成績請求票の貼付は不要です）。 | | 不要 (注4) |
| 自己推薦書 | 所定の用紙に記入してください。【様式1】 ※自己推薦書（2/2）の字数指定は各学部で異なります。 総合科学部は1,600字以内 その他の学部・学科等 800字程度 志願者が自筆・手書で記入してください。 なお、以下の場合においては次の書類を提出してください。 ※理学部地球惑星システム学科 過去2年間の日本地学オリンピック大会予選（国際大会一次選抜）において優秀な成績を収めた者（21ページ参照）は、小論文を免除します。この措置を希望する者は、自己推薦書の代わりに地学オリンピック日本委員会の発行する個人成績証明書（原本）を提出してください。 | | |
| 調査書等 | 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び卒業見込みの者は、文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。なお、出身高等学校等において、指導要録が保存年限を超えるなどの理由により、調査書が得られない場合には、「卒業証明書」及び「成績証明書（又は単位取得証明書）」を調査書の代わりに提出してください。成績証明書（又は単位取得証明書）を提出できない場合は、高等学校等が作成した「成績証明書（又は単位取得証明書）が発行できない旨の理由書」を「卒業証明書」と併せて提出してください。 2. 高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。 なお、一部の科目を高等学校で修得した者は在学期間中の調査書を併せて提出してください。 また、合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を平成28年3月31日までに高等学校等で修得見込みの者は、文部科学省が発行する合格見込成績証明書の原本を提出してください。 3. 文部科学大臣の指定した者で以下に該当するものは、次の書類を提出してください。 (1) 国際バカロレア資格を取得した者は、その資格証書の写しとIB最終試験6科目の成績評価証明書 (2) アビトゥア資格を取得した者は、アビトゥア資格取得者に授与される一般的な大学入学資格証明書の写し (3) フランス共和国のバカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格試験成績証明書の写し 4. 上記以外の者は、修了（見込）証明書又は資格（取得見込）証明書及び成績証明書を提出してください。 ※調査書提出の際は、出願する学部・学科等で定める出願資格（12～13ページ参照）を確認の上、提出願います。 | 全学部全学科 (類, コース) | 要郵送 |

| 出願書類 | 摘 要 | 提出を要する 学部・学科等 | インターネット出願 における出願書 類郵送の要否 |
|----------------------------|---|-------------------|--------------------------------|
| 入学検定料 | <p>1. 入学検定料の振込について 17,000 円 所定の用紙【広島大学入学検定料振込依頼書（入金票）】の太ワクの中に、志願者氏名、フリガナ及び志願者住所を必ず記入して、都市銀行、地方銀行等の本支店で振り込んでください。（ゆうちょ銀行及び郵便局（以下「ゆうちょ銀行」という。）から振り込む場合は、ゆうちょ銀行所定の振込依頼書に転記する等、別途手続きが必要となります。詳細は同封の振込依頼書（入金票）をゆうちょ銀行窓口にて提示の上、ご相談ください。また、ゆうちょ銀行を含む各銀行ATMからは振り込めませんのでご注意ください。）振込手数料は、振込人負担となります。</p> <p>2. 提出方法について 入学検定料振込後、入学志願票貼付用入学検定料振込証明書を所定の用紙に貼付して提出してください。（受付金融機関出納印のないものは、無効です。）</p> <p>3. 注意事項 出願受付後はいかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。 ただし、次の（1）（2）の場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還しますので、「返還請求の理由」、「氏名」、「郵便番号」、「住所」、「連絡先電話番号」を明記した書面（様式は任意）に必ず「入学検定料振込証明書」添付の上、平成28年2月29日（月）までに下記送付先宛に郵送又はFAXしてください。 その後、本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので、記入・捺印の上、下記送付先に郵送してください。 （1）出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合 （2）検定料を誤って二重に振り込んだ場合 〔送付先：〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 広島大学東広島地区運営支援部共通事務室出納担当 （電話）082-424-7811（FAX）082-424-6962〕 （3）総合科学部、教育学部、理学部化学科、理学部生物科学科（一般型）の第1次選考不合格者に対しては、13,000円を返還します。返還手続の方法等は、第1次選考の結果とともに本人へ通知します。</p> | 全学部全学科 （類、コース） | 不要 |
| 受験票等 送付用定形封筒 | <p>学生募集要項添付の封筒（小）又は市販の長型3号封筒（12cm×23.5cm）に志願者の住所、氏名を記入し、92円分の切手を貼付したものを提出してください。</p> | | |
| 出願書類受領及 び受験番号通知 用はがき | <p>学生募集要項添付のはがきに52円分の切手を貼付したもの又は郵便局等で販売している52円の官製はがき（無地）の表（宛名）面に、志願者の住所、氏名を記入して提出してください。</p> | | |
| 免除措置 確認証明 | <p>理学部化学科において、最終選考の筆記試験免除を希望する者は、過去3年間に受賞した化学グランプリの各賞（大賞、金賞、銀賞、または銅賞）の賞状の写しを提出してください。</p> | 理学部化学科 | 要郵送 |
| | <p>理学部地球惑星システム学科において、小論文免除を希望する者は、自己推薦書の代わりに地学オリンピック日本委員会の発行する個人成績証明書（原本）を提出してください。</p> | 理学部地球惑星 システム学科 | |
| 出願資格 確認証明 | <p>理学部生物科学科において、科学オリンピック型で志願する者は、日本生物学オリンピックの予選結果通知書（原本）を提出してください。予選結果通知書（原本）は、後日郵送にて返却します。</p> | 理学部 生物科学科 | |

| 出願書類 | 摘 要 | 提出を要する 学部・学科等 | インターネット出願 における出願書 類郵送の要否 |
|------------------------------|---|--|--------------------------------|
| スポーツ種目 競技実績調査書 | <p>所定の用紙に記入してください。【様式2】</p> <p>このスポーツ種目競技実績は、23ページの表に示された種目のうち実技検査受験種目として届け出た種目のみが対象となります。</p> <p>本人の活動であることを客観的に証明できる資料を併せて提出してください。</p> <p>なお、出願書類提出期限以降に、スポーツ種目競技実績調査書の(注)1に該当する実績が得られた場合は、その成績・記録を証明する資料を10月22日(木)までに教育学部まで書留で郵送してください。</p> | 教育学部第四類 (生涯活動教育系) 健康スポーツ系コース | 要郵送 |
| 美術に関わる 活動実績調査書 | <p>所定の用紙に記入してください。【様式3】</p> <p>なお、本人の活動であることを客観的に証明できる資料を併せて提出してください。</p> | 教育学部第四類 (生涯活動教育系) 造形芸術系コース | |
| 課題レポート | <p>高等学校で学習した数学の中で最も興味をもった内容について、その内容と興味をもった理由を、A4判の用紙3ページ以内で記述し、提出してください。所定の様式はありませんが、上下左右の余白を2cm以上としてください。</p> <p>手書きでもワープロ等で作成しても構いません。</p> | 教育学部第二類 (科学文化教育系) 数理系コース | |
| 実技検査 受験種目届 | <p>23～24ページ「教育学部実技検査実施要項」を参照の上、所要事項を記入して提出してください(音楽文化系コースは演奏する曲の楽譜を併せて提出してください)。</p> | 教育学部第四類 (生涯活動教育系) 健康スポーツ系コース 音楽文化系コース | — |
| 各種検定試験成績・合格通知書 及び資格取得証明書等 | <p>英語外部検定試験、その他の検定試験の合格者及び資格取得者は、当該スコア・等級又は資格を証明する書類(原本)を提出してください。出願書類受付時に確認後、返却します。</p> <p>なお、スコア等の有効期限が定められている検定試験等については、出願締切日時点でその有効期限を越えていないもの、定められていないものについては、高等学校等入学後に取得したものに限り有効となります。</p> | 該当する 学部・学科 (類, コース) | 要郵送 |

(注1) 出願書類受領後、一週間以内に「出願書類受領及び受験番号通知用はがき」にて受験番号を通知します。

なお、出願書類の受領確認は電話でお答えすることができませんので、日本郵便ホームページ(<http://www.post.japanpost.jp/index.html>)の追跡サービスで確認してください。

(注2) 出願書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。

志願者本人が翻訳しても構いません。この場合、日本語訳の厳封は不要です。

(注3) 改姓名等により現在の氏名と書類の氏名が異なる場合は、戸籍抄本等の公的機関が発行した書類の写しを添付してください。

(注4) インターネット出願で写真をアップロードした場合、入学志願票等は郵送不要ですが、写真をアップロードしない場合は必ず写真(縦4cm×横3cm)を郵送してください。

5. 入学者選抜方法等

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|---|--|
| <p>総合科学部 総合科学科</p> | <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書等） ※出願書類に関する特記事項 英検（実用英語技能検定）、TOEIC®公開テスト、TOEFL®（iBT）、IELTS™（Academic Module）、英語以外の外国語検定試験の受検歴、各種全国規模以上の科学オリンピックやコンテスト、競技会出場歴などがある場合は、出願書類審査の際に利用しますので、成績が証明できる書類や出場歴がわかる書類を自己推薦書に添付してください。</p> <p>(2) 最終選考 小論文、面接 ア. 実施日時 11月14日（土） 小論文 10:00～12:00 面接 13:30～ イ. 試験場：東広島キャンパス 総合科学部 ウ. 実施科目等の内容 小論文：総合科学部で学ぶ上で必要な基礎学力、読解力、論理的思考力、構成力と表現力などを見る問題を出題します。（点数化して評価） 面接：総合科学部で学びたいという意欲、具体的な問題意識について質問し、学問に対する関心、自分のことばで表現する能力などを評価します。（点数化して評価）</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）の段階評価により判定します。 (2) 最終選考 小論文（300点満点）と面接（300点満点）の合計点で判定します。出願書類は、面接の参考資料として用います。</p> |
| <p>教育学部第二類 （科学文化教育系） 数理系コース</p> | <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書、自己推薦書及び課題レポート） (2) 最終選考 筆記試験、面接（プレゼンテーション含む） ア. 実施日時 11月19日（木） 筆記試験 9:30～12:00 11月20日（金） 面接 9:30～ イ. 試験場：東広島キャンパス 教育学部 ウ. 実施科目等の内容 筆記試験：数学に関する思考力・表現力などをみる問題を出題します。（点数化して評価） 面接：「数学」や「学び」についての関心・意欲、数学についての基本的内容の理解・思考力・表現力などについて試問します。プレゼンテーションの課題は当日提示します。（点数化して評価）</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類（調査書、自己推薦書及び課題レポート）を段階評価（A、B、C、Dの4段階評価）により判定し、15名程度の合格者を決めます。 (2) 最終選考 筆記試験（300点満点）と面接（300点満点）の合計点を段階評価（A、B、C、Dの4段階評価）により判定します。</p> |
| <p>教育学部第三類 （言語文化教育系） 国語文化系コース</p> | <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書） (2) 最終選考 小論文、面接（プレゼンテーション含む） ア. 実施日時 11月19日（木） 小論文 9:30～12:00 11月20日（金） 面接 9:30～ イ. 試験場：東広島キャンパス 教育学部 ウ. 実施科目等の内容 小論文：近代以降の文章、古典などを題材とし、設問により国語学力並びに教育に携わる上での適性を判断します。（点数化して評価） 面接：1. 自己推薦書等にもとづく面接 2. 作品理解力、口頭での表現力を判断するプレゼンテーション（資料は当日配付します。）（点数化して評価）</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）を段階評価（A、B、C、Dの4段階評価）により判定します。 (2) 最終選考 小論文（300点満点）と面接（300点満点）の合計点を段階評価（A、B、C、Dの4段階評価）により判定します。</p> |

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|------------------------------------|---|
| 教育学部第三類 (言語文化教育系) 英語文化系コース | <p>(1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書)</p> <p>(2) 最終選考 小論文, 面接 (プレゼンテーション含む)</p> <p>ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30 ~ 12:00 11月20日(金) 面接 9:30 ~</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 教育学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文: 英語による文章を題材とし, 論述形式を中心とした各種設問により, 英語教育を学ぶ上で必要な英語学力や能力を判断します。(点数化して評価) 面接: 英語による面接 (プレゼンテーションを含む) と日本語による面接により, 基礎的英語力, 思考力・表現力, 教育に対する意欲・関心・熱意など将来英語教育に携わる上での適性を判断します。 プレゼンテーションの課題は, 当日指示します。(点数化して評価)</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書) を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。 (2) 最終選考 小論文 (300点満点) と面接 (300点満点) の合計点を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。</p> |
| 教育学部第三類 (言語文化教育系) 日本語教育系コース | <p>(1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書)</p> <p>(2) 最終選考 小論文, 面接 (プレゼンテーション含む)</p> <p>ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30 ~ 12:00 11月20日(金) 面接 9:30 ~</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 教育学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文: 論文, 評論などを題材とし, 日本語教育系コースの学問を学ぶ上で必要な学力や能力を評価します。英文を題材とする出題を一部含みます。 (点数化して評価) 面接: 個人面接および集団面接を通して, 日本語教育系コースのアドミッション・ポリシーにふさわしい人物かどうか判断します。 プレゼンテーションの課題は当日提示します。(点数化して評価)</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書) を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。 (2) 最終選考 小論文 (300点満点) と面接 (300点満点) の合計点を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。</p> |
| 教育学部第四類 (生涯活動教育系) 健康スポーツ系コース | <p>(1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書)</p> <p>(2) 最終選考 小論文, 実技, 面接 (プレゼンテーション含む)</p> <p>ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30 ~ 12:00 実技 13:00 ~ 11月20日(金) 面接 9:30 ~</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 教育学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文: 健康・スポーツに関する著書, 論文, 評論などを題材とする問題を出題し, 健康スポーツ系コースの学問を学ぶ上で必要な基礎学力を判断します。 英語力を問う出題を含みます。(点数化して評価) 実技: 23ページの「教育学部実技検査実施要項」を確認してください。 (点数化して評価) 面接: 健康・スポーツに関する問題意識, 意欲, 関心, 思考力, 表現力, 適性などを総合的に評価します。 プレゼンテーションの課題は当日提示します。(点数化して評価)</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書) を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。 (2) 最終選考 小論文 (150点満点), 実技 (300点満点), 面接 (150点満点) の合計点とスポーツ種目競技実績調査書を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。</p> |

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|----------------------------------|---|
| 教育学部第四類 (生涯活動教育系) 人間生活系コース | <p>(1) 第1次選考 出願書類(調査書及び自己推薦書)</p> <p>(2) 最終選考 小論文, 面接(プレゼンテーション含む)</p> <p>ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30~12:00 11月20日(金) 面接 9:30~</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 教育学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文: 人間生活系コースの学問を学ぶ上で必要な基礎学力を問う問題を出題します。英語力を問う出題を含みます。(点数化して評価) 面接: 人間生活系コースで学ぶために必要とされる基礎的な学力, 及び中等家庭科教員としての資質を問う課題を当日提示し, それに関する5分程度のプレゼンテーションを含む面接を実施し, 多面的, 総合的に評価します(点数化して評価)。</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類(調査書及び自己推薦書)を段階評価(A, B, C, Dの4段階評価)により判定します。 (2) 最終選考 小論文(300点満点)と面接(300点満点)の合計点を段階評価(A, B, C, Dの4段階評価)により判定します。</p> |
| 教育学部第四類 (生涯活動教育系) 音楽文化系コース | <p>(1) 第1次選考 出願書類(調査書及び自己推薦書)</p> <p>(2) 最終選考 小論文, 実技, 面接(プレゼンテーション含む)</p> <p>ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30~12:00 実技 13:00~ 11月20日(金) 面接 9:30~</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 教育学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文: 音楽文化系コースの学問を学ぶ上で必要な基礎学力を問う問題を出題します。英語力を問う問題を出題します。(点数化して評価) 実技: 23・24ページの「教育学部実技検査実施要項」を確認してください。(点数化して評価) 面接: 学校教育及び音楽教育に関する知識, 意欲, 関心, 思考力, 適性などを多面的に評価します。 プレゼンテーションの課題は当日提示します。(点数化して評価)</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類(調査書及び自己推薦書)を段階評価(A, B, C, Dの4段階評価)により判定します。 (2) 最終選考 小論文(150点満点), 実技(350点満点), 面接(100点満点)の合計点を段階評価(A, B, C, Dの4段階評価)により判定します。</p> |
| 教育学部第四類 (生涯活動教育系) 造形芸術系コース | <p>(1) 第1次選考 出願書類(調査書, 自己推薦書及び美術に関わる活動実績調査書)</p> <p>(2) 最終選考 小論文, 実技, 面接(プレゼンテーション含む)</p> <p>ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30~12:00 実技 13:00~ 11月20日(金) 面接 9:30~</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 教育学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文: 造形芸術と教育(学校教育や生涯教育など)に関わる内容を問います。(点数化して評価) 実技: 24ページの「教育学部実技検査実施要項」を確認してください。(点数化して評価) 面接: 造形芸術及び造形芸術教育に関する問題意識, 意欲, 関心, 思考力, 表現力, 適性などを総合的に評価します。 プレゼンテーションは, 当日提示する美術作品に関する資料に基づいて, 5分以内で行うこととします。(点数化して評価)</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類(調査書, 自己推薦書及び美術に関わる活動実績調査書)を段階評価(A, B, C, Dの4段階評価)により判定します。 (2) 最終選考 小論文(150点満点), 実技(200点満点), 面接(250点満点)の合計点を段階評価(A, B, C, Dの4段階評価)により判定します。</p> |

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|--------------|---|
| 理学部 数学科 | <p>選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）、筆記試験、面接</p> <p>ア. 実施日時 11月19日（木） 筆記試験 13:00～15:30 11月20日（金） 面接 9:30～</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 理学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 筆記試験：数学の基礎知識・思考力・表現力をみる問題を出題します。（点数化して評価） 面接：数学の基礎知識・数学的思考力・センス・表現力を見るための質問を行います。志望理由を聞くこともあります。（点数化して評価）</p> <p>合否判定の基準 出願書類（調査書及び自己推薦書）（A～Eの5段階評価）、筆記試験及び面接による評価（200点満点）を総合して判定します。</p> |
| 理学部 物理科学科 | <p>選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）、筆記試験、面接</p> <p>ア. 実施日時 11月19日（木） 筆記試験 13:00～15:00 11月20日（金） 面接 9:30～</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 理学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 筆記試験：物理と数学及び英語の基礎的な学力を問う筆記試験を実施します。（点数化して評価） 面接：物理学への関心度や進学希望動機などを聞きます。また、身近な生活科学や自然現象等に関連した質疑応答を通じて、学習能力、思考能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を判定します。（段階評価）</p> <p>合否判定の基準 出願書類（調査書及び自己推薦書）（A～Eの5段階評価）、筆記試験（200点満点）及び面接による評価（A～Eの5段階評価）を総合して判定します。</p> |
| 理学部 化学科 | <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書） (2) 最終選考 出願書類（調査書）、筆記試験及び面接 ※ただし、化学グランプリにおいて、各賞（大賞、金賞、銀賞、または銅賞）を受賞した者は、以下（注）の免除措置を受けることができます。</p> <p>ア. 実施日時 11月19日（木） 筆記試験 13:00～15:30 11月20日（金） 面接 9:30～</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 理学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 筆記試験：化学と英語の基礎学力をみる問題を含めて出題します。（点数化して評価） 面接：化学に関する設問を複数の面接委員が行います。その際、履修意欲・思考力・学力を考慮して総合的に評価します。（点数化して評価）</p> <p>（注）なお、過去3年の間に化学グランプリの各賞（大賞、金賞、銀賞、または銅賞）を受賞した者は、最終選考の筆記試験を免除します。この措置を希望する者は、出願書類に加えて受賞を証明する書類（賞状の写し）を提出してください。</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）（A～Eの5段階評価）により選考します。 (2) 最終選考 筆記試験（300点満点）及び面接（100点満点）を行い、出願書類（調査書）（A～Eの5段階評価）との総合評価により選考します。 なお、出願書類に化学グランプリの各賞（大賞、金賞、銀賞、または銅賞）の受賞を証明する書類（賞状の写し）を提出し、筆記試験を免除された者は、面接による評価（100点満点）に、調査書の内容（A～Eの5段階評価）を加味して総合的に判定します。</p> |

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|-----------------------|---|
| 理学部 生物科学科 | <p>【一般型】</p> <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）</p> <p>(2) 最終選考 面接，出願書類（調査書及び自己推薦書）</p> <p>ア. 実施日時 11月19日（木） 面 接 9：30～ 11月20日（金） 面 接 9：30～ （受験者数によっては1日で試験が終了することもあります。）</p> <p>イ. 試験場：東広島キャンパス 理学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 面 接：生物学への関心度や進学希望動機などを聞きます。また，高等学校レベルの基礎的な生物学の知識や生命現象に関連した質疑応答あるいは実技などを通じて学習能力・思考能力・発表能力・コミュニケーション能力を判定します。（段階評価）</p> <hr/> <p>合否判定の基準</p> <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）を総合的に判定し選考します（A～Eの5段階評価）。</p> <p>(2) 最終選考 面接（質疑応答あるいは実技を含む）による評価（A～Eの5段階評価）に，自己推薦書と調査書の内容（A～Eの5段階評価）を加味して総合的に判定し選考します。</p> <hr/> <p>【科学オリンピック型】</p> <p>選考 出願書類（日本生物学オリンピックにおける成績，調査書及び自己推薦書）（A～Eの5段階評価）</p> <p>合否判定の基準 出願書類（日本生物学オリンピックにおける成績，調査書及び自己推薦書）（A～Eの5段階評価）を総合的に判定し選考します。</p> |
| 理学部 地球惑星 システム学科 | <p>選考 出願書類（調査書及び自己推薦書），小論文，面接 ※ただし，日本地学オリンピック大会予選（国際大会一次選抜）において優秀な成績を収めた者は，以下（注）の免除措置を受けることができます。</p> <p>ア. 実施日時 11月19日（木） 小 論 文 13：00～15：00 11月20日（金） 面 接 9：30～</p> <p>イ. 試験場：東広島キャンパス 理学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小 論 文：邦文と英文の二題を出題します。前者は，科学的思考力・理解力をみるための問題（特に図表の理解と解釈）を課し，論述させます。後者は，同じく科学的思考能力をみる問題で，併せて英文の理解力を判断する内容を含みます。（A～Eの5段階評価） 面 接：勉強や研究をする意欲と能力を判断するための質問をし，適性等を総合的に評価します。出願書類に関連した質疑も行います。（A～Eの5段階評価）</p> <p>（注）過去2年間のどちらかで，以下の受験基準点以上の成績を収めた者は，小論文を免除します。この措置を希望する者は，出願書類の自己推薦書の代りに地学オリンピック日本委員会の発行する個人成績証明書（原本）を提出してください。 受験基準点：第6回日本地学オリンピック大会予選（国際大会一次選抜）360点（550点満点） 第7回日本地学オリンピック大会予選（国際大会一次選抜）360点（550点満点）</p> <hr/> <p>合否判定の基準 出願書類（調査書及び自己推薦書）（A～Eの5段階評価），小論文（A～Eの5段階評価）及び面接（A～Eの5段階評価）を総合的に判断し選考します。 なお，出願書類の自己推薦書の代りに地学オリンピック日本委員会の発行する個人成績証明書（原本）を提出し，小論文を免除された者は，日本地学オリンピック大会予選（国際大会一次選抜）の結果を，小論文の評価として換算します。</p> |

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|------------------------|--|
| 工学部 第四類 (建設・環境系) | <p>選考 出願書類（調査書及び自己推薦書），小論文，面接</p> <p>ア. 実施日時 11月19日（木） 小 論 文 9：30～11：30 11月20日（金） 面 接 9：30～</p> <p>イ. 試験場：東広島キャンパス 工学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小 論 文：科学技術・社会への関心，思考力，学習意欲などを評価する問題を出題します。英文の設問を含むことがあります。（点数化して評価） 面 接：数学・理科に関わる簡単な質問を含め，学習能力，勉強意欲についての評価，人物評価などから総合的に評価します。（点数化して評価）なお，当日課題を与え，面接のための資料を作成していただきます。</p> <p>エ. 英語外部検定試験の扱いについて 英語外部検定試験において，一定の等級又はスコアを取得している者が，出願時に成績証明書等を提出した場合，出願書類に所定の点数を加算します。詳細は「英語外部検定試験を利用したAO入試について」（63ページ）」で確認してください。</p> <p>合否判定の基準 小論文（100点満点），面接（200点満点），出願書類（100点満点）及び加算点（配点20点）の総合点（420点満点）で判定します。</p> |

6. 教育学部実技検査実施要項

1. 第四類（生涯活動教育系）健康スポーツ系コース

次の表の種目（A～H）からもっとも得意なもの1種目を選択して受験してください。
受験種目は、実技検査受験種目届に記入の上、提出してください。

表

| 記号 | 種目名 | 記号 | 種目名 |
|----|----------|----|-----|
| A | 陸上競技 | E | 柔道 |
| B | バレーボール | F | 剣道 |
| C | バスケットボール | G | ダンス |
| D | サッカー | H | 水泳 |

注 意

- (1) 一度届け出た受験種目の変更は認めません。
- (2) 陸上競技の場合はトラック競技（リレーを除く）及びフィールド競技、水泳の場合は競泳（リレーを除く）を対象とします。
- (3) 実技検査に必要な服装（防寒着を含む）、用具（競技に必要な個人装備）及びバッグ（会場移動に必要）を各自で用意してください。
- (4) 陸上競技の一部の検査（トラック種目及び跳躍種目）は、全天候型グラウンドで実施します。
- (5) 雨天の場合には、サッカーの検査は体育館（板コート）で実施します。
- (6) 万一の病気、けが等に備えて健康保険証を持参してください。

2. 第四類（生涯活動教育系）音楽文化系コース

次の①②を受験してください。

① コールユーブンゲンの視唱（大阪開成館発行、No. 48-85 から1曲を当日指定します）

② 次の A～C から1種目を選択してください。

A 声楽 次の2曲を演奏してください。

- 1) イタリア歌曲集 (1) (全音楽譜出版社) より任意の1曲（調は自由とします）
- 2) 自由曲を1曲

B 器楽 以下の楽器から一つを選択してください。

- ・ピアノ 次の2曲を演奏してください。
 - 1) 任意の練習曲を1曲
 - 2) L. v. Beethoven ソナタ第1番へ短調作品2の1から第27番短調作品90までの27曲より任意の楽章を1曲
- ・ヴァイオリン、ヴィオラ 次の2曲を演奏してください。
 - 1) 任意の練習曲を1曲
 - 2) 任意の協奏曲より急速楽章を1曲
- ・打楽器
 - 1) ティンパニ、スネアドラム、マリンバの中から2楽器を選び、各1曲ずつ計2曲の自由曲を演奏
- ・その他の楽器 次の2曲を演奏してください。
 - 1) 任意の練習曲を1曲
 - 2) 自由曲を1曲

C 作曲 次の二つを課します。

- 1) 任意の楽器又は声楽による自由曲1曲の演奏
- 2) 当日与えられたモチーフによるピアノ小品の作曲（試験時間は2時間）

注 意

(1) ①のコールユーブンゲンについては、固定ト唱法又は移動ト唱法で歌ってください。

(2) ②について

*受験する楽器の種類は問いません。ただし、ピアノ、電子オルガン、ティンパニ、マリンバ以外の楽器は各自持参してください。

なお、電子オルガンはヤマハステージア ELS-01C 又は EL-900m、マリンバは KOROGI1500F 又はヤマハ YM-400C を使用していただきます。

*「その他の楽器」で受験する際、「任意の練習曲」に該当する曲がない場合は、「任意の自由曲」に代え

ることができます。

*受験する曲の楽譜を提出してください。

なお、声楽で受験する場合は実際に演奏する調の楽譜（ピアノ伴奏付）、器楽のうち管弦打楽器で受験する場合はパート譜のみ提出してください（楽譜には氏名、高校名等、個人が特定される内容は記入しないでください）。

*声楽以外は無伴奏で演奏してください。

なお、声楽の伴奏は大学で担当します。

*器楽で受験する場合は、繰り返しを省略してください。

*演奏は暗譜とします。

*試験当日は15分間の練習時間を設けます。

- (3) 受験楽器と入学後開講される授業科目は必ずしも対応していません。
- (4) 実技・面接検査の集合時刻、場所等については受験票送付時に通知します。
- (5) 試験当日は上履きを持参してください。

3. 第四類（生涯活動教育系）造形芸術系コース

石膏像を含まないモチーフによる鉛筆デッサン

注 意

- (1) 試験時間は、3時間です。
- (2) 材料・用具は、すべて大学で用意します。

7. 合格者発表等

(1) 受験票等の発送について（理学部数学科，理学部物理科学科，理学部地球惑星システム学科，工学部）

平成27年10月15日（木）までにAO入試受験票及び受験案内を発送します。

10月19日（月）を過ぎても到着しない場合は，各学部（下記参照）へ連絡してください。

(2) 第1次選考合格者発表（総合科学部，教育学部，理学部化学科，生物科学科（一般型））

平成27年10月28日（水）12時（予定）

- ① 選考の結果は，上記の日時に，広島大学ホームページ（トップページ）で発表します。
- ② 第1次選考合格者には，第1次選考合格通知書及び受験案内，AO入試受験票を発送します。
- ③ 第1次選考の不合格者には，「4. 出願手続(3) 出願書類の入学検定料欄中※1（15ページ）」に係る入学検定料の返還方法を通知します。
11月4日（水）を過ぎても到着しない場合は，各学部（下記参照）へ連絡してください。

(3) 最終合格者発表

【理学部生物科学科（科学オリンピック型）】

平成27年9月24日（木）12時（予定）

【上記以外の学部・学科等】

平成27年11月27日（金）12時（予定）

- ① 選考の結果は，上記の日時に，広島大学ホームページ（トップページ）で発表します。
- ② 最終合格者には，合格通知書及び入学手続に必要な書類を郵送します。

※ 広島大学ホームページ（トップページ）での発表は，本学の情報提供の一環として行うものであり，公式の合格者発表は，合格通知書等の郵送となります。なお，電話等による可否の問合せには応じられません。

(4) 入学前の教育

| 学 部 | 概 要 |
|-----------------------------|--|
| 総合科学部 教育学部 理学部 工学部 | 最終合格者には，課題を与え，入学までの期間にレポートを提出していただきます。 |

※教育学部のうち，下記の類・コースは入学前の教育はありません。

第三類（言語文化教育系）英語文化系コース，日本語教育系コース

第四類（生涯活動教育系）健康スポーツ系コース

(5) 問合せ先

| 学 部 | 住 所 | 電 話 |
|-------|-------------------------|--------------|
| 総合科学部 | 〒739-8521 東広島市鏡山一丁目7番1号 | 082-424-6315 |
| 教育学部 | 〒739-8524 東広島市鏡山一丁目1番1号 | 082-424-6725 |
| 理学部 | 〒739-8526 東広島市鏡山一丁目3番1号 | 082-424-7315 |
| 工学部 | 〒739-8527 東広島市鏡山一丁目4番1号 | 082-424-7524 |

総合評価方式II型

(大学入試センター試験を課す入試)

- ・教育学部 第一類(学校教育系) 初等教育教員養成コース
- ・教育学部 第一類(学校教育系) 特別支援教育教員養成コース
- ・教育学部 第二類(科学文化教育系) 自然系コース
- ・教育学部 第二類(科学文化教育系) 技術・情報系コース
- ・教育学部 第二類(科学文化教育系) 社会系コース
- ・教育学部 第五類(人間形成基礎系) 教育学系コース
- ・教育学部 第五類(人間形成基礎系) 心理学系コース
- ・法学部 法学科夜間主コース
- ・経済学部 経済学科昼間コース
- ・経済学部 経済学科夜間主コース
- ・医学部 医学科
- ・医学部 保健学科看護学専攻, 理学療法学専攻, 作業療法学専攻
- ・歯学部 歯学科
- ・歯学部 口腔健康科学科口腔保健学専攻, 口腔工学専攻
- ・薬学部 薬学科
- ・薬学部 薬科学科
- ・工学部 第一類(機械システム工学系)
- ・工学部 第二類(電気・電子・システム・情報系)
- ・工学部 第三類(化学・バイオ・プロセス系)
- ・生物生産学部 生物生産学科

1. 募集人員・実施日程

| 学 部 | 学 科 等 | | 募集人員 | 出願期間 | 第 1 次選考 | 第 1 次選考 合格者発表 | |
|---------|---------------------|-------------------|--------|-------------------------------------|---------|------------------|----|
| 教育学部 | 第一類(学校教育系) | 初等教育教員養成 コース | 10名 | 平成27年10月5日(月) } 平成27年10月9日(金) | 書類選考 | 平成27年10月28日(水) | |
| | | 特別支援教育 教員養成コース | 7名 | | | | |
| | 第二類(科学文化教育系) | 自然系コース | 6名 | | | | |
| | | 技術・情報系コース | 4名 | | | | |
| | | 社会系コース | 4名 | | | | |
| | 第五類(人間形成基礎系) | 教育学系コース | 5名 | | | | |
| 心理学系コース | | 5名 | | | | | |
| 法学部 | 法学科 夜間主コース | | 5名 | | | | |
| 経済学部 | 経済学科 昼間コース | A選抜 | 13名 | | | | |
| | | B選抜 | 2名 | | | | |
| | 経済学科 夜間主コース | | 15名 | | | | |
| 医学部 | 医学科 | | 5名 | 平成27年8月31日(月) } 平成27年9月4日(金) | 書類選考 | 平成27年10月28日(水) | |
| | 保健学科 | 看護学専攻 | 一般型 | | | | 5名 |
| | | | 大学院進学型 | | | | |
| | | 理学療法専攻 | 専門型 | | | | 3名 |
| | | | 大学院進学型 | | | | 3名 |
| | | | 作業療法専攻 | | | | 4名 |
| 歯学部 | 歯学科 | | 5名 | | | | |
| | 口腔健康科学科 | 口腔保健学専攻 | 5名 | | | | |
| | | 口腔工学専攻 | 3名 | | | | |
| 薬学部 | 薬学科 | | 5名 | 平成27年10月5日(月) } 平成27年10月9日(金) | 書類選考 | 平成27年10月28日(水) | |
| | 薬科学科 | | 7名 | | | | |
| 工学部 | 第一類(機械システム工学系) | | 5名 | | | | |
| | 第二類(電気・電子・システム・情報系) | | 5名 | | | | |
| | 第三類(化学・バイオ・プロセス系) | | 7名 | | | | |
| 生物生産学部 | 生物生産学科 | A型(専門型) | 2名 | 平成27年10月5日(月) } 平成27年10月9日(金) | 書類選考 | 平成27年10月28日(水) | |
| | | B型(研究者養成型) | 4名 | | | | |
| | | C型(一般型) | 9名 | | | | |

(注1) 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目については、必ず下記の「平成28年度大学入試センター試験で受験を要する教科・科目等に関する注意事項」を確認してください。

(注2) 合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員は一般入試(前期日程)の募集人員に含めます。

◎平成28年度大学入試センター試験で受験を要する教科・科目等に関する注意事項

Ⅱ型(大学入試センター試験を課す入試)の該当学部・学科等については、平成28年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目(50~52ページを参照。)が指定されています。

出願書類受付後に、志望する学部・学科等が指定した教科・科目等を受験していないことが判明した場合、最終合格者選考の対象となりませんので、注意してください。

なお、この場合であっても、出願書類及び既納の入学検定料は返還しません。

また、本学の平成28年度AO入試においては、平成27年度以前の大学入試センター試験の成績は、利用しません。

| 選考／第2次選考 ／最終選考 | 第2次選考 合格者発表 | 大学入試センター試験 | 最 終 合格者発表 | 入学手続期間 |
|---------------------------------------|----------------|-------------------------------------|--------------|--|
| 平成27年11月19日(木) ↓ 平成27年11月20日(金) | 平成27年11月27日(金) | | | |
| 平成27年11月19日(木) | / | | | |
| 平成27年11月19日(木) ↓ 平成27年11月20日(金) | | | | |
| 平成27年11月12日(木) ↓ 平成27年11月13日(金) | | | | |
| 平成27年11月19日(木) | | 平成28年1月16日(土) ↓ 平成28年1月17日(日) | 平成28年2月5日(金) | 平成28年2月8日(月) ↓ 平成28年2月12日(金) ※2月11日(木・祝)は 取り扱いません。 |
| 平成27年11月20日(金) | | | | |
| 平成27年11月19日(木) | | | | |
| 平成27年11月19日(木) ↓ 平成27年11月20日(金) | 平成27年11月27日(金) | | | |
| 平成27年11月19日(木) | | | | |

2. アドミッション・ポリシー（求める学生像）

| 学部・学科等 | アドミッション・ポリシー |
|--|--|
| 教育学部 第一類 （学校教育系） 初等教育教員養成 コース | <p>初等教育教員養成コースでは、小学校教員としての実践的指導力の習得に必要な幅広い基礎学力を持つとともに、子どもを愛する心と教育への情熱を持ち、問題意識が旺盛で向上心に富む学生の入学を期待しています。特にAO入試では、下記のいずれか一つ以上に該当する学生を求めています。</p> <p>(1) 子どもの成長・発達に強い関心を持ち、その分野での専門性を高めることのできる意欲と能力を持つ人</p> <p>(2) 小学校の諸教科等の学習の支援ができる基礎的能力を身につけており、その上に得意分野を持つ人</p> <p>(3) 学校行事や課外活動、社会的活動等に積極的に参加し、社会貢献等の実績を持つ人</p> |
| 教育学部 第一類 （学校教育系） 特別支援教育教員 養成コース | <p>特別支援教育教員養成コースでは、視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱の各障害に加えて、学習障害、言語障害、注意欠陥多動性障害、高機能自閉症等の幼児児童生徒の教育に携わる教員の養成を目指しています。障害のある子どもは一人一人異なっており、教員には個々の子どもの多様な状態に対応できる幅広い知識と視野、豊かな人間性が必要となります。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 将来、特別支援学校における教育に携わることを強く希望する人</p> <p>(2) 基礎的学力とともに、多様な障害に対応できる豊かな人間性、思考力、発想力を備えている人</p> |
| 教育学部 第二類 （科学文化教育系） 自然系コース | <p>自然系コースでは、自然に対する豊かな感性を基盤として理科と理科教育に対する強い興味関心を有し、理科に関連する基礎的・基本的学力と表現力を身につけた学生の入学を期待しています。特に、次の(1)(2)のいずれかに該当する学生を求めています。</p> <p>(1) 将来、中学校・高等学校または生涯学習を含む理科教育の場での活躍を目指す人</p> <p>(2) 将来、大学院に進学して理科教育学・理科教育方法学あるいは理科教育内容学(物理学教育、化学教育、生物学教育、地学教育)に関する研究者となることを目指す人</p> |
| 教育学部 第二類 （科学文化教育系） 技術・情報系コース | <p>技術・情報系コースでは、幅広い基礎学力や視野（海外留学の経験などを含む）を有するとともに、人間的な資質に優れ、ものづくりと情報技術を融合させる分野に強い関心を持って挑戦できる、次のような人材を求めています。</p> <p>(1) 中学校や高等学校において技術教育、情報教育に携わる教員を目指す人</p> <p>(2) 民間企業における技術者、企業内教育専門家を目指す人</p> <p>(3) 大学院に進学し、技術・情報の教育や専門科学領域に関する研究を推進する人</p> |
| 教育学部 第二類 （科学文化教育系） 社会系コース | <p>社会系コースでは、中等社会系教科（中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科）の教員とそれに関連する研究者・指導者の養成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科の教員を目指す人</p> <p>(2) 上記の教員免許状を取得したうえで、さらに、学芸員、社会教育主事などの資格も取得し、生涯学習の支援・指導に携わることを目指す人</p> <p>(3) 卒業後、大学院に進学するか、実社会において、中等社会系教科に関する教育・研究の専門家を目指す人</p> <p>(4) (1)～(3)を目指すため、地理学、歴史学、倫理学、法学、経済学などの人文・社会科学と中等社会系の社会認識教育学を中心に学問的基盤を身に付け、グローバル化に伴う複雑な人文・社会現象を独創的な視点で解明し、斬新な教育方法を確立していこうという意欲を有している人</p> <p>(5) (1)～(4)を求めている社会系コースの内容に関連した研究・活動（国際的な視野を養う経験なども含む）などの業績・学習成果を有している人</p> |
| 教育学部 第五類 （人間形成基礎系） 教育学系コース | <p>教育学系コースでは、AO入試で、次のいずれにも該当する学生を求めています。</p> <p>(1) 教育界が抱えている多くの問題を解決しようとする志のある人</p> <p>(2) 教育学を学ぶための基礎的な学力として、日本語及び外国語の読解力・表現力を有し、社会や人間、文化等に関わる高校段階までの幅広い教科の学習内容を確実に修得した人</p> <p>(3) 卒業後、教職、教育行政職（公務員）、国際的な教育開発の実践家など教育科学の専門性を生かせる職業に就こうとする人、さらに博士課程後期に進学し全国の大学の教育学部の教員として「先生の先生」になろうとする人</p> |
| 教育学部 第五類 （人間形成基礎系） 心理学系コース | <p>心理学系コースでは、AO入試で、次のいずれにも該当する学生を求めています。</p> <p>(1) 心理学を学ぶための基礎的な学力として、国語及び外国語の読解力・表現力、社会現象や自然・生命現象などの理解力が必要であるため、幅広い教科で十分な学力を備えている人</p> <p>(2) 現代社会の「こころ」の問題に積極的に関心を持ち、豊かな知識と深い洞察力に基づいて主体的、独創的に探究を進め、「こころ」の問題の解決に関わろうとする人</p> <p>(3) 卒業後、心理学の専門分野をさらに深めるために大学院に進学し、研究者や高度専門職業人をめざす人</p> |
| 法学部 法学科 夜間主コース | <p>法学部では、総合的かつバランスの取れた実践的判断力の養成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くしっかりと身につけ、特に国語や社会、外国語に高い学力を有する人</p> <p>(2) 法学・政治学・社会学の分野において、勉学を通じて創造性豊かにかつ論理的に問題を発見し、その解決のために説得・表現・実践する能力を習得することに熱意と適性を持ち、高等学校卒業後も、働きながら学びたい人（2歳未満の有職者、就職内定者）</p> <p>(3) 法学部で学んだ高度な専門知識を持って、将来、職場で活躍しようとする意欲と力を備えた人</p> |

| 学部・学科等 | アドミッション・ポリシー |
|---------------------------------|---|
| <p>経済学部 経済学科 昼間コース</p> | <p>経済学科昼間コースでは、主に経済学に関する専門知識を習得することによって、幅広い分野で活躍できる能力を持つ人材の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 経済学を学ぶために必要な基礎学力があり、下記のいずれかに該当する人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己表現力、コミュニケーション能力に優れている ・日常の政治・経済問題に興味を持ち、自ら解決策を考えたことがある ・学内行事や課外活動、ボランティア活動等に主体的に取り組んだ経験がある ・自分の適性を活かしたキャリアビジョンが明確で、その実現のために目的意識を持って頑張っている <p>(2) 「問題発見・解決能力」及び「自己革新能力」を有する人</p> <p>(3) 将来、企業や官公庁での活躍を目指す人、先端領域のビジネス分野でビジネスモデルの開発や起業を目指す人、グローバル経済の分析や予測を、数理的な分析手法を駆使して行うエコノミストやコンサルタントを目指す人、地球規模の問題をグローバルな視点から政策立案しその政策実行のリーダーを目指す人、または従来にはない独創的な理論の構築を目指し深い思索と幅広い視点から学問研究に従事しようとする人</p> |
| <p>経済学部 経済学科 夜間主コース</p> | <p>経済学科夜間主コースでは、複雑化する社会において、問題の分析や解決ができる人材の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 経済学や経営学を学ぶために必要な基礎学力があり、下記のいずれかに該当する人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己表現力、コミュニケーション能力に優れている ・経済学、経営学、法・政治学、情報科学といった、社会科学が取り組むべき現実的課題に興味を持ち、自ら解決策を考えたことがある ・学内行事や課外活動、ボランティア活動等に主体的に取り組んだ経験がある ・自分の適性を活かしたキャリアビジョンが明確で、その実現のために目的意識を持って頑張っている <p>(2) 「問題発見・解決能力」及び「自己革新能力」を有する人</p> <p>(3) 将来、企業や官公庁での活躍を目指す人、先端領域のビジネス分野でビジネスモデルの開発や起業を目指す人、グローバル経済の分析や予測を数理的な分析手法を駆使して行うエコノミストやコンサルタントを目指す人、地球規模の問題をグローバルな視点から政策立案しその政策実行のリーダーを目指す人、または従来にはない独創的な理論の構築を目指し深い思索と幅広い視点から学問研究に従事しようとする人</p> |
| <p>医学部 医学科</p> | <p>医学科では、幅広い教養に根ざした豊かな人間性を培い、人類の発展のために働く医療人の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 人間が好きで、人の痛みに共感できる人</p> <p>(2) 生命科学に深い関心がある人</p> <p>(3) 客観的な理解力と判断力を持ち、積極的に行動できる人</p> <p>(4) 高等学校で学習するすべての教科の学力を幅広く身につけ、特に理科や英語において高い学力を有する人</p> <p>(5) 高いコミュニケーション能力を持ち、周囲の人と良好な関係を築き働くことができる人</p> <p>(6) 医療を通して地域社会に貢献しようとする意欲と情熱のある人</p> <p>(7) 医学研究を学ぶために必要な幅広い学識があり、下記のいずれにも該当する人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学後は、医学研究者の養成を目指す MD-PhD コース（※）に入学することを確約できる人 ・日本科学オリンピック推進委員会が認める国際科学オリンピックの代表者選考会に於いて一定の成績を修めた人あるいは同等の成績であると認められる人 |
| <p>医学部 保健学科</p> | <p>保健学科では、看護学・理学療法学・作業療法学の実践と研究を通じて人と社会のために貢献する人材の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 看護学・理学療法学・作業療法学を学ぶために必要な基礎学力を持ち、下記に当てはまる人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員としての良識、豊かな人間性と協調性がある人 ・自己の能力を開拓する努力を惜しまない人 ・教師・先輩・友人・社会などから積極的に学ぼうとする人 ・困難や問題に遭遇しても、冷静に、かつ前向きに対処しようとする人 ・自立して、積極的に助け合いながら、人生を切り開こうとする人 <p>(2) 自らの問題意識に基づいて、主体的に学習や研究を推し進める人</p> <p>(3) 保健・医療・福祉に関わる各専門職領域において、国内外で活躍するための十分な意欲と適性を備えた人</p> <p>(4) 大学院進学型においては、国際化・グローバル化に対応できる教育研究者を目指すという、高い志望動機を持つ人</p> |

※MD-PhD コース（医学部医学科－大学院医歯薬保健学研究科連携コース）とは、6年間の学士教育課程（医学部医学科）と4年間の大学院博士課程を9年間から10年間かけて連携して行う研究者養成を視野に入れたコースである。具体的には、医学部医学科4年次修了後に休学して大学院に入学し、4年間（早期終了の場合は3年間）の博士課程修了後、再び医学科5年次へ復学するコースである。卒業時には、医師国家試験受験資格と博士号の両者が取得可能である。

| 学部・学科等 | アドミッション・ポリシー |
|---|---|
| <p style="text-align: center;">歯学部 歯学科</p> | <p>歯学科では、歯科医師としての高度な学識と医療技術、科学的探究心及び豊かな人間性を培い、歯科医学・医療を通じて人と社会のために貢献する歯科医師の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 歯科医学を学ぶために必要な基礎学力を身につけている人</p> <p>(2) 医療人として不可欠な豊かな感性、人間性、倫理観、協調性、相互扶助の精神をそなえ、かつ下記の両方に強くあてはまる人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体、特に口腔や顔面に対して人一倍関心がある ・独創的で柔軟な思考力を持ち、対話能力に優れ、探求心旺盛で強い学習意欲がある <p>(3) 将来、国際社会で活躍できる歯科医学・医療の教育者・研究者、あるいは、地域医療においてリーダーシップをとれる臨床歯科医師となることに強い意欲を持つ人</p> |
| <p style="text-align: center;">歯学部 口腔健康科学科 口腔保健学専攻</p> | <p>口腔健康科学科口腔保健学専攻では、専門職医療人として高度な学識と医療技術、科学的探究心及び豊かな人間性を培い、歯科医学・医療、口腔保健及び福祉の分野において、人と社会のために貢献する人材の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 将来、歯学、医学、保健学及び福祉に関する知識並びに技術を統合した口腔健康科学の確立と高度専門化及び体系化、あるいは国際的な口腔健康科学のバイオデンタル教育研究拠点の構築のために活躍する歯科衛生士、オーラルヘルスマネージャーあるいは養護教諭になることを目指す人</p> <p>(2) 口腔健康科学を学ぶために必要な基礎学力を身につけている人</p> <p>(3) 医療人として不可欠な人類愛にあふれ、道徳心と豊かな人間性をそなえ、問題解決能力や柔軟性を持ち、下記のいずれかにあてはまる人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強い責任感を持ち、教育者となる熱意がある ・コミュニケーション能力、社会性、協調性、判断力を有し、チーム医療の一員として活躍する意欲がある ・科学的な探究心と積極性、創造力と忍耐を有し、新しい学問である「口腔健康科学」を切り開く意欲がある |
| <p style="text-align: center;">歯学部 口腔健康科学科 口腔工学専攻</p> | <p>口腔健康科学科口腔工学専攻では、専門職医療人として高度な学識と医療技術、科学的探究心及び豊かな人間性を培い、歯科医学・医療、口腔保健及び福祉の分野において、人と社会のために貢献する人材の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 将来、歯学、医学、保健学及び福祉に関する知識並びに技術を統合した口腔健康科学の確立と高度専門化及び体系化、あるいは国際的な口腔健康科学のバイオデンタル教育研究拠点の構築のため、オーラルエンジニアとして活躍できる医療マインドを持った企業人、歯科技工士、メディカルアーティストになることを目指す人</p> <p>(2) 口腔健康科学を学ぶために必要な基礎学力を身につけている人</p> <p>(3) 医療人として不可欠な人類愛にあふれ、道徳心と豊かな人間性をそなえ、問題解決能力や柔軟性を持ち、下記のいずれかにあてはまる人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強い責任感を持ち、教育者となる熱意がある ・コミュニケーション能力、社会性、協調性、判断力を有し、チーム医療の一員として活躍する意欲がある ・科学的な探究心と積極性、創造力と忍耐を有し、新しい学問である「口腔健康科学」を切り開く意欲がある |
| <p style="text-align: center;">薬学部 薬学科</p> | <p>薬学科では、人類の健康増進と福祉の実践者にふさわしい豊かな人間性と幅広い教養を身につけ、基礎的知識、技能及び態度を修得することにより、科学的思考力を備えた医療人となり得る人材を育成することを目指しており、AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に理科に高い学力を有する人</p> <p>(2) 薬学科で学ぶことに高い目的意識を有する人、医療や薬を必要とする人たちの立場を真に理解し、医療の質の向上と薬学研究の進歩発展に貢献したいと考える人</p> <p>(3) 高度な知識と技術を身につけ、コミュニケーション能力・社会性・協調性にすぐれ、チーム医療の中で科学的観点から意見が言える専門性の高い薬剤師となることを志す人</p> |
| <p style="text-align: center;">薬学部 薬科学科</p> | <p>薬科学科では、国際的にも活躍できる創薬研究者等を育成し、医療の質の向上と薬学研究の進歩発展に貢献することを目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 高等学校での基礎的・基本的な学力を幅広くきちんと身につけ、特に理科に高い学力を有する人</p> <p>(2) 薬科学科で学ぶことに高い目的意識を有する人、実験科学を遂行する意欲と適性をもつ人、化学や生命科学を積極的に学ぼうとする人、コミュニケーション能力・社会性・協調性にすぐれた人</p> <p>(3) 大学院に進学して最先端の創薬科学を学び、国際的にも活躍できる創薬研究者となることを志す人</p> |

| 学部・学科等 | アドミッション・ポリシー |
|---|---|
| 工学部 第一類 (機械システム工学系) | <p>第一類では、人間と機械の関わりについて広い視野と高い倫理性を培い、機械システム工学を通して人と社会のために貢献する人材育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 機械システム工学を学ぶために十分な学力があり、下記のいずれかに該当する人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何かの科学的事象を深く探求し、大きな成果を得た ・機械システムの企画製作に参加し、それを完成させた ・課外活動やスポーツなどで、リーダーシップを発揮して目標を達成した ・海外で学んだ経験がある、または、TOEIC[®]、TOEFL[®]、実用英語技能検定等において好成績を修めるなどして、格段に優れた英語能力を持っている ・数学および物理に格段に優れた能力を持っている <p>(2) 自らの問題意識に基づいて主体的に学習や研究を遂行し、様々な課題に対して多面的および創造的アプローチができる人</p> <p>(3) 将来、機械システムエンジニアとして国際的な活躍を希望する人、または、大学院に進学し先端領域の研究者や専門家になることを希望する人、あるいは、起業を目指す人</p> |
| 工学部 第二類 (電気・電子・システム・情報系) | <p>第二類では、電気・電子・システム・情報工学を通じて、人と社会のために働く人材の育成を目指しています。AO入試では、基礎学力を身につけた人で、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 科学的現象に特に興味を持ち、これまでに深く掘り下げて学習した経験がある人</p> <p>(2) モノ作りが好きで、これまでに何かを創意工夫して作った経験がある人</p> <p>(3) 集積回路やコンピュータハードウェアに興味がある人</p> <p>(4) 複雑な現象を数学的に表現・分析することに興味がある人</p> <p>(5) 自分のアイデアをソフトウェアなどによって実現することに興味がある人</p> <p>(6) TOEIC[®]、実用英語技能検定等において好成績を修めた優れた語学力を有しており、第二類に関連する分野で国際的に活躍することを目指している人</p> |
| 工学部 第三類 (化学・バイオ・プロセス系) | <p>第三類では、化学・バイオ・プロセス分野の幅広い基礎学力を培い、新技術を通じて人と社会のために働く人材の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 化学・物理・生物を学ぶために必要な基礎学力があり、下記のいずれかに該当する人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境の改善に関わる研究開発に携わる意欲を持つ。 ・人類の生活を豊かにする新しい機能材料や化学物質を発見・発明することに関心を持つ。 ・動植物・微生物を利用したバイオテクノロジーにより社会に貢献する意欲を持つ。 ・資源・新エネルギーの開発とその有効利用技術の開発や環境保全に携わる意欲を持つ。 ・医薬・食品・プラスチックの製造に関わる化学装置の開発・設計に携わる意欲を持つ。 <p>(2) 海外で就学した経験がある、あるいは TOEIC[®]、実用英語技能検定等において好成績を修めた優れた語学力を有する者で、第三類に関連する分野で国際的な活動を行うことに関心がある人</p> <p>(3) 将来、化学・バイオ・プロセス分野の専門知識を生かして国内・国際社会において指導者的な役割を担うことを希望する人、または大学院に進学し化学・バイオ・プロセス分野の先進的な研究者や専門家になることを希望する人</p> |
| 生物生産学部 生物生産学科 | <p>生物生産学部では、食料と環境の分野で深い科学的知識と広い視野をもって社会に貢献する人材の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 基礎的な学力を幅広く身につけた上で、以下のいずれかに該当する人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校において水産、農業及び食品製造などを学び、さらにその分野を探究したい ・理数科目が特に得意である ・自然科学などの分野において活発な研究活動を行い、その成果を挙げた ・ボランティア、クラブ及び生徒会などの活動において積極的に活躍した ・日本生物学オリンピックで優秀な成績を収めた <p>(2) 食料や環境に関して問題意識が高く、陸や海などのフィールドで物事を創造的に探求する行動力がある人</p> <p>(3) 将来、食料や環境に係わる仕事に就いて地域や国際社会で活躍する志を持つ人、あるいは食料や環境の分野で大学院に進学し研究者や専門家になることを希望する人</p> |

3. 出願資格

| 学部・学科等 | 出 願 資 格 |
|--|---|
| 教育学部 第一類 (学校教育系) 初等教育教員養成 コース | |
| 教育学部 第一類 (学校教育系) 特別支援教育教員 養成コース | |
| 教育学部 第二類 (科学文化教育系) 自然系コース | <p>左記に示す学部・学科等での勉学を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成 26 年 3 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者</p> |
| 教育学部 第二類 (科学文化教育系) 技術・情報系コース | <p>(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 26 年 3 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 26 年 3 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> |
| 教育学部 第二類 (科学文化教育系) 社会系コース | |
| 教育学部 第五類 (人間形成基礎系) 教育学系コース | |
| 教育学部 第五類 (人間形成基礎系) 心理学系コース | |
| <p>法学部 法学科 夜間主コース</p> | <p>平成 28 年 4 月 1 日現在満 22 歳未満の者〔平成 6 年 4 月 2 日以降に生まれた者〕で、本学部での勉学を強く希望し、自分の能力及びこれまでの活動について、高く評価できるものを持っていると自己評価でき、かつ、合格した場合、入学を確約できる者で、次の 1 かつ 2 に該当するもの</p> <p>1 次のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの</p> <p>(4) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(6) 文部科学大臣の指定した者</p> <p>(7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）により大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 28 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(8) 学校教育法（昭和 22 年法律第 22 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの</p> <p>(9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(注) 上記（8）及び（9）に基づき、入学資格審査を希望する者は、68 ページの「入学資格の個別審査について」のとおり申請してください。</p> <p>2 次のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 上記の学校を卒業又は修了した者で、出願時点で 6 か月以上継続して定職に就いている者で、勤務先による「在職証明書」を提出できるもの</p> <p>(2) 平成 28 年 3 月に上記の学校を卒業見込みの者又は修了見込みの者で、勤務先による「在職証明書」又は「就職内定証明書」を提出できるもの</p> |

| 学部・学科等 | 出 願 資 格 | | |
|---------------------------------|--|-------------|--|
| <p>経済学部 経済学科 昼間コース</p> | <p>A 選抜 経済学部での勉学を強く希望し、学業成績、人物共に優れ、合格した場合、入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>B 選抜 経済学部での勉学を強く希望し、学業成績、人物共に優れ、合格した場合、入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>かつ、次のいずれにも該当するもの ① 上記の学校において商業に関する学科の課程を履修した者又は総合学科等において商業に関する教科・科目を 20 単位以上修得（見込みを含む。）した者 ② 次のいずれかの検定試験等に合格している者 日本商工会議所主催簿記検定試験 2 級以上 公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験 第 1 級 経済産業省認定情報処理技術者試験 基本情報技術者試験 公益財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験 第 1 級</p> <p>(注) [B 選抜] 総合学科等を卒業見込みの者は、調査書の「備考」欄に、商業に関する各教科・科目の修得単位数（見込みを含む。以下同じ。）を明記してください。 なお、この修得単位数に「学校設定教科・科目」の修得単位数を算入した場合は、当該教科・科目名と単位数も列記してください。</p> <table border="1" data-bbox="448 1010 1374 1099"> <tr> <td data-bbox="448 1010 523 1099">9 備 考</td> <td data-bbox="523 1010 1374 1099">商業に関する各教科・科目の修得単位数 <学校設定教科・科目> (教科・科目名 単位数)</td> </tr> </table> | 9 備 考 | 商業に関する各教科・科目の修得単位数 <学校設定教科・科目> (教科・科目名 単位数) |
| 9 備 考 | 商業に関する各教科・科目の修得単位数 <学校設定教科・科目> (教科・科目名 単位数) | | |
| <p>経済学部 経済学科 夜間主コース</p> | <p>平成 28 年 4 月 1 日現在満 22 歳未満の者【平成 6 年 4 月 2 日以降に生まれた者】で、経済学部での勉学を強く希望し、学業成績、人物共に優れ、かつ合格した場合、入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> | | |
| <p>医学部 医学科</p> | <p>医学部医学科での勉学を強く希望し、合格した場合、入学後は MD-PhD^(※) コースへの進学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当し、かつ、下記①～⑦に示す要件のいずれかを満たすもの (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成 26 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (4) 外国において学校教育における 12 年の課程を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p><出願要件> (①～⑥の取得年次は問わない) ① 日本数学オリンピック予選合格者 ② 全国物理コンテスト（物理チャレンジ）一次合格者 ③ 化学グランプリ一次選考合格者 ④ 日本情報オリンピック予選合格者 ⑤ 日本生物学オリンピック予選合格者 ⑥ 日本地学オリンピック一次合格者 ⑦ 科学研究に関する活動を積極的かつ継続的に行い、その成果や活動を客観的に示すことができる者</p> | | |

※MD-PhD コース（医学部医学科－大学院医歯薬保健学研究科連携コース）とは、6 年間の学士教育課程（医学部医学科）と 4 年間の大学院博士課程を 9 年間から 10 年間かけて連携して行う研究者養成を視野に入れたコースである。具体的には、医学部医学科 4 年次修了後に休学して大学院に入学し、4 年間（早期終了の場合は 3 年間）の博士課程修了後、再び医学科 5 年次へ復学するコースである。卒業時には、医師国家試験受験資格と博士号の両者が取得可能である。

| 学部・学科等 | 出 願 資 格 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----------------|---------|---------------|----------|---------------|--------|---------------------------|--------|----------------|-------|---------------|----------|---------------|--------|---------------------------|--------|
| <p style="text-align: center;">医学部 保健学科</p> | <p>【看護学専攻（一般型）】 医学部保健学科の看護学専攻での勉学を強く希望し、学業成績、人物共に優れ、健康状態が良好であり、合格した場合、必ず入学することを確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成 26 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 <p>【看護学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻（大学院進学型）】 医学部保健学科の看護学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻のいずれかでの学部・大学院博士課程前期までの 6 年間の勉学を強く希望し、学業成績、人物共に優れ、健康状態が良好であり、合格した場合、必ず入学することを確約できる者で、次の各号のいずれかに該当し、かつ、下記に示す出願要件のいずれかを満たすもの</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成 26 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 <p>(出願要件) 看護学専攻</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">① 英検（実用英語技能検定）</td> <td style="padding-left: 20px;">準 1 級以上</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">② TOEIC®公開テスト</td> <td style="padding-left: 20px;">6 4 0 以上</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">③ TOEFL®（iBT）</td> <td style="padding-left: 20px;">6 6 以上</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">④ IELTS™(Academic Module)</td> <td style="padding-left: 20px;">5. 0以上</td> </tr> </table> <p>理学療法学・作業療法学専攻</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">① 英検（実用英語技能検定）</td> <td style="padding-left: 20px;">2 級以上</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">② TOEIC®公開テスト</td> <td style="padding-left: 20px;">5 5 0 以上</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">③ TOEFL®（iBT）</td> <td style="padding-left: 20px;">5 6 以上</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">④ IELTS™(Academic Module)</td> <td style="padding-left: 20px;">4. 5以上</td> </tr> </table> <p>【看護学専攻（専門型）】 —— 専門高校・総合学科卒業生対象 —— 医学部保健学科の看護学専攻での勉学を強く希望し、学業成績、人物共に優れ、健康状態が良好であり、合格した場合、必ず入学することを確約できる者で、高等学校若しくは中等教育学校を平成 26 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者で、かつ、次のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 上記の学校において看護の学科を卒業又は卒業見込みの者 (2) 上記の学校において総合学科に在籍し、看護に関する科目を含めて職業に関する教科・科目を 10 単位以上修得（見込みを含む。）した者 | ① 英検（実用英語技能検定） | 準 1 級以上 | ② TOEIC®公開テスト | 6 4 0 以上 | ③ TOEFL®（iBT） | 6 6 以上 | ④ IELTS™(Academic Module) | 5. 0以上 | ① 英検（実用英語技能検定） | 2 級以上 | ② TOEIC®公開テスト | 5 5 0 以上 | ③ TOEFL®（iBT） | 5 6 以上 | ④ IELTS™(Academic Module) | 4. 5以上 |
| ① 英検（実用英語技能検定） | 準 1 級以上 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② TOEIC®公開テスト | 6 4 0 以上 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ TOEFL®（iBT） | 6 6 以上 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ IELTS™(Academic Module) | 5. 0以上 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① 英検（実用英語技能検定） | 2 級以上 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② TOEIC®公開テスト | 5 5 0 以上 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ TOEFL®（iBT） | 5 6 以上 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ IELTS™(Academic Module) | 4. 5以上 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p style="text-align: center;">歯学部 歯学科</p> | <p>歯学部歯学科での勉学を強く希望し、人物に優れ、高等学校の学習成績が良好で、合格した場合、必ず入学することを確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成 26 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 学部・学科等 | 出 願 資 格 |
|--|--|
| <p>歯学部 口腔健康科学科</p> | <p>左記に示す学部・学科での勉学を強く希望し、合格した場合、入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>(4) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> |
| <p>薬学部 薬学科</p> | <p>(6) 文部科学大臣の指定した者</p> <p>(7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）により大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 28 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> |
| <p>薬学部 薬科学科</p> | <p>(8) 学校教育法（昭和 22 年法律第 22 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの</p> <p>(9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(注) 上記（8）及び（9）に基づき、入学資格審査を希望する者は、68 ページの「入学資格の個別審査について」のとおり申請してください。</p> |
| <p>工学部 第一類 (機械システム 工学系)</p> | <p>左記に示す学部・学科等での勉学を強く希望し、学業成績、人物共に優れ、合格した場合、入学を確約できる者で、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>(4) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> |
| <p>工学部 第二類 (電気・電子・ システム・情報系)</p> | <p>(5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>(6) 文部科学大臣の指定した者</p> <p>(7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）により大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 28 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> |
| <p>工学部 第三類 (化学・バイオ・ プロセス系)</p> | <p>(8) 学校教育法（昭和 22 年法律第 22 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの</p> <p>(9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの</p> <p>(注) 上記（8）及び（9）に基づき、入学資格審査を希望する者は、68 ページの「入学資格の個別審査について」のとおり申請してください。</p> |

| 学部・学科等 | 出 願 資 格 |
|--------------------------|---|
| <p>生物生産学部 生物生産学科</p> | <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成 26 年 4 月以降に卒業した者及び平成 28 年 3 月に卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 26 年 4 月以降に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者</p> <p>上記の各号のいずれかに該当し、かつ、次の A 型、B 型、C 型いずれかの要件を満たす者</p> <p>A 型（専門型） 生物生産学部生物生産学科での勉学を強く希望し、学業成績、人物ともに優れ、高等学校において高い評価を受けており、合格した場合、必ず入学することが確約できる者で、次のいずれかに該当するもの ① 高等学校において水産、農業及び食品製造など、本学部の教育コース（生物圏環境学コース、水産生物科学コース、動物生産科学コース、食品科学コース、分子細胞機能学コース）のいずれかに関連する学科に在籍する者 ② 高等学校の総合学科において水産、農業及び食品製造など、本学部の教育コースのいずれかに関連した専門科目を 25 単位以上修得する見込みの者</p> <p>B 型（研究者養成型） 生物生産学部生物生産学科での勉学を強く希望し、学業成績、人物ともに優れ、高等学校等において高い評価を受けており、合格した場合、必ず入学し、研究者養成特別コース（※1）プログラムを履修することが確約できる者で、次のいずれかに該当するもの ① 高等学校等において理数科又は普通科の理数系コース（※2）に在籍する者 ② SSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定されている高等学校等に在籍し、プロジェクトあるいは課題研究に相当する科目を 2 年以上履修している又は見込みの者 ③ 過去 3 年間に日本生物学オリンピックの予選において上位 10%の成績を取めた者</p> <p>※1 研究者養成特別コースとは、研究者になる強い意思を持つ学生が、4 年間の学部教育において、大学院への進学を前提に幅広い知識と能力を培うことを目的に開設されたコースである。特別コースの学生は、学部 5 教育コースのいずれかのプログラムと特別コース独自のプログラムを併せて履修する。卒業後は大学院に進学し、研究力を磨きグローバルに活躍できる研究者を目指す。</p> <p>※2 普通科の理数系コースとは、普通科の中にあつて、入学定員を個々に設定し、高等学校等の入学段階から普通科の理数系コースに応じた別の教育課程による教育を受けるものをいい、大学受験のために設けられたコースは除く。</p> <p>C 型（一般型） 生物生産学部生物生産学科での勉学を強く希望し、学業成績、人物ともに優れ、高等学校等において高い評価を受けており、合格した場合、必ず入学することが確約できる者で、普通科、理数科又は総合学科に在籍しており、上記 A 型の総合学科に該当していないもの</p> |

4. 出願手続

(1) 出願期間

【歯学部歯学科，歯学部口腔健康科学科】

平成27年8月31日（月）～9月4日（金）午後5時まで（必着）

※インターネット出願における志願情報入力，入学検定料の支払は平成27年8月24日（月）から可能です。
 ※出願書類は，9月4日（金）午後5時必着としますが，これ以降に到着した場合は，9月2日（水）までの消印があるものに限って受理します。

【その他の学部・学科等】

平成27年10月5日（月）～10月9日（金）午後5時まで（必着）

※インターネット出願における志願情報入力，入学検定料の支払は平成27年9月28日（月）から可能です。
 ※出願書類は，10月9日（金）午後5時必着としますが，これ以降に到着した場合は，10月7日（水）までの消印があるものに限って受理します。

(2) 出願方法

以下の二つのいずれかの方法により，出願できます。

- ①インターネット出願（志願情報等をインターネットで入力する出願方法。ただし，調査書など別途郵送が必要な書類があります。

※インターネットによる出願をする場合は，64ページから67ページを必ず確認してください。

- ②志願票等を提出する出願（募集要項添付の所定の用紙に必要事項を記入し，調査書等の必要書類と一緒に郵送する出願方法）

(3) 出願書類

| 出願書類 | 摘 要 | 提出を要する学部・学科等 | インターネット出願における出願書類郵送の要否 |
|--------|---|-------------------|------------------------|
| 入学志願票等 | 所定の用紙に記入してください。入学志願票，写真票・受験票・入学検定料振込証明書貼付用紙・大学入試センター試験成績請求・受験教科・科目確認票，住所票が所定の用紙になっています。各ページは切り離さずに提出してください（大学入試センター試験成績請求票の貼付は不要です）。 | | 不要 (注4) |
| 自己推薦書 | 所定の用紙に記入してください。【様式1】 ※自己推薦書（2/2）の字数指定は各学部で異なります。 医学部保健学科は 1200字～1600字 医学部医学科は 1600字以内 その他の学部・学科等 800字程度 志願者が自筆・手書で記入してください。 | | |
| 調査書等 | 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び卒業見込みの者は，文部科学省所定の様式により，出身学校長が作成し，厳封したものを提出してください。なお，出身高等学校等において，指導要録が保存年限を超えるなどの理由により，調査書が得られない場合には，「卒業証明書」及び「成績証明書（又は単位取得証明書）」を調査書の代わりに提出してください。成績証明書（又は単位取得証明書）を提出できない場合は，高等学校等が作成した「成績証明書（又は単位取得証明書）」が発行できない旨の理由書を「卒業証明書」と併せて提出してください。 2. 高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は，合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。 なお，一部の科目を高等学校で修得した者は在学期間中の調査書を併せて提出してください。 また，合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を平成28年3月31日までに高等学校等で修得見込みの者は，文部科学省が発行する合格見込成績証明書の原本を提出してください。 3. 文部科学大臣の指定した者で以下に該当するものは，次の書類を提出してください。 (1) 国際バカロレア資格を取得した者は，その資格証書の写しとIB最終試験6科目の成績評価証明書 (2) アビトゥア資格を取得した者は，アビトゥア資格取得者に授与される一般的大学入学資格証明書の写し (3) フランス共和国のバカロレア資格を取得した者は，バカロレア資格試験成績証明書の写し 4. 上記以外の者は，修了（見込）証明書又は資格（取得見込）証明書及び成績証明書を提出してください。 ※ 調査書提出の際は，出願する学部・学科等で定める出願資格（32～36ページ参照）を確認の上，提出願います。 | 全学部全学科 (類，コース) | 要郵送 |

| 出願書類 | 摘 要 | 提出を要する 学部・学科等 | インターネット 出願における 出願書類郵送 の要否 |
|------------------------|--|---|------------------------------------|
| 調査書等 | SSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定されている高等学校等に在籍し、プロジェクトあるいは課題研究に相当する科目を2年以上履修している又は見込みであることがわかるように記載してください。 記載事項 ・SSHの単位がある場合は取得単位を記載 ・備考欄に課題研究についての取り組み（活動、発表状況等）を記載 ※ SSHについての要覧がある場合は併せて提出してください。 | 生物生産学部 生物生産学科 (B型)②に 該当する者 | |
| 在職証明書 又は就職内定 証明書 | 勤務先による「在職証明書」又は「就職内定証明書」を提出してください。 (様式は、特に定めません。) なお、出願時に提出できない場合、「提出猶予願（様式は、特に定めません。）」を提出してください。ただし、平成28年1月29日（金）までに「在職証明書」又は「就職内定証明書」を提出されない場合、最終合格者選考の対象となりませんので、注意してください。 | 法学部法学科 夜間主コース | |
| 課題レポート | 以下の課題について、関連する文献を調べたり、その他の情報を収集したりした上で、2000字以内で、A4判の用紙に横書きで書いて提出してください。ワープロ等で作成してもかまいません。 小学校において、中学校や高等学校のように、教科ごとに専門の教員が授業する「教科担任制」という取り組みがあります。このことに関して次の4点について書きなさい。 (1) 小学校で教科担任制を導入しようとする動向の背景は何か、文献などを踏まえて述べなさい。 (2) 小学校に教科担任制を導入することの意義と課題を、理由と具体例を明らかにしながらそれぞれ述べなさい。 (3) あなたの地域の小学校を一つ選び、その小学校における教科担任制導入の有無などの実態を調べ、上記(2)を踏まえて分析しなさい。 (4) 上記(1)(2)(3)を踏まえて、小学校の教科担任制に対するあなたの考えと、そう考えた理由を述べなさい。 ※1 上下左右に2.0cm以上の余白をとってください。 ※2 文末に、空白を除く総字数を明記してください。 ※3 課題レポートの作成にあたって引用あるいは参考にした文献を、別途A4判の用紙に、一覧表にして添付してください。また、文献以外の情報収集を行った場合には、その方法の概要についても簡潔に示してください。 | 教育学部 第一類 (学校教育系) 初等教育教員 養成コース | 要郵送 |
| 出願資格 確認証明 | 医学部医学科志願者は下記の出願要件を証明できる書類（原本）を提出してください。なお、下記の出願要件①～⑥に該当する者は、第1次選考を免除します。 ①日本数学オリンピック予選合格 ②全国物理コンテスト（物理チャレンジ）一次合格 ③化学グランプリ一次選考合格 ④日本情報オリンピック予選合格 ⑤日本生物学オリンピック予選合格 ⑥日本地学オリンピック予選合格 ⑦科学研究に関する活動を積極的かつ継続的に行い、その成果や活動を客観的に示すもの ※⑦については「科学研究に関する活動を積極的かつ継続的に行っていること及びその成果や活動を客観的に示すことができる書類（出願要件を証明できる書類）」を提出してください。 | 医学部医学科 | |

| 出願書類 | 摘 要 | 提出を要する 学部・学科等 | インターネット 出願における 出願書類郵送 の要否 |
|----------------------------|---|---|------------------------------------|
| 出願資格 確認証明 | <p>医学部保健学科（看護学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻）【大学院進学型】志願者で，下記の出願要件を証明できる書類（原本）を提出してください。</p> <p>看護学専攻</p> <p>①英検（実用英語技能検定） 準1級以上 ②TOEIC[®]公開テスト 640以上 ③TOEFL[®]（iBT） 66以上 ④IELTS[™]（Academic Module） 5.0以上</p> <p>理学療法学・作業療法学専攻</p> <p>①英検（実用英語技能検定） 2級以上 ②TOEIC[®]公開テスト 550以上 ③TOEFL[®]（iBT） 56以上 ④IELTS[™]（Academic Module） 4.5以上</p> <p>生物生産学部生物生産学科（B型）志願者で，日本生物学オリンピック予選において上位10%の成績を収めた者は，予選の成績を証明できる書類（原本）を提出してください。</p> | <p>医学部保健学科 【大学院進学型】</p> <p>生物生産学部 生物生産学科 （B型）</p> | <p>要郵送</p> |
| 入学検定料 | <p>1. 入学検定料の振込について 17,000円 （法学部法学科夜間主コース及び経済学部経済学科夜間主コースは10,000円） 所定の用紙【広島大学入学検定料振込依頼書（入金票）】の太ワクの中に，志願者氏名，フリガナ及び志願者住所を必ず記入して，都市銀行，地方銀行等の本支店で振り込んでください。（ゆうちょ銀行及び郵便局（以下「ゆうちょ銀行」という。）から振り込む場合は，ゆうちょ銀行所定の振込依頼書に転記する等，別途手続きが必要となります。詳細は同封の振込依頼書（入金票）をゆうちょ銀行窓口で提示のうえ，ご相談ください。また，ゆうちょ銀行を含む各銀行ATMからは振り込めませんのでご注意ください。）振込手数料は，振込人負担となります。</p> <p>2. 提出方法について 入学検定料振込後，入学志願票貼付用入学検定料振込証明書を所定の用紙に貼付して提出してください。（受付金融機関出納印のないものは，無効です。）</p> <p>3. 注意事項 出願受付後はいかなる理由があっても，既納の入学検定料は返還しません。 ただし，次の（1）（2）の場合は，既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還しますので，「返還請求の理由」，「氏名」，「郵便番号」，「住所」，「連絡先電話番号」を明記した書面（様式は任意）に必ず「入学検定料振込証明書」添付の上，平成28年2月29日（月）までに下記送付先宛に郵送又はFAXしてください。 その後，本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので，記入・捺印の上，下記送付先に郵送してください。 （1）出願書類を提出しなかった，又は受付されなかった場合 （2）検定料を誤って二重に振り込んだ場合 〔送付先：〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 広島大学東広島地区運営支援部共通事務室出納担当 （電話）082-424-7811 （FAX）082-424-6962〕 （3）教育学部，医学部，歯学部，薬学部，生物生産学部の第1次選考不合格者に対しては，13,000円を返還します。返還手続の方法等は，第1次選考の結果とともに本人へ通知します。</p> | <p>全学部全学科 （類，コース）</p> | <p>不要</p> |
| 受験票等送付用 定形封筒 | <p>学生募集要項添付の封筒（小）又は市販の長型3号封筒（12cm×23.5cm）に志願者の住所，氏名を記入し，92円分の切手を貼付したものを提出してください。</p> | | |
| 出願書類受領及 び受験番号通知 用はがき | <p>学生募集要項添付のはがきに52円分の切手を貼付したもの又は郵便局等で販売している52円の官製はがき（無地）の表（宛名）面に，志願者の住所，氏名を記入して提出してください。</p> | | <p>要郵送</p> |

| 出願書類 | 摘 要 | 提出を要する 学部・学科等 | インターネット 出願における 出願書類郵送 の要否 |
|-------------------------------------|--|---------------------------|------------------------------------|
| 各種検定試験 成績合格通知 書及び資格取 得証明書等 | <p>英語外部検定試験，その他の検定試験の合格者及び資格取得者は，当該スコア・等級又は資格を証明する書類（原本）を提出してください。出願書類受付時に確認後、返却します。</p> <p>なお，スコア等の有効期限が定められている検定試験等については，出願締切日時時点でその有効期限を越えていないもの，定められていないものについては，高等学校等入学後に取得したものに限り有効となります。</p> | 該当する 学部・学科 (類, コース) | 要郵送 |

- (注1) 出願書類受領後，一週間以内に「出願書類受領及び受験番号通知用はがき」にて受験番号を通知します。
 なお，出願書類の受領確認は電話でお答えすることができませんので，日本郵便ホームページ (<http://www.post.japanpost.jp/index.html>) の追跡サービスで確認してください。
- (注2) 出願書類のうち，英語以外の外国語で記載された証明書等には日本語訳を添付してください。
 志願者本人が翻訳しても構いません。この場合，日本語訳の厳封は不要です。
- (注3) 改姓名等により現在の氏名と書類の氏名が異なる場合は，戸籍抄本等の公的機関が発行した書類の写しを添付してください。
- (注4) インターネット出願で写真をアップロードした場合，入学志願票等は郵送不要ですが，写真をアップロードしない場合は必ず写真（縦4cm×横3cm）を郵送してください。

5. 入学者選抜方法等

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|--|---|
| <p>教育学部 第一類 (学校教育系) 初等教育教員養成 コース</p> | <p>(1) 第1次選考 出願書類 (調査書, 自己推薦書及び課題レポート) (2) 第2次選考 小論文, 面接 (プレゼンテーション, 課題レポートに関することを含む) ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30 ~ 12:00 11月20日(金) 面接 9:30 ~ イ. 試験場: 東広島キャンパス 教育学部 ウ. 実施科目等の内容 小論文: 学校教育及び初等教育に関する基本的な事項について問い, 問題意識, 問題解決能力, 論理的な表現力を総合的に評価します。(点数化して評価) 面接: 学校教育及び初等教育に関する問題意識, 意欲, 関心, 思考力, 適性などを, 当日課されるテーマでのプレゼンテーションを含めて, 多面的に評価します。(点数化して評価) (3) 最終選考 大学入試センター試験</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類 (調査書, 自己推薦書及び課題レポート) を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。 (2) 第2次選考 小論文 (200点満点) と面接 (400点満点) の合計点を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。 (3) 最終選考 第2次選考合格者のうち, 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が, 合格基準点 (600点) 以上であった者を最終合格者とします。</p> |
| <p>教育学部 第一類 (学校教育系) 特別支援教育 教員養成コース</p> | <p>(1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書) (2) 第2次選考 小論文, 面接 (プレゼンテーション含む) ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30 ~ 12:00 11月20日(金) 面接 9:30 ~ イ. 試験場: 東広島キャンパス 教育学部 ウ. 実施科目等の内容 小論文: 教育に関する基本的な事項について問い, 問題意識, 論理的思考力, 課題解決能力などを総合的に評価します。(点数化して評価) 面接: 特別支援教育に関する問題意識, 創意・工夫力, プレゼンテーション能力などをもとに, 多面的に評価します。当日課されるテーマでの質疑応答を行うこともあります。(点数化して評価) (3) 最終選考 大学入試センター試験</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書) を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。 (2) 第2次選考 小論文 (200点満点) と面接 (400点満点) の合計点を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。 (3) 最終選考 第2次選考合格者のうち, 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が, 合格基準点 (585点) 以上であった者を最終合格者とします。</p> |
| <p>教育学部 第二類 (科学文化教育系) 自然系コース</p> | <p>(1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書) (2) 第2次選考 小論文, 面接 (プレゼンテーション含む) ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30 ~ 12:00 11月20日(金) 面接 9:30 ~ イ. 試験場: 東広島キャンパス 教育学部 ウ. 実施科目等の内容 小論文: 理科に関する基礎学力, 思考力, 表現力などをみる問題を出題します。(点数化して評価) 面接: 理科に関する内容 (観察・実験を含む) 及び理科教育への関心・意欲を問います。プレゼンテーションの課題は当日提示します。(点数化して評価) (3) 最終選考 大学入試センター試験</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書) を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。 (2) 第2次選考 小論文 (200点満点) と面接 (400点満点) の合計点を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。 (3) 最終選考 第2次選考合格者のうち, 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が, 合格基準点 (585点) 以上であった者を最終合格者とします。</p> |

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|------------------------------------|--|
| 教育学部 第二類 (科学文化教育系) 技術・情報系コース | <p>(1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書)</p> <p>(2) 第2次選考 小論文, 面接 (プレゼンテーション含む)</p> <p>ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30 ~ 12:00 11月20日(金) 面接 9:30 ~</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 教育学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文: 技術・情報 (木材加工, 金属加工, 機械, 電気, 栽培及び情報等) の基礎的内容を題材として, 思考力及び表現力を評価します。(点数化して評価) 面接: 技術的素養や情動的素養, 教育への関心・意欲を問います。また, 技術・情報に関連する内容についてのプレゼンテーション能力も評価します。(点数化して評価)</p> <p>(3) 最終選考 大学入試センター試験</p> <p>合否判定の基準</p> <p>(1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書) を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。</p> <p>(2) 第2次選考 小論文 (200点満点) と面接 (400点満点) の合計点を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。</p> <p>(3) 最終選考 第2次選考合格者のうち, 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が, 合格基準点 (250点) 以上であった者を最終合格者とします。</p> |
| 教育学部 第二類 (科学文化教育系) 社会系コース | <p>(1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書)</p> <p>(2) 第2次選考 小論文, 面接 (プレゼンテーション含む)</p> <p>ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30 ~ 12:00 11月20日(金) 面接 9:30 ~</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 教育学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文: 地理歴史科・公民科に関する学力をみる問題を出します。(点数化して評価) 面接: 様々な資料・社会現象を題材とした試問を行い, 理解力, 思考力, 批判力, プレゼンテーション能力ならびに地理歴史科・公民科の学習成果などを評価します。プレゼンテーションの課題は当日提示します。(点数化して評価)</p> <p>(3) 最終選考 大学入試センター試験</p> <p>合否判定の基準</p> <p>(1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書) を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。</p> <p>(2) 第2次選考 小論文 (200点満点) と面接 (400点満点) の合計点を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。</p> <p>(3) 最終選考 第2次選考合格者のうち, 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が, 合格基準点 (585点) 以上であった者を最終合格者とします。</p> |
| 教育学部 第五類 (人間形成基礎系) 教育学系コース | <p>(1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書)</p> <p>(2) 第2次選考 小論文, 面接 (プレゼンテーション含む)</p> <p>ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30 ~ 12:00 11月20日(金) 面接 9:30 ~</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 教育学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文: 論文・評論などを題材とする問題を出題し, 教育学を学ぶうえで必要な学力や能力を評価します。(点数化して評価) 面接: 当日, 教育問題に関連する課題を与え, プレゼンテーションを含む面接を実施し, アドミッション・ポリシーにおいて当コースの求める能力, 適性等を多面的, 総合的に評価します。(点数化して評価)</p> <p>(3) 最終選考 大学入試センター試験</p> <p>合否判定の基準</p> <p>(1) 第1次選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書) を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。</p> <p>(2) 第2次選考 小論文 (300点満点) と面接 (300点満点) の合計点を段階評価 (A, B, C, Dの4段階評価) により判定します。</p> <p>(3) 最終選考 第2次選考合格者のうち, 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が, 合格基準点 (600点) 以上であった者を最終合格者とします。</p> |

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|---|--|
| <p>教育学部 第五類 (人間形成基礎系) 心理学系コース</p> | <p>(1) 第1次選考 出願書類(調査書及び自己推薦書) (2) 第2次選考 小論文, 面接(プレゼンテーション含む) ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30 ~ 12:00 11月20日(金) 面接 9:30 ~ イ. 試験場: 東広島キャンパス 教育学部 ウ. 実施科目等の内容 小論文: 心理学を学ぶための基礎学力, 思考力, 表現力などをみる問題を出題します。 (点数化して評価) 面接: 現代社会の「こころ」の問題に関する関心, 知識, 洞察力などをみるため, 当日課題を与え, プレゼンテーションを含めた面接を行います。 (点数化して評価) (3) 最終選考 大学入試センター試験</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類(調査書及び自己推薦書)を段階評価(A, B, C, Dの4段階評価)により判定します。 (2) 第2次選考 小論文(300点満点)と面接(300点満点)の合計点を段階評価(A, B, C, Dの4段階評価)により判定します。 (3) 最終選考 第2次選考合格者のうち, 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が, 合格基準点(600点)以上であった者を最終合格者とします。</p> |
| <p>法学部法学科 夜間主コース</p> | <p>選考 小論文, 面接, 大学入試センター試験 ※出願書類(調査書及び自己推薦書)は, 面接評価する際の参考資料として用います。 ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30 ~ 11:00 面接 13:30 ~ イ. 試験場: 東広島キャンパス 法学部 ウ. 実施科目等の内容 小論文: 論文・評論等を題材とし, 法学・政治学・社会学を中心とした社会科学系の学問を学ぶ上で必要な基礎的学力をみます。(点数化して評価) 面接: 法学部で学ぶことの意義, 勉学に対する意欲, 意向等について, 自己推薦書の内容に沿って行います。(点数化して評価) エ. 英語外部検定試験の扱いについて 英語外部検定試験において, 一定の等級又はスコアを取得している者が, 出願時に成績証明書等を提出した場合, その成績も含めて評価します。詳細は「英語外部検定試験を利用したAO入試について」(63ページ)で確認してください。</p> <p>合否判定の基準 小論文(200点満点), 面接(200点満点)の得点を総合して判定します。 ただし, 上記エに該当する者については, 英語外部検定試験の成績を含めます。 なお, 最終合格者となるには, 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点合計が, 概ね合格基準点(275点)以上であることが必要です。</p> |

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">経済学部 経済学科 昼間コース 夜間主コース</p> | <p>選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）、小論文、面接、大学入試センター試験</p> <p>ア. 実施日時 11月19日（木） 小論文 9：30～11：00 11月20日（金） 面接 9：30～</p> <p>イ. 試験場：東広島キャンパス 経済学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文：論説文・評論等を題材とし、論理的思考力等の経済学を学ぶ上での適性をみます。英文による出題、英語での表現力をみる問題を含むこともあります。（点数化して評価） 面接：問題意識と勉強意欲を重視し、あわせて問題解決能力や議論する能力をみる質問をして、適性を判断します。（点数化して評価）</p> <p>エ. 英語外部検定試験の扱いについて 英語外部検定試験において、一定の等級又はスコアを取得している者が、出願時に成績証明書等を提出した場合、その成績も含めて評価します。詳細は「英語外部検定試験を利用したAO入試について」（63ページ）」で確認してください。</p> <p>合否判定の基準（昼間コース） 調査書（100点満点）、自己推薦書（90点満点）、小論文（200点満点）、面接（100点満点）の得点を総合して判定します。ただし、英語外部検定試験利用として等級又はスコアに関する証明書（原本）を提出した者は、自己推薦書の評価に反映させます。 なお、最終合格者となるには、大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点合計が、概ね合格基準点（A選抜560点、B選抜250点）以上であることが必要です。</p> <p>合否判定の基準（夜間主コース） 調査書（100点満点）、自己推薦書（90点満点）、小論文（200点満点）、面接（100点満点）の得点を総合して判定します。ただし、英語外部検定試験利用として等級又はスコアに関する証明書（原本）を提出した者は、自己推薦書の評価に反映させます。 なお、最終合格者となるには、大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点合計が、概ね合格基準点（250点）以上であることが必要です。</p> |
| <p style="text-align: center;">医学部 医学科</p> | <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書、自己推薦書及び出願要件を証明できる書類）</p> <p>(2) 最終選考 小論文、面接、大学入試センター試験</p> <p>ア. 実施日時 11月12日（木） 小論文 13：00～15：00 11月13日（金） 面接 (1) 9：00～ 11月13日（金） 面接 (2) 13：00～</p> <p>イ. 試験場：霞キャンパス 医学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文：題材に沿った論文作成とともに、生命科学の知識と英語の能力を含めた総合的な能力を評価します。（点数化して評価） 面接：アドミッション・ポリシーに掲げる能力を有し、研究者志向を持った医療人としての適性を評価するとともに、MD-PhDコースへの進学的意思を確認します。（点数化して評価） ※面接についての詳細は、受験票発送時に連絡します。</p> <p>合否判定の基準 (1) 第1次選考 出願書類（調査書、自己推薦書及び出願要件を証明できる書類）の評価を総合して判定します（100点満点）。ただし、出願要件のうち科学オリンピックに関連する書類①～⑥（33ページを参照）を提出した場合は、第1次選考を免除します。 (2) 最終選考 小論文（100点満点）、面接の点数（200点満点）の合計点を総合して判定します。 なお、最終合格者となるには、大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が、合格基準点（720点）以上であることが必要です。</p> |

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|-------------|---|
| 医学部 保健学科 | <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）</p> <p>(2) 最終選考 小論文，面接，大学入試センター試験</p> <p>ア. 実施日時 11月19日（木）小論文 9：30～11：00 面接 13：00～</p> <p>イ. 試験場：霞キャンパス 医学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文：日本語の表現能力を含む基礎学力，論理的な思考力，豊かな感性に加え，保健・医療従事者に必要な，全人的なものの見方，倫理観などを総合的に評価します。 面接：複数の面接員による個別面接を行い，保健にかかわる専門職及び専門領域の理論と方法の発展を担う人材として探究心，思考力，創造性，表現力を総合的に評価します。大学院進学型においては，併せて大学院進学への志望動機・適性・能力について評価します。</p> <p>合否判定の基準</p> <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）の評価を総合して判定します（300点満点）。</p> <p>(2) 最終選考 小論文（100点満点），面接試験（200点満点）の合計点を総合して判定します。 なお，最終合格者となるには，大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が，合格基準点（下記に示す）以上であることが必要です。</p> <p>合格基準点 看護学専攻（一般型，大学院進学型） 概ね600点 看護学専攻（専門型） 概ね560点 理学療法学専攻 概ね600点 作業療法学専攻 概ね600点</p> |
| 歯学部 歯学科 | <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書），小論文</p> <p>ア. 実施日時 9月18日（金）小論文 10：00～12：00</p> <p>イ. 試験場：霞キャンパス試験場（歯学部） 大阪試験場（注）</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文：1または2問の設問に対して小論文を作成し，日本語の能力を含む高校生としての基礎学力，論理的な思考力，豊かな感性，全人的なものの見方，倫理観などを総合的に評価します。</p> <p>(2) 最終選考 面接，小論文（第1次選考で課したもの），大学入試センター試験</p> <p>ア. 実施日時 11月20日（金）面接 9：30～</p> <p>イ. 試験場：霞キャンパス 歯学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 面接：歯科医学・医療や生命科学への関心，学習意欲，対話能力や協調性，独創性や問題解決能力などを総合的に評価します。 エ. 英語外部検定試験の扱いについて 英語外部検定試験において，一定の等級又はスコアを取得している者が，出願時に成績証明書等を提出した場合，最終選考の合否判定時に使用します。詳細は「英語外部検定試験を利用したAO入試について」（63ページ）で確認してください。</p> <p>合否判定の基準</p> <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）の評価（200点満点）と小論文（500点満点）の得点を総合して判定します。</p> <p>(2) 最終選考 小論文（第1次選考で課したもの，500点満点），面接（500点満点）を総合して判定します。同点の場合は，英語外部検定試験の得点の高い順とします。 なお，最終合格者となるには，大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が，概ね合格基準点（650点）以上であることが必要です。</p> |

（注）第1次選考試験場は，志願者が「霞キャンパス試験場（歯学部）」又は「大阪試験場（大阪大学中之島センター）」のどちらかを選ぶことができます。

（歯学部の各試験場の位置及びアクセス方法は71～72ページを参照してください。）

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|----------------|---|
| 歯学部 口腔健康科学科 | <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書），小論文</p> <p>ア. 実施日時 9月18日（金） 小論文 10:00～12:00</p> <p>イ. 試験場：霞キャンパス試験場（歯学部） 大阪試験場（注）</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文：口腔健康科学を学ぶ上で必要な論理的な思考力，倫理観などに加え，この分野に対する問題意識，日本語の表現力や記述力，独創性等について総合的に評価します。</p> <p>(2) 最終選考 面接，小論文（第1次選考で課したもの），大学入試センター試験</p> <p>ア. 実施日時 11月20日（金） 面接 9:30～</p> <p>イ. 試験場：霞キャンパス試験場 歯学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 面接：学習意欲，探究心，医療従事者に必要なコミュニケーション能力や協調性，問題解決能力および社会常識等について総合的に評価します。</p> <p>エ. 英語外部検定試験の扱いについて 英語外部検定試験において，一定の等級又はスコアを取得している者が，出願時に成績証明書等を提出した場合，最終選考の合否判定時に使用します。詳細は「英語外部検定試験を利用したAO入試について」（63ページ）で確認してください。</p> <p>合否判定の基準</p> <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）の評価（200点満点）と小論文（500点満点）の得点を総合して判定します。</p> <p>(2) 最終選考 小論文（第1次選考で課したもの，500点満点），面接（500点満点）を総合して判定します。同点の場合は，英語外部検定試験の得点の高い順とします。合格最低点での同点者は合格とします。 なお，最終合格者となるには，大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が，概ね合格基準点（500点）以上であることが必要です。</p> |

（注）第1次選考試験場は，志願者が「霞キャンパス試験場（歯学部）」又は「大阪試験場（大阪大学中之島センター）」のどちらかを選ぶことができます。

（歯学部の各試験場の位置及びアクセス方法は71～72ページを参照してください。）

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|-------------------------------|---|
| 薬学部 薬学科 | <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）</p> <p>(2) 最終選考 面接，大学入試センター試験</p> <p>ア. 実施日時 11月19日（木） 面 接 9：30～</p> <p>イ. 試験場：霞キャンパス 薬学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 面 接：化学に関する基礎学力や薬学への関心などを問う質問をします。</p> <p>エ. 英語外部検定試験の扱いについて 英語外部検定試験において，一定の等級又はスコアを取得している者が，出願時に成績証明書等を提出した場合，最終選考において加算使用します。詳細は「英語外部検定試験を利用したAO入試について」（63ページ）」で確認してください。</p> <p>合否判定の基準</p> <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）の評価を総合して判定します（120点満点）。</p> <p>(2) 最終選考 面接（160点満点）及び加算点（40点）の合計で判定します。 なお，面接の得点が，学科受験者の平均点の60%未満の場合は，不合格とします。 また，最終合格者となるには，大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点が，概ね合格基準点（700点）以上であることが必要です。</p> |
| 薬学部 薬科学科 | <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）</p> <p>(2) 最終選考 面接，大学入試センター試験</p> <p>ア. 実施日時 11月19日（木） 面 接 9：30～</p> <p>イ. 試験場：霞キャンパス 薬学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 面 接：化学に関する基礎学力や薬科学への関心などを問う質問をします。</p> <p>エ. 英語外部検定試験の扱いについて 英語外部検定試験において，一定の等級又はスコアを取得している者が，出願時に成績証明書等を提出した場合，最終選考において加算使用します。詳細は「英語外部検定試験を利用したAO入試について」（63ページ）」で確認してください。</p> <p>合否判定の基準</p> <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）の評価を総合して判定します（120点満点）。</p> <p>(2) 最終選考 面接（160点満点）及び加算点（40点）の合計で判定します。 なお，面接の得点が，学科受験者の平均点の60%未満の場合は，不合格とします。 また，最終合格者となるには，大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点が，概ね合格基準点（700点）以上であることが必要です。</p> |
| 工学部 第一類 （機械システム 工学系） | <p>選考 出願書類（調査書及び自己推薦書），小論文，面接，大学入試センター試験</p> <p>ア. 実施日時 11月19日（木） 小 論 文 9：30～11：30 11月20日（金） 面 接 9：30～</p> <p>イ. 試験場：東広島キャンパス 工学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小 論 文：自然科学・技術に関する基礎知識（数学，物理などを含む），論理的思考と表現力をみる問題を出題します。（点数化して評価） 面 接：出願書類に基づき，科学技術・社会への関心，学習意欲などについて聞きます。（点数化して評価）</p> <p>エ. 英語外部検定試験の扱いについて 英語外部検定試験において，一定の等級又はスコアを取得している者が，出願時に成績証明書等を提出した場合，出願書類に所定の点数を加算します。詳細は「英語外部検定試験を利用したAO入試について」（63ページ）」で確認してください。</p> <p>合否判定の基準</p> <p>小論文（200点満点），面接（100点満点），出願書類（80点満点）及び加算点（配点20点）の総合点（400点満点）で判定します。 なお，最終合格者となるには，大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が，概ね合格基準点（390点）以上であることが必要です。</p> |

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">工学部 第二類 (電気・電子・ システム・情報系)</p> | <p>選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書), 小論文, 面接, 大学入試センター試験</p> <p>ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30 ~ 11:30 11月20日(金) 面接 9:30 ~</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 工学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文: 数学と物理に関する論理的思考力と記述力をみる問題を出題します。(点数化して評価) 面接: 勉学に対する意欲や適性をみる質問並びに数学と物理の基礎学力をみる試問を行います。(点数化して評価)</p> <p>エ. 英語外部検定試験の扱いについて 英語外部検定試験において, 一定の等級又はスコアを取得している者が, 出願時に成績証明書等を提出した場合, 出願書類に所定の点数を加算します。詳細は「英語外部検定試験を利用したAO入試について」(63ページ)で確認してください。</p> <p>合否判定の基準 小論文(200点満点), 面接(100点満点)及び出願書類(100点満点)の総合点(400点満点)で判定します。 なお, 最終合格者となるには, 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が, 概ね合格基準点(420点)以上であることが必要です。</p> |
| <p style="text-align: center;">工学部 第三類 (化学・バイオ・ プロセス系)</p> | <p>選考 出願書類 (調査書及び自己推薦書), 小論文, 面接, 大学入試センター試験</p> <p>ア. 実施日時 11月19日(木) 小論文 9:30 ~ 11:30 11月20日(金) 面接 9:30 ~</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 工学部</p> <p>ウ. 実施科目等の内容 小論文: 化学・バイオ・プロセスを学ぶ上で必要な基礎知識, 科学的思考力を評価します。すなわち化学の基礎的知識とその応用力・展開力を問います。(点数化して評価) 面接: 小論文を基にした口頭試問や社会的に関心の高い化学・バイオ・プロセス分野の事柄を試問し, 興味の度合いや適正を総合的に評価します。(点数化して評価)</p> <p>エ. 英語及び科学に関する優れた課外活動に対する加算点について ・英語外部検定試験において, 一定の等級又はスコアを取得している場合, 加算します。詳細は「英語外部検定試験を利用したAO入試について」(63ページ)で確認してください。 ・科学に関する優れた課外活動(SSHでの課題研究・化学グランプリ・生物オリンピックでの実績など)に対して最大10点加算します。なお, 複数の項目に該当している場合は, 高得点のもの1項目のみを加算点の対象とします。</p> <p>合否判定の基準 小論文(200点満点), 面接(100点満点), 出願書類(80点満点)及び加算点(配点20点)の総合点(400点満点)で判定します。 なお, 最終合格者となるには, 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が, 概ね合格基準点(420点)以上であることが必要です。</p> |

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|--------------------------|--|
| <p>生物生産学部 生物生産学科</p> | <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書） ※英語外部検定試験の扱いについて 英語外部検定試験において一定の等級又はスコアを取得している場合、点数化して評価します。詳細は「英語外部検定試験を利用したAO入試についてについて」（63ページ）で確認してください。</p> <p>(2) 第2次選考 【A型, C型】セミナー受講によるレポート提出, 面接 【B型】 面接</p> <p>ア. 実施日時 【A型, C型】 11月19日(木) セミナー 9:30 ~ 11:30 面接 13:00 ~</p> <p>【B型】 11月19日(木) 面接 9:30 ~</p> <p>イ. 試験場：東広島キャンパス 生物生産学部 ウ. 実施科目等の内容 【A型, C型】 セミナー:アドミッション・ポリシーに沿った特定のテーマに関するセミナーを受講し、趣旨の理解力と問題展開の能力評価するためのレポートを作成します。レポートの内容は点数化して評価されます。(点数化して評価) 面接：志望理由の明確さ、学習意欲、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力などを重視します。(点数化して評価)</p> <p>【B型】 面接：高等学校等で取り組んだ課題研究等に関する口頭試問を含む面接により選考します。(点数化して評価)</p> <p>(3) 最終選考 大学入試センター試験</p> <hr/> <p>合否判定の基準</p> <p>(1) 第1次選考 出願書類（調査書及び自己推薦書）(90点満点)と英語外部検定試験の等級又はスコアを点数化したもの(10点満点)の総合点(100点満点)で判定します。A型, B型, C型ともそれぞれ募集人員の3倍以内を合格者とします。</p> <p>(2) 第2次選考 【A型, C型】セミナーを受講後の提出レポート(500点満点)と, 面接(500点満点)の総合点で判定します。 【B型】 面接(1,000点満点)の点数で判定します。</p> <p>(3) 最終選考 第2次選考合格者のうち, 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が, 合格基準点(下記に示す。)以上であった者を最終合格者とします。</p> <p>合格基準点・・・A型 380点 B型 390点 C型 540点</p> |

6. 大学入試センター試験

- 平成28年度大学入試センター試験の詳細については、大学入試センター試験受験案内を参照してください。
- 下記に示す大学入試センター試験受験科目をよく確認したうえで間違いがない場合は「平成28年度広島大学AO入試（総合評価方式）大学入試センター試験成績請求・受験教科・科目確認票」の受験教科・科目確認欄に受験する学部・学科・類（系）・コースに対応する記号（A～R）を記入してください。
- 配点に*印を付している教科は選択教科を示します。
- 大学入試センター試験における英語の得点の取扱いについて
英語において、筆記試験とリスニングを課します（リスニングが免除となった場合を除き、筆記試験及びリスニングの両方を受験している場合のみ、英語を受験したことになります）。筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）に圧縮したものを英語の得点とし、各学部・学科等が定めている配点に換算します。
ただし、重度難聴者などでリスニングが免除となった場合は、筆記試験（200点満点）の得点を圧縮せず、そのまま英語の得点とし、各学部・学科等が定めている配点に換算します。
- 「倫理・政治経済（4単位科目）」、「倫理（2単位科目）」、「政治経済（2単位科目）」はそれぞれ別科目になりますので、必ず学部・学科・類（系）・コースの指定する科目の中から選択してください。
- 数学の「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了（見込み）者に限ります。
なお、旧教育課程履修者に対する大学入試センター試験についての経過措置として、平成28年度大学入試センター試験に限り出題される数学の「工業数理基礎」の科目を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限ります。（新教育課程履修者は「工業数理基礎」を選択解答できません。）
本学では、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択可能としている募集単位について、「工業数理基礎」も選択解答できます。
- 数学において、2科目を受験した場合の取扱いについては、受験を要する科目数を1科目としている場合、高得点の解答科目を採用します。
- 地理歴史、公民において2科目を受験した場合の取扱いについては、受験を要する科目数を1科目としている場合、第1解答科目の得点を採用しますので、第1解答科目は必ず学部・学科等の指定した科目の中から選択してください。
- 理科において、『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』（以下、「基礎を付した科目」という）から2科目又は「物理、化学、生物、地学」（以下、「基礎を付していない科目」という）から2科目を選択できる場合の「基礎を付していない科目」の取扱いは、「基礎を付していない科目」2科目の合計点（200点満点）を0.5倍（100点満点）に圧縮したものを理科の得点とし、各学部・学科等が定めている配点に換算します。
なお、利用科目については、各学部の大学入試センター試験の利用教科・科目により確認してください。
また、歯学部口腔健康科学科口腔保健学専攻における理科の取扱いは、48ページの（注2）及び（注3）により確認してください。
- 理科において2科目を受験した場合の取扱いについては、受験を要する科目数を1科目としている場合、第1解答科目の得点を採用しますので、第1解答科目は必ず学部・学科等の指定した科目の中から選択してください。
- *印を付している公民欄については、公民を2科目選択することはできません。

| 学部 | 学科・類(系)・コース等名 | 大学入試センター試験の利用教科・科目 | | | 記号 | |
|------------------------|---|--|------------|--------------|-----------|---|
| | | 教科 | 配点 | 科目名 | | |
| 教育学部 | 第一類（学校教育系） 初等教育教員養成コース 文科系（注1） 第一類（学校教育系） 特別支援教育教員養成コース 文科系（注1） 第二類（科学文化教育系） 社会系コース 第五類（人間形成基礎系） 教育学系コース 第五類（人間形成基礎系） 心理学系コース | 国 | 200 | 国 | を1 | A |
| | | 地歴・公民 | 200 | 世B、日B、地理B | から2 | |
| | | | | *現社、倫・政経 | | |
| | | 数 | 100 | 数Ⅰ・数A | を1 | |
| | | | | 数Ⅱ・数B、簿、情報 | から1 | |
| | | 理 | 100 | 物基、化基、生基、地学基 | から2 | |
| | | | | 物、化、生、地学 | 又は から2 | |
| | | 外 | 200 | 英、独、仏、中、韓 | から1 | |
| | | 計 | 900 | (5又は6教科8科目) | | |
| | | 第一類（学校教育系） 初等教育教員養成コース 理科系（注1） 第一類（学校教育系） 特別支援教育教員養成コース 理科系（注1） | 国 | 200 | 国 | |
| | 地歴・公民 | | 100 | 世B、日B、地理B | から1 | |
| | | | | *現社、倫・政経 | | |
| | 数 | | 100 | 数Ⅰ・数A | を1 | |
| | | | | 数Ⅱ・数B、簿、情報 | から1 | |
| | 理 | | 200 | 物、化、生、地学 | から2 | |
| | 外 | | 200 | 英、独、仏、中、韓 | から1 | |
| | 計 | 900 | (5教科7科目) | | | |
| | 第二類（科学文化教育系） 自然系コース | 国 | 200 | 国 | を1 | C |
| | | 地歴・公民 | 100 | 世B、日B、地理B | から1 | |
| | | | | 倫・政経 | | |
| 数 | | 100 | 数Ⅰ・数A | を1 | | |
| | | | 数Ⅱ・数B、簿、情報 | から1 | | |
| 理 | | 200 | 物、化、生、地学 | から2 | | |
| 外 | | 200 | 英、独、仏、中、韓 | から1 | | |
| 計 | 900 | (5教科7科目) | | | | |
| 第二類（科学文化教育系） 技術・情報系コース | 数 | 100 | 数Ⅰ・数A | を1 | D | |
| | | | 数Ⅱ・数B、簿、情報 | から1 | | |
| | 理 | 100 | 物、化、生、地学 | から1 | | |
| | 外 | 200 | 英、独、仏、中、韓 | から1 | | |
| | 計 | 500 | (3教科4科目) | | | |

| 学部 | 学科・類(系)・コース等名 | 大学入試センター試験の利用教科・科目 | | | 記号 | | |
|------------------------|---------------------------------------|--------------------|------------------------|--|-------------------------|---|---|
| | | 教科 | 配点 | 科目名 | | | |
| 法学部 | 法学科 夜間主コース | 国 | 200 | 国 | を1 | E | |
| | | 地歴・公民 | 100 | 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 | から1 | | |
| | | 外 | 200 | 英, 独, 仏, 中, 韓 | から1 | | |
| | | 計 | 500 | (3教科3科目) | | | |
| 経済学部 | 経済学科昼間コース (A選抜) | 国 | 200 | 国 | を1 | F | |
| | | 地歴・公民 | 200 | 世B, 日B, 地理B ※現社, 倫, 政経, 倫・政経 | から2 | | |
| | | 数 | 100 | 数I・数A | を1 | | |
| | | 理 | 100 | 数II・数B, 簿, 情報 物基, 化基, 生基, 地学基 物, 化, 生, 地 | から1 から2 又は から2 | | |
| | 外 | 200 | 英, 独, 仏, 中, 韓 | から1 | | | |
| | 計 | 900 | (5又は6教科8科目) | | | | |
| | 経済学科 昼間コース (B選抜) 経済学科 夜間主コース | 国 | 200 | 国 | を1 | | G |
| | | 地歴・公民 | 100 | 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数I・数A 数II・数B, 簿, 情報 | から1 | | |
| 外 | | 200 | 英, 独, 仏, 中, 韓 | から1 | | | |
| 計 | | 500 | (3教科3科目) | | | | |
| 医学部 | 医学科 | 国 | 200 | 国 | を1 | H | |
| | | 地歴・公民 | 100 | 世B, 日B, 地理B 倫・政経 | から1 | | |
| | | 数 | 100 | 数I・数A | を1 | | |
| | | 理 | 200 | 数II・数B, 簿, 情報 物, 化, 生 | から1 から2 | | |
| | | 外 | 200 | 英 | を1 | | |
| | | 計 | 900 | (5教科7科目) | | | |
| 医学部 | 保健学科看護学専攻 保健学科理学療法専攻 保健学科作業療法専攻 | 国 | 200 | 国 | を1 | I | |
| | | 地歴・公民 | 100 | 世B, 日B, 地理B 倫・政経 | から1 | | |
| | | 数 | 100 | 数I・数A | を1 | | |
| | | 理 | 100 | 数II・数B, 簿, 情報 | から1 | | |
| | | 外 | 200 | 物, 化, 生 | から2 | | |
| | | 計 | 200 | 英, 独, 仏, 中, 韓 | から1 | | |
| 歯学部 | 歯学科 | 国 | 200 | 国 | を1 | J | |
| | | 地歴・公民 | 100 | 世B, 日B, 地理B 倫・政経 | から1 | | |
| | | 数 | 100 | 数I・数A | を1 | | |
| | | 理 | 100 | 数II・数B, 簿, 情報 | から1 | | |
| | | 外 | 200 | 物, 化, 生 | から2 | | |
| | | 計 | 200 | 英, 独, 仏, 中, 韓 | から1 | | |
| | 口腔健康科学科 口腔保健学専攻 (注2) (注3) | 国 | 200 | 国 | を1 | K | |
| | | 地歴・公民 | *100 又は *200 | 世B, 日B, 地理B 倫・政経 | から1 又は2 | | |
| | | 数 | 100 | 数I・数A 数II・数B, 簿, 情報 | から1 | | |
| | | 理 | *100 又は *200 | 物基, 化基, 生基 物, 化, 生 | から2 又は から1又は2 | | |
| | | 外 | 200 | 英, 独, 仏, 中, 韓 | から1 | | |
| | | 計 | 800 | (5又は6教科6又は7科目) | | | |
| 口腔健康科学科 口腔工学専攻 (注4) | 国 | 200 | 国 | を1 | L | | |
| | 地歴・公民 | 100 | 世B, 日B, 地理B 倫・政経 | から1 | | | |
| | 数 | *100 又は *200 | 数I・数A 数II・数B, 簿, 情報 | から1 又は2 | | | |
| | 理 | *100 又は *200 | 物, 化, 生 | から1 又は2 | | | |
| | 外 | 200 | 英, 独, 仏, 中, 韓 | から1 | | | |
| | 計 | 800 | (5教科6科目) | | | | |

| 学部 | 学科・類(系)・コース等名 | 大学入試センター試験の利用教科・科目 | | | 記号 | | |
|--|-----------------|--------------------|---------------|---------------|-----|---------------|-------|
| | | 教科 | 配点 | 科目名 | | | |
| 薬学部 | 薬学科 薬科学科 | 国 | 100 | 国 | を1 | M | |
| | | 地歴 公民 | 100 | 世B, 日B, 地理B | から1 | | |
| | | | | 倫・政経 | | | |
| | | 数 | 100 | 数Ⅰ・数A | を1 | | |
| | | | | 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 | から1 | | |
| | | 理 | 300 | 物, 化, 生 | から2 | | |
| 外 | 200 | 英, 独, 仏, 中, 韓 | から1 | | | | |
| 計 | 900 | (5教科7科目) | | | | | |
| 工学部 | 第一類 (機械システム工学系) | 数 | 100 | 数Ⅰ・数A | を1 | N | |
| | | | | 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 | から1 | | |
| | | 理 | 100 | 物 | を1 | | |
| | | | | 化 | を1 | | |
| | | 外 | 200 | 英, 独, 仏, 中, 韓 | から1 | | |
| | | 計 | 600 | (3教科5科目) | | | |
| 第二類 (電気・電子・システム・情報系) 第三類 (化学・バイオ・プロセス系) | 数 | 100 | 数Ⅰ・数A | を1 | O | | |
| | | | 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 | から1 | | | |
| | | | 理 | 200 | | 物, 化, 生 | から2 |
| | | | 外 | 200 | | 英, 独, 仏, 中, 韓 | から1 |
| | | | 計 | 600 | | (3教科5科目) | |
| 生物生産学部 | 生物生産学科 (A型) | 国 | 200 | 国 | を1 | P | |
| | | | | 数 | 100 | | 数Ⅰ・数A |
| | | 理 | 100 | 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 | から1 | | |
| | | | | 物, 化, 生, 地学 | から1 | | |
| | | 外 | 200 | 英, 独, 仏, 中, 韓 | から1 | | |
| | 計 | 700 | (4教科5科目) | | | | |
| | 生物生産学科 (B型) | 数 | 100 | 数Ⅰ・数A | を1 | Q | |
| | | | | 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 | から1 | | |
| | | 理 | 200 | 物, 化, 生, 地学 | から2 | | |
| | | 外 | 200 | 英, 独, 仏, 中, 韓 | から1 | | |
| | 計 | 600 | (3教科5科目) | | | | |
| | 生物生産学科 (C型) | 地歴 公民 | 100 | 世B, 日B, 地理B | から1 | R | |
| | | | | 現社, 倫・政経 | | | |
| | | 数 | 100 | 数Ⅰ・数A | を1 | | |
| | | | | 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 | から1 | | |
| 理 | | 200 | 物, 化, 生, 地学 | から2 | | | |
| 外 | | 200 | 英, 独, 仏, 中, 韓 | から1 | | | |
| 計 | 900 | (5教科7科目) | | | | | |

(注1) 文科系, 理科系のいずれか一方を出願時に選択し, 受験することになります。受験上の区分であり, 高等学校等における文科系, 理科系の区分と異なります。入学後の教育プログラムの内容にも関係しません。

(注2) 大学入試センター試験の地歴・公民と理科の科目については, 以下の3パターンのいずれかを満たすように受験していることが必要です。

- ① 地歴・公民2科目, 理科2科目 (物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から)
- ② 地歴・公民2科目, 理科1科目 (物理, 化学, 生物から)
- ③ 地歴・公民1科目, 理科2科目 (物理, 化学, 生物から)

(注3) 大学入試センター試験の地歴・公民, 数学, 理科で複数の科目を受験している場合, 次の3パターンのいずれかで, 最も高得点となる組合せを採用します。

- ① 国語1科目, 地歴・公民2科目, 数学1科目, 理科2科目 (物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から), 外国語1科目
- ② 国語1科目, 地歴・公民2科目, 数学1科目, 理科1科目 (物理, 化学, 生物から), 外国語1科目
- ③ 国語1科目, 地歴・公民1科目, 数学1科目, 理科2科目 (物理, 化学, 生物から), 外国語1科目

(注4) 大学入試センター試験の地歴・公民, 数学, 理科で複数の科目を受験している場合, 次の2パターンのいずれかで, 最も高得点となる組合せを採用します。

- ① 国語1科目, 地歴・公民1科目, 数学1科目, 理科2科目, 外国語1科目
- ② 国語1科目, 地歴・公民1科目, 数学2科目, 理科1科目, 外国語1科目

新教育課程履修者と旧教育課程履修者の定義は以下のとおりです。

| | |
|---------------|--|
| 新教育課程履修者 (※1) | ①高等学校 (特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。) に平成25年4月に入学し, 平成28年3月卒業見込みの者 ②中等教育学校の後期課程に平成25年4月に進級し, 平成28年3月卒業見込みの者 |
| 旧教育課程履修者 (※2) | 上記以外の者 *高等学校等卒業生, 高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者, 大学入学資格検定試験合格者, 高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者, 外国の学校等修了者又は修了見込者, 在外教育施設修了者又は修了見込者及び高等学校等を平成28年3月卒 |

(※1) 「新教育課程」とは, 平成25年4月1日から適用された高等学校学習指導要領 (平成21年文部科学省告示第34号) に基づく教育課程及び平成21年3月9日文部科学省告示第38号の特例により定められた教育課程を示します。

(※2) 「旧教育課程」とは, 従前の高等学校学習指導要領に基づく教育課程を示します。

7. 合格者発表等

(1) 受験票等の発送について

(法学部, 経済学部)

平成 27 年 10 月 15 日 (木) に A O 入試受験票, 受験案内, 平成 28 年度広島大学 A O 入試 (総合評価方式) 大学入試センター試験成績請求・受験教科・科目確認票及び返信用封筒を発送します。

(歯学部)

平成 27 年 9 月 10 日 (木) までに A O 入試受験票及び第 1 次選考受験案内を本人あてに発送します。

(工学部)

平成 27 年 10 月 15 日 (木) までに A O 入試受験票及び受験案内を発送します。

上記の各学部の受験票発送日から 4 日を過ぎても到着しない場合は, 各学部 (下記参照) へ連絡してください。

(2) 第 1 次選考合格者発表

(教育学部, 医学部, 歯学部, 薬学部, 生物生産学部)

平成 27 年 10 月 28 日 (水) 12 時 (予定)

- ① 選考の結果は, 上記の日時に, 広島大学ホームページ (トップページ) で発表します。
- ② 第 1 次選考合格者には, 第 1 次選考合格通知書及び受験案内, A O 入試受験票を発送します。
- ③ 第 1 次選考の不合格者には, 「4. 出願手続 (3) 出願書類の入学検定料欄中※ 1 (39 ページ)」に係る入学検定料の返還方法を通知します。
11 月 4 日 (水) を過ぎても到着しない場合は, 各学部 (下記参照) へ連絡してください。

(3) 第 2 次選考合格者発表

(教育学部, 工学部, 生物生産学部) ※工学部は, 第 1 次選考合格者発表はありません

平成 27 年 11 月 27 日 (金) 12 時 (予定)

- ① 選考の結果は, 上記の日時に, 広島大学ホームページ (トップページ) で発表します。
- ② 第 2 次選考合格者には, 第 2 次選考合格通知書及び平成 28 年度広島大学 A O 入試 (総合評価方式) 大学入試センター試験成績請求・受験教科・科目確認票及び返信用封筒を発送します。

(4) 大学入試センター試験成績請求票の発送について (医学部, 歯学部, 薬学部)

12 月 4 日 (金) までに平成 28 年度広島大学 A O 入試 (総合評価方式) 大学入試センター試験成績請求・受験教科・科目確認票及び返信用封筒を発送します。

(5) 最終合格者発表

平成 28 年 2 月 5 日 (金) 12 時 (予定)

- ① 選考の結果は, 上記の日時に, 広島大学ホームページ (トップページ) で発表します。
- ② 最終合格者には, 合格通知書及び入学手続に必要な書類を郵送します。

※ 広島大学ホームページでの発表は, 本学の情報提供の一環として行うものであり, 公式の合格者発表は, 合格通知書等の郵送となります。

なお, 電話等による可否の問合せには応じられません。

(6) 問合せ先

| 学 部 | 住 所 | 電 話 |
|--------|-----------------------------|--------------|
| 教育学部 | 〒739-8524 東広島市鏡山一丁目 1 番 1 号 | 082-424-6725 |
| 法学部 | 〒739-8525 東広島市鏡山一丁目 2 番 1 号 | 082-424-4648 |
| 経済学部 | 〒739-8525 東広島市鏡山一丁目 2 番 1 号 | 082-424-7217 |
| 医学部 | 〒734-8553 広島市南区霞一丁目 2 番 3 号 | 082-257-5049 |
| 歯学部 | 〒734-8553 広島市南区霞一丁目 2 番 3 号 | 082-257-5614 |
| 薬学部 | 〒734-8553 広島市南区霞一丁目 2 番 3 号 | 082-257-5777 |
| 工学部 | 〒739-8527 東広島市鏡山一丁目 4 番 1 号 | 082-424-7524 |
| 生物生産学部 | 〒739-8528 東広島市鏡山一丁目 4 番 4 号 | 082-424-7915 |

総合評価方式Ⅲ型

(ゼミナール(授業)への出席を課す入試)

・文学部 人文学科

1. 募集人員

| | | |
|-------|---------|---------|
| 学 部 | 学 科 等 | 募 集 人 員 |
| 文 学 部 | 人 文 学 科 | 25 名 |

(注) 合格者が募集人員に満たない場合は、その欠員は一般入試（前期日程）の募集人員に含めます。

2. 実施日程

| 事 項 | 学部・学科等 | 文学部 人文学科 |
|---------------------|--------|------------------------------------|
| A O 入 試 願 書 出 願 期 間 | | 平成 27 年 8 月 4 日(火) ～ 8 月 10 日(月) |
| 第 1 次 選 考 | | 平成 27 年 8 月 29 日(土) |
| 第 1 次 選 考 合 格 者 発 表 | | 平成 27 年 9 月 7 日(月) |
| 最 終 選 考 | | 平成 27 年 9 月 26 日(土) |
| 最 終 合 格 者 発 表 | | 平成 27 年 10 月 6 日(火) |
| 入 学 手 続 期 間 | | 平成 27 年 10 月 7 日(水) ～ 10 月 13 日(火) |

3. アドミッション・ポリシー（求める学生像）

| 学部・学科等 | 概 要 |
|-------------|---|
| 文学部 人文学科 | <p>文学部では、個性あふれる豊かな人間性を培い、人文学における新しい知の探究を通じて、学問を究めようとする人材の育成を目指しています。AO入試では、特に次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 人文学を学ぶために必要な基礎学力があり、下記のいずれかに該当する人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講するゼミナール開設分野が関係する教科において、極めて高い学力を有する人 ・受講するゼミナール開設分野に関連する公的コンテストや発表会において、優秀な成績を修めた人 ・受講するゼミナール開設分野に関連する知識が豊富で、理解力に秀でた人 <p>(2) 論理的思考や創造力ならびに語学能力などに秀で、主体的に学習や研究を遂行できる人</p> <p>(3) 将来、人文学の探究を通じて身につけた語学力、資料活用能力や洞察力を活かして社会で活躍したい人、大学院に進学し研究者や専門家になることを目指す人</p> |

文学部のAO入試は、ゼミナール開設分野への適性等を評価し選考していますので、入学後に分野を変更することは原則として認められません。

4. 出願資格

| 学部・学科等 | 出 願 資 格 |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">文学部 人文学科</p> | <p>文学部での修学を強く希望し、合格した場合、入学することを確約できるもので、次の各号のいずれかに該当するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成 28 年 3 月卒業見込みの者 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの (4) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成 28 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (6) 文部科学大臣の指定した者 (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）により大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び平成 28 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で平成 28 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの |

文学部ゼミナール開設分野

西洋哲学，インド哲学・仏教学，倫理学，中国思想文化学，日本史学，東洋史学，西洋史学，地理学，考古学，文化財学，日本文学語学，中国文学語学，英米文学語学，ドイツ文学語学，フランス文学語学，言語学

5. 出願手続

(1) 出願期間

平成27年8月4日(火)～8月10日(月)午後5時まで(必着)

※インターネット出願における志願情報入力、入学検定料の支払は平成27年8月1日(土)から可能です。

※8月10日(月)午後5時以降に到着した場合は、8月8日(土)までの消印があるものに限り受理します。

(2) 出願方法

以下の二つのいずれかの方法により、出願できます。

①インターネット出願(志願情報等をインターネットで入力する出願方法。ただし、調査書など別途郵送が必要な書類があります。)

※インターネットによる出願をする場合は、64ページから67ページを必ず確認してください。

②志願票等を提出する出願(募集要項添付の所定の用紙に必要事項を記入し、調査書等の必要書類と一緒に郵送する出願方法)

(3) 出願書類

| 出 願 書 類 | 摘 要 | インターネット出願における出願書類郵送の可否 |
|---------|---|------------------------|
| 入学志願票等 | 所定の用紙に記入してください。入学志願票、写真票、受験票・入学検定料振込証明書貼付用紙・大学入試センター試験成績請求・受験教科・科目確認票、住所票が所定の用紙になっています。切り離さずに提出してください。(大学入試センター試験成績請求票の貼付は不要です) | 不 要 (注4) |
| 自己推薦書 | 所定の用紙に記入してください。【様式1】 ※自己推薦書(2/2)の字数は、1600字以内です。 志願者が自筆・手書で記入してください。 | 要郵送 |
| 調 査 書 等 | <p>1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成28年3月までに卒業見込みの者は、文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。</p> <p>なお、出身高等学校等において、指導要録が保存年限を超えるなどの理由により、調査書が得られない場合には、「卒業証明書」及び「成績証明書(又は単位取得証明書)」を調査書の代わりに提出してください。成績証明書(又は単位取得証明書)を提出できない場合は、高等学校等が作成した「成績証明書(又は単位取得証明書)が発行できない旨の理由書」を「卒業証明書」と併せて提出してください。</p> <p>2. 高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。</p> <p>なお、一部の科目を高等学校で修得した者は、在学期間中の調査書を併せて提出してください。</p> <p>また、合格に必要な残りの試験科目に相当する科目の単位を平成28年3月31日までに高等学校等で修得見込みの者は、文部科学省が発行する合格見込成績証明書の原本を提出してください。</p> <p>3. 文部科学大臣の指定した者で以下に該当するものは、次の書類を提出してください。</p> <p>(1) 国際バカロレア資格を取得した者は、その資格証書の写しとIB最終試験6科目の成績評価証明書</p> <p>(2) アビトゥア資格を取得した者は、アビトゥア資格取得者に授与される一般的大学入学資格証明書の写し</p> <p>(3) フランス共和国のバカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格試験成績証明書の写し</p> <p>4. 上記以外の者は、修了(見込)証明書又は資格(取得見込)証明書及び成績証明書を提出してください。</p> | |

| 出願書類 | 摘 要 | インターネット出願における出願書類郵送の要否 |
|--------------------------|--|------------------------|
| 入学検定料 | <p>1. 入学検定料の振込について 17,000 円 所定の用紙【広島大学入学検定料振込依頼書（入金票）】の太ワクの中に、志願者氏名、フリガナ及び志願者住所を必ず記入して、都市銀行、地方銀行等の本支店で振り込んでください。（ゆうちょ銀行及び郵便局（以下「ゆうちょ銀行」という）から振り込む場合は、ゆうちょ銀行所定の振込依頼書に転記する等、別途手続きが必要となります。詳細は同封の振込依頼書（入金票）をゆうちょ銀行窓口にて提示のうえ、ご相談ください。また、ゆうちょ銀行を含む各銀行ATMからは振り込めませんのでご注意ください。）振込手数料は、振込人負担となります。</p> <p>2. 提出方法について 入学検定料振込後、入学志願票貼付用入学検定料振込証明書を所定の用紙に貼付して提出してください。（受付金融機関出納印のないものは、無効です。）</p> <p>3. 注意事項 出願受付後はいかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還しません。 ただし、次の（1）、（2）の場合は、既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還しますので、「返還請求の理由」、「氏名」、「郵便番号」、「住所」、「連絡先電話番号」を明記した書面（様式は任意）に必ず「入学検定料振込証明書」添付の上、平成28年2月29日（月）までに下記送付先宛に郵送又はFAXしてください。 その後、本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので、記入・捺印の上、下記送付先に郵送してください。 （1）出願書類を提出しなかった、又は受付されなかった場合 （2）検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p style="text-align: center;">〔 送付先：〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 広島大学東広島地区運営支援部共通事務室出納担当 （電話） 082-424-7811 （FAX） 082-424-6962 〕</p> <p>（3）第1次選考不合格者に対しては、13,000円を返還します。返還手続の方法等は、第1次選考の結果とともに本人へ通知します。</p> | 不 要 |
| 出願書類受領及び受験番号通知用はがき | <p>学生募集要項添付の封筒（小）又は市販の長型3号封筒（12cm×23.5cm）に志願者の住所、氏名を記入し、92円分の切手を貼付したものを提出してください。</p> | 要郵送 |
| 受験票等送付用定形封筒 | <p>学生募集要項添付のはがきに52円分の切手を貼付したもの又は郵便局等で販売している52円の官製はがき（無地）の表（宛名）面に、志願者の住所、氏名を記入して提出してください。</p> | 要郵送 |
| 各種検定試験成績・合格通知書及び資格取得証明書等 | <p>英語外部検定試験、その他の検定試験の合格者及び資格取得者は、当該スコア・等級又は資格を証明する書類（原本）を提出してください。出願書類受付時に確認後、返却します。 なお、スコア等の有効期限が定められている検定試験等については、出願締切日時時点でその有効期限を越えていないもの、定められていないものについては、高等学校等入学後に取得したものに限り有効となります。</p> | 要郵送 |

（注1）出願書類受領後、一週間以内に「出願書類受領及び受験番号通知用はがき」にて受験番号を通知します。

なお、出願書類の受領確認は電話でお答えすることができませんので、日本郵便ホームページ（<http://www.post.japanpost.jp/index.html>）の追跡サービスで確認してください。

（注2）出願書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、日本語訳を添付してください。志願者本人が翻訳しても構いません。この場合、日本語訳の厳封は不要です。

（注3）改姓名等により現在の氏名と書類の氏名が異なる場合は、戸籍抄本等の公的機関が発行した書類の写しを添付してください。

（注4）インターネット出願で写真をアップロードした場合、入学志願票等は郵送不要ですが、写真をアップロードしない場合は必ず写真（縦4cm×横3cm）を郵送してください。

6. 入学者選抜方法等

選考は、第1次選考と最終選考に分けて行います。

| 学部・学科等 | 摘 要 |
|-------------|---|
| 文学部 人文学科 | <p>(1) 第1次選考 出願書類(自己推薦書), 総合問題 合格者予定数はゼミナール開設分野ごとに5名までとします。</p> <p>ア. 実施日時 8月29日(土) ゼミナール 10:30~11:30 (概要は次ページを参照) 総合問題 13:00~14:30</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 文学部</p> <p>ウ. 総合問題の内容 総合問題: ゼミナールの内容に即した総合問題に対して解答してもらいます。専門分野を学ぶ上で必要な読解力, 論理的思考力, 文章表現力などをみます。併せて英語など基礎学力を問う分野もあります。(点数化して評価)</p> <p>エ. 英語外部検定試験を利用した出願について 英語外部検定試験において一定の等級又はスコアを取得している場合, 第1次選考で評価します。</p> <p>(2) 最終選考 面接 第1次選考の合格者に対し, 面接を行います。</p> <p>ア. 実施日時 9月26日(土) 面接 9:30~12:00 (Aグループ) 面接 13:30~16:00 (Bグループ) ※グループ分け(A, B)は, 第1次選考合格者発表の際に通知します。</p> <p>イ. 試験場: 東広島キャンパス 文学部</p> <p>ウ. 面接の内容 面接: ゼミナール開設分野ごとに個人面接を実施します。ゼミナール開設分野に関する資料についての試問などを行い, 各分野において必要な基礎学力(知識)及び各分野の学習に対する意欲, 大学での勉学や研究活動への適性を中心に評価します。(点数化して評価)</p> |
| | <p>合否判定の基準</p> <p>(1) 第1次選考 ゼミナール開設分野ごとに出願書類の自己推薦書の段階評価(A, B, C, Dの4段階評価)とゼミナール後の総合問題の成績(200点満点)とにより判定します。調査書は, 総合的に評価する上での参考資料として用います。 なお, 英語外部検定試験利用の等級又はスコアに関する証明書(原本)を提出した者は, 自己推薦書の段階評価(A, B, C, Dの4段階評価)に反映させます。</p> <p>(2) 最終選考 ゼミナール開設分野ごとの面接(100点満点)と第1次選考の成績を総合的に評価して判定します。</p> |

●ゼミナール内容

| プログラム名 | ゼミナール議題 | あなたの好き、得意 | ゼミナール題目及び概要 |
|--------------|-----------|---|---------------------|
| 哲学・思想文化学 | 西洋哲学 | ○歴史上の偉大な思索を学んでみたい人 ○科学・学問の意味を批判的に考え直してみたい人 ○現代の問題を根源的に考えてみたい人 ○哲学を原典で学び日本語で考えてみたい人 | 哲学の文献演習を体験しよう |
| | インド哲学・仏教学 | ○人間が好きな人 ○仏教思想・インド思想に関心のある人 ○インドに関心のある人 ○サンスクリット等の古典語に興味のある人 | 自分という存在の謎 |
| | 倫理学 | ○現代の倫理を考えたい人 ○常識を問いたほしい人 ○人生観に関心のある人 ○思想上の古典を読みたい人 | 正義とはどのようなことか？ |
| | 中国思想文化学 | ○漢文に興味がある人 ○史記や論語に興味がある人 ○中国の文化が好きな人 ○人の生き方を考えるのが好きな人 | 自身のための本当の学びとは |
| 歴史学 | 日本史学 | ○教科書とは違う日本史を学びたい人 ○先人の生き方を総合的に考えその知恵と工夫を見つけた人 ○自分のマチから日本の歴史を問い直したい人 ○「歴史がうごく」ことを実感したい人 | 徳川文明とは何か？ |
| | 東洋史学 | ○中国やアジアの歴史が好きな人 ○中国やアジアの歴史小説が好きな人 ○国際交流に興味のある人 ○日本（人）を外から知りたい人 | 中国史の「近世」 |
| | 西洋史学 | ○歴史の好きな人 ○ヨーロッパを日本と比較して考えてみたい人 ○ヨーロッパ、アメリカに関心のある人 ○外国語の好きな人 | 地中海からみた中世ヨーロッパ |
| 地理学・考古学・文化財学 | 地理学 | ○世界の人々のくらしや自然について学びたい人 ○自然と人間の関わりに興味のある人 ○都市や地域の変化に関心のある人 ○野外で観察するのが好きな人 | 21世紀の日本の山村 |
| | 考古学 | ○先史・古代の遺物に触れてみたい人 ○アウトドアでの活動が好きな人 ○考古博物館に行きたい人 ○遺跡の発掘をしてみたい人 | 弥生時代の始まり |
| | 文化財学 | ○美術、工芸、古建築の高い教養を望む人 ○日本の伝統文化・伝統美を学びたい人 ○日本史・東洋史・古文・漢文の得意な人 ○文化財の保存と活用について勉強したい人 | 出雲大社本殿は高かったのか |
| 日本・中国文学語学 | 日本文学語学 | ○日本の古典文学に関心のある人 ○日本の近・現代文学に関心のある人 ○日本語の歴史に関心のある人 ○現代の日本語に関心のある人 | 平安時代の日記文学って何だろう |
| | 中国文学語学 | ○漢字が好きな人 ○漢詩が好きな人 ○漢文が好きな人 ○中国語に興味がある人 | 浮雲と転蓬の物語 |
| 欧米文学語学・言語学 | 英米文学語学 | ○英語圏の文化・文学に関心のある人 ○アメリカ・イギリスなどに留学したい人 ○アメリカ・イギリスの動向に関心のある人 ○英語に興味がある人 | 英語の詩を読む楽しさ |
| | ドイツ文学語学 | ○メルヒェン、伝説、詩、小説が好きな人 ○ドイツ・オーストリアに留学したい人 ○言語の習得、言語間の共通点や相違点に関心のある人 ○ドイツ語及びドイツ語圏の文化や歴史に関心のある人 | ドイツ語とはどのような言語か |
| | フランス文学語学 | ○本を読むのが好きな人 ○芝居や映画に関心のある人 ○フランス文化に興味のある人 ○フランス語圏に留学したいと思っている人 | フランスの短篇小説を楽しむ |
| | 言語学 | ○言語の仕組みや変化・言語文化に興味のある人 ○未知の言語の記録・解読に興味のある人 ○様々な言語を学んだり、調べてみたい人 ○異文化を持った人々と接してみたいという人 | 高校生のための言語学入門—言語の系統— |

ゼミナール題目は文学部が行っている授業の一端です。

7. 合格者発表等

(1) 第1次選考合格者発表

平成27年9月7日(月) 12時(予定)

- ① 選考の結果は、上記の日時に、広島大学ホームページ(トップページ)で発表します。
 - ② 第1次選考合格者には、第1次選考合格通知書及び受験案内、AO入試受験票を発送します。
 - ③ 第1次選考の不合格者には、「5. 出願手続(3) 出願書類の入学検定料欄中(56～57ページ)」に係る入学検定料の返還方法を通知します。
- ※ 上記の合格発表日から3日を経過しても選考の結果が到着しない場合は、文学部(下記参照)へ連絡してください。

(2) 最終合格者発表

平成27年10月6日(火) 12時(予定)

- ① 選考の結果は、上記の日時に、広島大学ホームページ(トップページ)で発表します。
- ② 最終合格者には、合格通知書及び入学手続に必要な書類を郵送します。

※ 広島大学ホームページでの発表は、本学の情報提供の一環として行うものであり、公式の合格者発表は、合格通知書等の郵送となります。
なお、電話等による可否の問合せには応じられません。

(3) 入学前の教育

入学までの期間を有意義に過ごしてもらうために、指定図書等を読んで、レポートを提出してもらうなど、入学準備のための教育が行われます。

(4) 問合せ先

| 学 部 | 住 所 | 電 話 |
|-------|-------------------------|--------------|
| 文 学 部 | 〒739-8522 東広島市鏡山一丁目2番3号 | 082-424-6613 |

共通事項

1. 出願書類等提出先（郵送に限ります。Ⅰ型及びⅡ型でインターネットによる出願をする場合の必要書類送付先も同じです。）

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号
広島大学入学センター
電話 082-424-4656

2. 出願に関する注意事項

- (1) 出願書類は志願者本人の自筆により黒ボールペン（摩擦熱等の温度変化で筆跡が透明化するペンは使用不可）で記載してください。なお、記載内容を修正する際は、修正箇所を二重線で抹消し、余白部分に記載してください。修正液等は使用しないでください。
- (2) 出願書類に不備がある場合は、受付しないことがあります。
- (3) 出願書類受付後の記載事項の変更は、認めません。
- (4) 受付された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (5) その他出願に関することは、広島大学入学センター（上記1参照）に照会してください。
- (6) 入学者選抜を通じて取得した個人情報（氏名、生年月日、性別、その他の個人情報等）は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続のほか、本学池の上学生舎入居者選考を行うために利用します。ただし、池の上学生舎入居者選考には、出願書類により取得した個人情報のみ利用します。合格者の入学後は、学生支援関係（履修指導、奨学金申請、授業料免除申請等）業務及び調査・研究（入試の改善や志願者動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

なお、個人情報については、適切な取扱いに関する契約を締結した上で、コンピュータ処理をするため、関連業務を外部の事業者へ委託することがあります。

3. 受験に関する注意事項

- (1) 受験者は、小論文、面接等の実施前日までに試験場を確認するとともに、試験についての諸注意を承知しておいてください。（試験前日は試験場の建物内へ入ることはできません。）
- (2) **小論文、面接等の実施当日は、試験開始30分前までに試験室に入室してください。**
試験開始後30分を超えたときは入室できません。この場合は、試験場事務室に申し出てください。
- (3) 各学部・学科等が指定する実施科目等はすべて受験してください。なお、1つでも受験しなかった場合は合格者選考の対象となりません。
- (4) 携行品は、**A0入試受験票**、筆記用具（黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、定規等）、時計（計時機能だけのもの）を持参してください。なお、小論文等は、黒鉛筆を使用してください。
- (5) **携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。**
なお、不正行為の取扱いについては、大学入試センター試験に準じて行いますので、必ず各試験場の「受験者心得」を確認してください。
- (6) 試験場・試験室において、他の受験者に迷惑となるような行為や試験の公平性を損なう行為を行ってはなりません。また監督者の指示には必ず従ってください。
- (7) 受験滞在中の宿泊場所は、受験者で手配してください。
- (8) 台風等による気象状況の悪化、流行性の伝染病等により入学試験実施が危ぶまれる場合は広島大学ホームページ（<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>）にて延期及び開始時間繰り下げ等の対応をお知らせしますので必ずご覧ください。
- (9) その他受験に関することは、各学部（裏表紙参照）に照会してください。

4. 受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害のある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、次の事項を記載した申請書（様式は、定めません。）を志願する学部（裏表紙参照）に事前に電話連絡した上で提出し、相談してください。

(1) 相談の期限

点字による受験等の特別な準備を必要とする者については、出願受付開始日の3週間前までに相談してください。

その他の相談については、出願受付開始日の1週間前までに相談してください。

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

(2) 申請書の記載内容

- ① 志願者の氏名、住所、電話番号
- ② 出身学校名
- ③ 志願学部、学科、コース名等
- ④ 障害等の種類・程度（医師の診断書又は障害者手帳（写）等を添付してください）
- ⑤ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑥ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑦ 出身学校でとられていた配慮
- ⑧ 日常生活の状況

5. 合格しなかった者の取扱い

合格しなかった者のうち、大学入試センター試験を受験した者は、個別学力検査について、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つまでの大学・学部を選んで出願することができます。

なお、本学の学部・学科等の個別学力検査の受験を希望する場合は、「平成28年度広島大学一般入試学生募集要項」（平成27年11月下旬頃に公表予定）を請求またはホームページで確認してください。

6. 入学手続（概要）

入学手続に関する詳細は、合格者に別途通知します。

(1) 手続期間（郵送に限ります。）

I型（大学入試センター試験を課さない入試）の合格者

理学部生物科学科（科学オリンピック型）

平成27年 9月25日（金）から10月 1日（木）午後5時まで（必着）

総合科学部，教育学部（第二類数理系コース，第三類，第四類），理学部（数学科，物理科学科，化学科，生物科学科（一般型），地球惑星システム学科），工学部（第四類）

平成27年11月30日（月）から12月 4日（金）午後5時まで（必着）

II型（大学入試センター試験を課す入試）の合格者

教育学部（第一類，第二類自然系コース，技術・情報系コース，社会系コース，第五類），

法学部（夜間主コース），経済学部，医学部，歯学部，薬学部，工学部（第一類，第二類，第三類），生物生産学部

平成28年 2月8日（月）から 2月12日（金）午後5時まで（必着）

※ただし2月11日（木・祝）は取り扱いません。

III型（ゼミナール（授業）への出席を課す入試）の合格者

文学部

平成27年10月7日（水）から10月13日（火）午後5時まで（必着）

(2) 納入金

ア. 入学料 282,000円（夜間主コースは，141,000円）

イ. 授業料（年額） 535,800円（夜間主コースは，267,900円）

① 既納の入学料は，いかなる理由があっても返還しません。

② 在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定後の授業料を納入することになります。

※ただし，上記記載の金額は，平成27年4月現在のものです。

納入金の額及び具体的納入方法等の詳細については，別途ご案内する予定です。

(3) 入学手続に関する注意事項

ア. AO入試（総合評価方式）合格者は，本学及び他の国公立大学の個別学力検査を受験しても，合格者にはなりません。ただし，特別の事情により入学を辞退する必要があり，指定の期日までに「入学辞退届」（様式は任意ですが，受験した学部・学科（類）・コース等の名称，受験番号，住所，氏名，入学を辞退する理由等を自筆で記入してください。）を本学学長に提出し，その許可が得られた場合はこの限りではありません。

イ. 入学手続を完了した者は，これを取り消して本学及び他の国公立大学・学部へ入学することはできません。

ウ. AO入試（総合評価方式）合格者については，国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格業務を円滑に行うため，氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って，可否及び入学手続等に関する個人情報，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

エ. 入学手続完了後，高等学校等の課程を卒業（修了）しないなどの事由が生じた場合は，入学を取り消します。

7. 長期履修学生制度について

次の①～③のいずれかに該当する者を対象として，標準の修業年限を超えて一定の期間にわたり，計画的に教育課程を履修して卒業することができる制度があります。

① 職業を有し，かつ，就業している者（アルバイトとして就業する者を含む。）で，学修時間の確保が著しく困難であるもの

② 家庭において家事，育児及び介護を行う者で，学修時間の確保が著しく困難であるもの

③ 本学フェニックス入学制度により入学した者

この制度による授業料は，標準の修業年限分の授業料総額を計画的に履修することを認められた一定の期間の年数で分割して納めることとなります。

なお，本制度適用の可否や長期履修期間の年限等については，各学部で異なりますので，志願する学部に照会してください。

8. 学生宿舎について

学生宿舎の入居者募集については，下記の学生宿舎ホームページをご覧ください。

学生宿舎ホームページアドレス <http://hiroshima-u.jp/top/nyugaku/shien/jyuukyo>

英語外部検定試験を利用したAO入試について

○英語の外部検定試験を受検している場合には、下記の基準・方法で受験することが可能です。
 なお、英語外部検定試験を受検していなくても、AO入試を受験することができます（医学部保健学科の大学院進学型を除く）。

| □ 出願資格を与える方法 | | | 募集人員 | 利用方法 | 利用に必要な適用区分 |
|----------------|------|--------|--------|---------------------|---------------|
| 医学部 | 保健学科 | 看護学専攻 | 大学院進学型 | 一般型と合わせて5 3 4 | II型の出願資格として利用 |
| | | 理学療法専攻 | | | |
| | | 作業療法専攻 | | | |
| A-2以上 A-4以上 | | | | | |

| □ 加点する方法 | | | 利用方法 | 評価方法等 | 利用に必要な適用区分 |
|----------|---------------------|----------------|-------------------------|---|------------|
| 薬学部 | 薬学科 | 薬科学科 | 点数化して最終選考の面接点数に加算 | 下表の基準を満たしていれば最大40点加算する。複数の項目に該当している場合は、高得点のもの1項目のみを加算の対象とする。 | A-5以上 |
| | 薬科学科 | | | | |
| 工学部 | 第一類（機械システム工学系） | | 点数化して最終選考の出願書類点数に加算 | 下表の基準に基づいて、20点を加算する。複数の項目に該当している場合は、高得点のもの1項目のみを点数加算の対象とする。 | A-3以上 |
| | 第二類（電気・電子・システム・情報系） | | 点数化して最終選考の出願書類点数に加算 | 下表の基準に基づいて、出願書類に満点の100点を超えない範囲で点数を加算する。複数の項目に該当している場合は、高得点のもの1項目のみを点数加算の対象とする。 ※加算点のグレード： S, SS:10点, A-1:8点, A-2:6点, A-3:4点, A-4, A-5:2点 | A-5以上 |
| | 第三類（化学・バイオ・プロセス系） | | 点数化して最終選考の出願書類点数に加算 | 下表の基準に基づいて、最大10点加算する。複数の項目に該当している場合は、高得点のもの1項目のみを点数加算の対象とする。 ※加算点のグレード： SS・S:10点, A-1:8点, A-2:6点, A-3:4点, A-4・A-5:2点 | A-5以上 |
| | 第四類（建設・環境系） | | 点数化して最終選考の出願書類点数に加算 | 下表の基準に基づいて、出願書類の評価点を20点加算する。複数の項目に該当している場合は、高得点のもの1項目のみを点数加算の対象とする。 | S以上 |
| 生物生産学部 | 生物生産学科 | A型 B型 C型 | 点数化して第1次選考の出願書類審査において加算 | 出願書類を（90点満点）とし、第1次選考時に英語外部検定試験の成績を点数化したものを加算点として（10点満点）を与えた総合点（100点満点）で判定する。 | 制限なし |

| □ 合否判定の際に評価する方法 | | | | 利用方法 | 評価方法等 | 利用に必要な適用区分 |
|-----------------|---------|--------|------------|-----------------------------|--|------------|
| 総合科学部 | 総合科学科 | | | 第1次選考の出願書類審査において利用 | 第1次選考の出願書類の段階評価に反映させる。 | A-5以上 |
| 文学部 | 人文学科 | | | Ⅲ型第1次選考の段階評価に反映 | 第1次選考の自己推薦書の段階評価（A, B, C, Dの4段階評価）に反映させる。 | A-5以上 |
| 法学部 | 法学科 | 夜間主コース | | 選考時に成績を含めて評価 | 小論文（200点満点）、面接（200点満点）の得点及び大学入試センター試験の結果と併せて評価する。 | A-5以上 |
| 経済学部 | 経済学科 | 昼間コース | A選抜 B選抜 | 自己推薦書の評価に反映 | 調査書（100点満点）、自己推薦書（90点満点）、小論文（200点満点）、面接（100点満点）の得点及び大学入試センター試験の結果と併せて評価する。 | A-4以上 |
| | | 夜間主コース | | | | A-5以上 |
| 歯学部 | 歯学科 | | 口腔健康科学科 | 最終選考で同点の受験者がいる場合に選考の基準として利用 | 最終選考時に小論文と面接の総合点が同点の場合は、この英語外部検定試験の得点の高い順に合格者を選考する。 | A-5以上 |
| | 口腔保健学専攻 | | | | | |
| | 口腔工学専攻 | | | | | |

【英語外部検定試験 等級又はスコア等基準表】

| 適用区分 | 英検 | TOEIC®公開テスト | TOEFL®(iBT) | IELTS™ (Academic Module) |
|------|-----|-------------|-------------|-----------------------------|
| SS | 1級 | 860以上 | 92以上 | 6.5以上 |
| S | 準1級 | 730以上 | 80以上 | 5.5以上 |
| A-1 | | 680以上 | 73以上 | 5.0以上 |
| A-2 | | 640以上 | 66以上 | |
| A-3 | | 590以上 | 61以上 | |
| A-4 | 2級 | 550以上 | 56以上 | 4.5以上 |
| A-5 | | 510以上 | 52以上 | 4.0以上 |

※ 利用できる英語外部検定試験は、左記のとおりです。
 なお、これ以外の検定試験を受検している場合や志望学部・学科等が求める等級又はスコア等（適用区分）を満たしていない場合でも、従来どおり、自己推薦書に記載して出願できます。

インターネットで出願できます！

1 日程等

〈 注 意 〉

インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払を行っただけでは出願手続完了にはなりません。以下の期間内に郵送が必要な出願書類等が到着するように、**簡易書留・速達郵便**（日本国外から出願する場合は、EMS等の最速の国際郵便）で郵送する必要があります。

(1) 8月上旬受付分

①AO入試（総合評価方式）Ⅲ型 文学部人文学科

| | |
|-----------------------|--|
| インターネット入力及び入学検定料の支払期間 | 平成27年8月1日（土）～ 8月10日（月）午後5時まで （注1） |
| 【出願】郵送が必要な出願書類等の提出期間 | 平成27年8月4日（火）～ 8月10日（月）午後5時 必着 （注2） |

(2) 8月下旬受付分

①AO入試（総合評価方式）Ⅰ型 理学部生物科学科（科学オリンピック型）

②AO入試（総合評価方式）Ⅱ型 歯学部歯学科，歯学部口腔健康科学科

| | |
|-----------------------|--|
| インターネット入力及び入学検定料の支払期間 | 平成27年8月24日（月）～ 9月4日（金）午後5時まで （注1） |
| 【出願】郵送が必要な出願書類等の提出期間 | 平成27年8月31日（月）～ 9月4日（金）午後5時 必着 （注2） |

(3) 9月下旬受付分

①AO入試（総合評価方式）Ⅰ型 （8月下旬受付分を除く）

②AO入試（総合評価方式）Ⅱ型 （同上）

| | |
|-----------------------|---|
| インターネット入力及び入学検定料の支払期間 | 平成27年9月28日（月）～ 10月9日（金）午後5時まで （注1） |
| 【出願】郵送が必要な出願書類等の提出期間 | 平成27年10月5日（月）～ 10月9日（金）午後5時 必着 （注2） |

(4) 共通の注意事項

（注1）「郵送が必要な出願書類等の提出期間」を考慮し、期間内に間に合うように手続してください。

（注2）出願書類は、各提出期間最終日の午後5時必着としますが、これ以降に到着した場合は、以下の消印があるものに限り受け付けます。

| | |
|-------------|------------|
| (1) 8月上旬受付分 | 8月8日（土）まで |
| (2) 8月下旬受付分 | 9月2日（水）まで |
| (3) 9月下旬受付分 | 10月7日（水）まで |

2 インターネット出願の流れ

アクセスページ

広島大学入試情報 <http://hiroshima-u.jp/nyushi>



インターネット出願の操作等に関する不明点等は、次の連絡先に問合せください。

| | | |
|------------------------------|--|-------------------|
| インターネット出願ヘルプデスク （日本語対応のみ） | 受付時間 午前10時から午後6時まで 年末年始（12/30～1/3）を除く | TEL 050-3786-5124 |
|------------------------------|--|-------------------|

1 広島大学入試情報にアクセス
<http://hiroshima-u.jp/nyushi>
 「インターネット出願」をクリック



PC・タブレット画面



スマートフォン画面

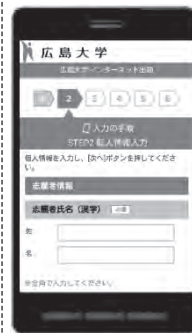
2 インターネット出願トップページへ遷移
 スクロールして、ページ下にある学部入試（一般、AO、推薦、私費外国人留学生入試）の「出願登録する」ボタンをクリック



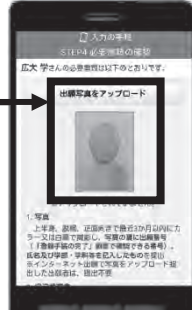
3 該当するAO入試のいずれかの「出願登録する」ボタンをクリック



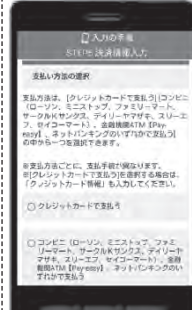
4 「利用規約・個人情報の取扱いに関する同意条項」に同意後、志望・個人情報等を入力



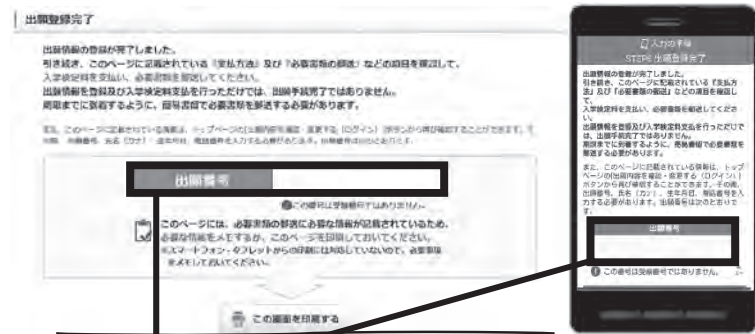
5 必要書類の確認を行う（写真のアップロードも可能）



6 決済情報の入力（選択）を行う



7 出願登録を完了する（PCの場合、郵送が必要な出願書類を送付するための宛名ラベルを印刷できます）



出願番号（6桁）が表示されますのでメモしてください。

スマートフォン（タブレット）からは印刷機能が使用できません。必要事項はメモしておいてください。

3 入学検定料の支払方法

入学検定料：17,000 円

(法学部法学科夜間主コース及び経済学部 経済学科夜間主コースは、10,000 円)

「決済情報を入力」で選択・入力した支払方法により、支払手続を行ってください。

詳しい支払方法については、出願登録完了後の「支払方法」ページにより確認してください。

一度支払われた入学検定料は返還しませんが、各入試の入学検定料欄の「3.注意事項」に該当する場合は、その内容に従ってください。

入学検定料の他に別途必要な支払手数料は、志願者負担となります。

(注) インターネット出願では、学生募集要項添付の「入学検定料振込依頼書」は使用しません。

(1) クレジットカード (日本国内/国外で利用可能)

出願登録完了と同時に決済が行われます。

右のロゴマークがあるクレジットカードで支払うことができます。

出願前にクレジットカードを準備してください。

なお、クレジットカードの名義は、志願者と同一である必要はありません。

支払方法は一括払いのみです。クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。

| 名称 | ロゴマーク |
|------------------|-------|
| VISA | |
| MasterCard | |
| JCB | |
| AMERICAN EXPRESS | |

(2) コンビニエンスストア (日本国内のみ利用可能)

現金での支払となります。

| | |
|--------------------|--------------------------------------|
| ローソン, ミニストップ | 「Loppi」で手続後、レジにて現金で支払 |
| ファミリーマート | 「Fami ポート」で手続後、レジにて現金で支払 |
| サークルKサンクス | 「K ステーション」で手続後、レジにて現金で支払 |
| デイリーヤマザキ, スリーエフ | レジで「オンライン決済」と店員に伝えて手続後、 レジにて現金で支払 |
| セイコーマート | 「クラブステーション」で手続後、レジにて現金で支払 |

※ 上記以外のコンビニエンスストアも利用できる場合があります。

最新情報は、インターネット出願ホームページで確認してください。

(3) 金融機関 ATM【Pay-easy】 (日本国内のみ利用可能)

支払可能金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。

■ 支払可能金融機関は下記ページの「ATM 利用可能一覧」で確認できます。

http://www.well-net.jp/multi/financial_list/index.html

・ATM で「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択し、手続してください



(4) ネットバンキング (日本国内のみ利用可能)

都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申込みが必要です。

また、楽天銀行、ジャパンネット銀行、じぶん銀行、住信 SBI ネット銀行でも支払うことができます。この場合、事前に金融機関にて口座の開設が必要です。

- 1 出願登録完了画面を開く
- 2 [ネットバンキングでの支払に進む]ボタンを押す
- 3 ネットバンキングの契約をしている金融機関を選択し、ログイン後手続してください

4 郵送が必要な出願書類等の提出方法及び提出先

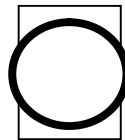
(1) 封筒の準備

- ① 市販の角形 2 号封筒 (24cm×33.2cm) を準備してください。

必ず、角形 2 号封筒 (横 24cm×縦 33.2cm で A4 サイズの書類を折らずに入れることができる封筒) を使用してください。長形 3 号封筒 (横 12cm×縦 23.5cm) は使用できません。



長形 3 号封筒



角形 2 号封筒


(A4 の書類を折らずに入れることができる封筒)

- ② 出願登録完了画面から「封筒貼付用宛名ラベル」(注 1) を印刷し、①の封筒の表(宛名)面に貼付してください。

封筒貼付用宛名ラベルを印刷することを強く推奨しますが、「宛名ラベル」を印刷できない場合は、以下に記載している【封筒貼付用宛名ラベルが印刷できない場合の記載見本】(注 2) の内容を直接、封筒の表(宛名)面に記載してください。

簡易書留・速達の表示も縦書き・赤字で記入 (又は郵便局窓口で押印を依頼) してください。

(注 1) 【封筒貼付用宛名ラベルの印刷見本】

| | |
|---------|--|
| 切手 | <p>7 3 9 - 8 5 1 1</p> <p>東広島市鏡山 1-3-2</p> <p>広島大学入学センター 御中</p> |
| 簡易書留・速達 | <p>出願番号：*****</p> <p>入試区分：AO入試 (総合評価方式○型)</p> <p>出願学部・学科等：▽▽学部▽▽学科 ▽▽専攻・コース▽▽系</p> <p>〒○○○-○○○○ △△県□□市◇◇町 1-2-3 △△高等学校 ☆☆ ☆☆</p>  |

(注 2) 【封筒貼付用宛名ラベルが印刷できない場合の記載見本】

| | |
|---------|--|
| 簡易書留・速達 | <p>〒739-8511</p> <p>東広島市鏡山 1-3-2</p> <p>広島大学入学センター 御中</p> <p>出願番号：*****</p> <p>入試区分：AO入試 (総合評価方式○型)</p> <p>出願学部・学科等：▽▽学部▽▽学科 ▽▽専攻・コース▽▽系</p> <p>志願者情報：〒○○○-○○○○ △△県□□市◇◇町 1-2-3 △△高等学校 ☆☆ ☆☆</p> |
|---------|--|

(2) 郵送が必要な出願書類の準備

各 AO 入試の出願書類を確認し、必要な書類を準備してください。

| 区分 | 学生募集要項の該当ページ |
|--------------------|--------------|
| AO 入試 (総合評価方式) I 型 | 14~16 ページ |
| 同 II 型 | 37~40 ページ |
| 同 III 型 | 56・57 ページ |

(3) 簡易書留・速達郵便で送付

(1) で作成した封筒へ、(2) の必要書類をすべて封入の上、**1 日程等** (64 ページ記載) の各受付分の「郵送が必要な出願書類等の提出期間」内に到着するよう、**簡易書留・速達**郵便で郵送してください。日本国外からの出願の場合は、EMS (Express Mail Service) 等の最速の国際郵便で郵送してください。

入学資格の個別審査について

1. 下記に示す学部学科（類，コース）を志願する者で，学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条第 7 号に基づき，広島大学入学資格認定書の交付を受けた者は，広島大学ホームページ（下記 URL 参照）を確認し申請してください。

URL： <http://hiroshima-u.jp/nyushi/gakubu/senbatsu/ao/kobetushinsa>

2. 下記に示す学部学科（類，コース）を志願する者で，学校教育法（昭和 22 年法律第 22 号）第 90 条第 2 項に基づき審査を希望する者は，平成 27 年 9 月 8 日（火）午後 5 時までに入学センター（電話：082-424-4656）に問合せてください。

記

- 法学部法学科夜間主コース
- 理学部地球惑星システム学科
- 歯学部口腔健康科学科
- 薬学部薬学科
- 薬学部薬科学科
- 工学部第一類（機械システム工学系）
- 工学部第二類（電気・電子・システム・情報系）
- 工学部第三類（化学・バイオ・プロセス系）
- 工学部第四類（建設・環境系）

広島大学AO入試における成績の開示について

1. 平成 28 年度広島大学AO入試における受験者本人の成績については、開示を希望する者（以下「開示申請者」という。）に限り、下表のとおり開示します。

| 項 目 | 開 示 内 容 |
|-----|--|
| 成 績 | 第1次選考 総合評価としての段階評価 *段階評価は[別表]のとおり。 第2次選考又は最終選考 総合評価としての段階評価 *段階評価は[別表]のとおり。 |

[別表]

【第1次選考】

| | |
|---|--|
| A | 広島大学AO入試 第2次選考の受験を許可するに、適切と認められる者 |
| B | 広島大学AO入試 第2次選考の受験を許可するに、やや不十分と認められる者 |
| C | 広島大学AO入試 第2次選考の受験を許可するに、不十分と認められる者 |
| D | 広島大学AO入試 第2次選考の受験を許可するに、適切でないとして認められる者 |

【第2次選考又は最終選考】

| | |
|---|-------------------------------------|
| A | 広島大学AO入試によって入学を許可するに、適切と認められる者 |
| B | 広島大学AO入試によって入学を許可するに、やや不十分と認められる者 |
| C | 広島大学AO入試によって入学を許可するに、不十分と認められる者 |
| D | 広島大学AO入試によって入学を許可するに、適切でないとして認められる者 |

2. 成績の開示に関する手続の流れは、次のとおりです。

(1) 入試情報開示申請書を次のいずれかの方法で入手してください。

- ① 広島大学ホームページ（裏表紙参照）の「入学案内」→「入試情報」→「その他のご案内」→「入学試験成績の開示・申請」の「申請書様式」をダウンロードし、A4サイズでプリントアウトしてください。
- ② 返信用封筒（本人の住所・氏名を明記し、82 円分の切手を貼った定形封筒 [長形3号封筒 12cm×23.5cm]）を同封し、「入試情報開示申請書請求」と明記のうえ入学センターに請求してください。

(2) 入試情報開示申請書に必要事項を記入した後、以下の書類を同封の上、平成 28 年 4 月 15 日から 5 月 31 日（消印有効）までの間に郵送により入学センターに申請してください。

- ① 必要事項をすべて記入した「入試情報開示申請書」
- ② 平成 28 年度広島大学AO入試受験票（コピー不可。開示の際、同封して返却します。）
ただし、第1次選考不合格者は、広島大学受験票に代えて「第1次選考結果通知書」を提出してください。（コピー可。開示の際、同封して返却します。）
- ③ 返信用封筒（長形3号封筒（12cm×23.5cm）に受験者本人の郵便番号、住所、氏名を明記し、392 円分の切手を貼ったもの。この封筒に試験成績開示通知書を入れて郵送します。）
なお、開示申請者が提出した申請書等に不備があるときは、修正を求めることがあります。

(3) 入学センターでは、入試情報開示申請書を受理した日から 30 日以内に、試験成績開示通知書を開示申請者本人に簡易書留により郵送します（返信用封筒使用）。

※書留郵便は、配達時に不在の場合、郵便局に一定期間保管されます。郵便局が受取方法等を記した配達時不在連絡票を郵便受けに入れていきますので、直接、郵便局に問合せを受け取ってください。

なお、郵便局での保管期間（おおむね1週間）を過ぎると広島大学に返送されてしまいますので注意してください。

成績の開示に関する申請・問合せ先

広島大学入学センター

〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 電話 082-424-4656

(注) 成績の開示に関する申請・問合せ先は、入学センターに限ります。

受験した学部では、申請及び問合せに対応していません。

試験場位置図

東広島キャンパス試験場（東広島市）（東広島市鏡山一丁目）

学部試験場 総合科学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、工学部、生物生産学部

経路 JR山陽本線「西条駅」前からバス「広島大学」行、山陽新幹線「東広島駅」前からバス「広島大学」行で、

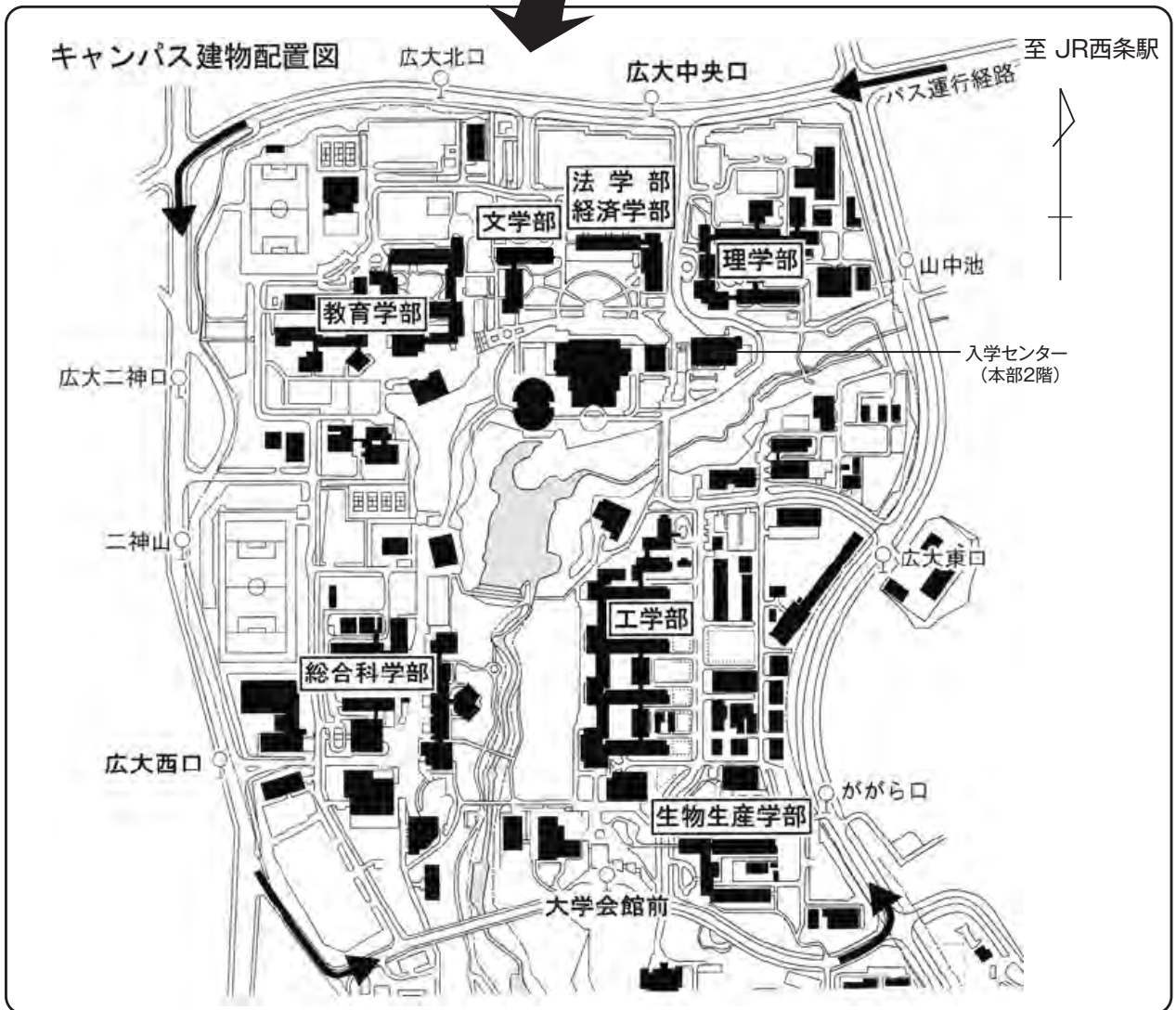
- ・総合科学部は、「広大西口」下車
- ・文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部は、「広大中央口」下車
- ・工学部、生物生産学部は、「大学会館前」下車

（いずれも所要時間約20分）

※ただし、「東広島駅」前からのバスの本数が非常に少ないので注意してください。

※「東広島駅」前 — 「西条駅」前はバスで約20分

東広島キャンパス位置図



霞キャンパス試験場（広島市）

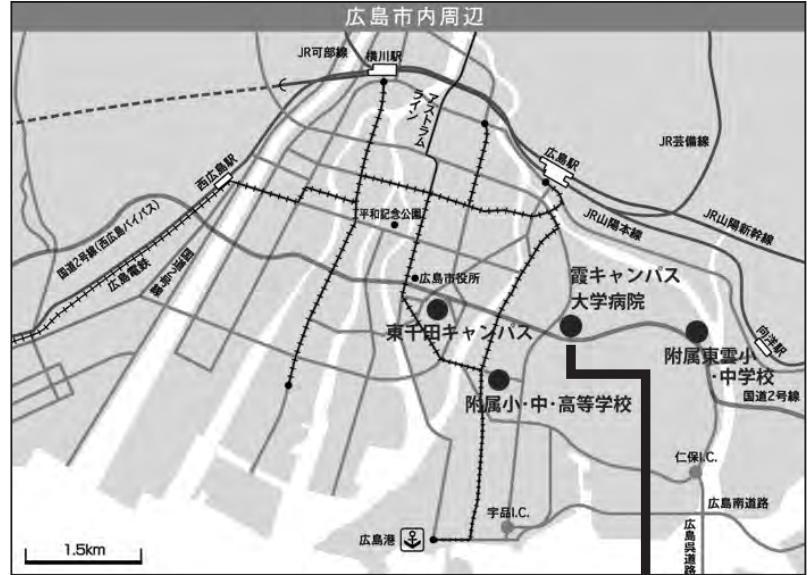
（広島市南区霞一丁目2番3号）

学部試験場 **医学部**、**歯学部**、**薬学部**

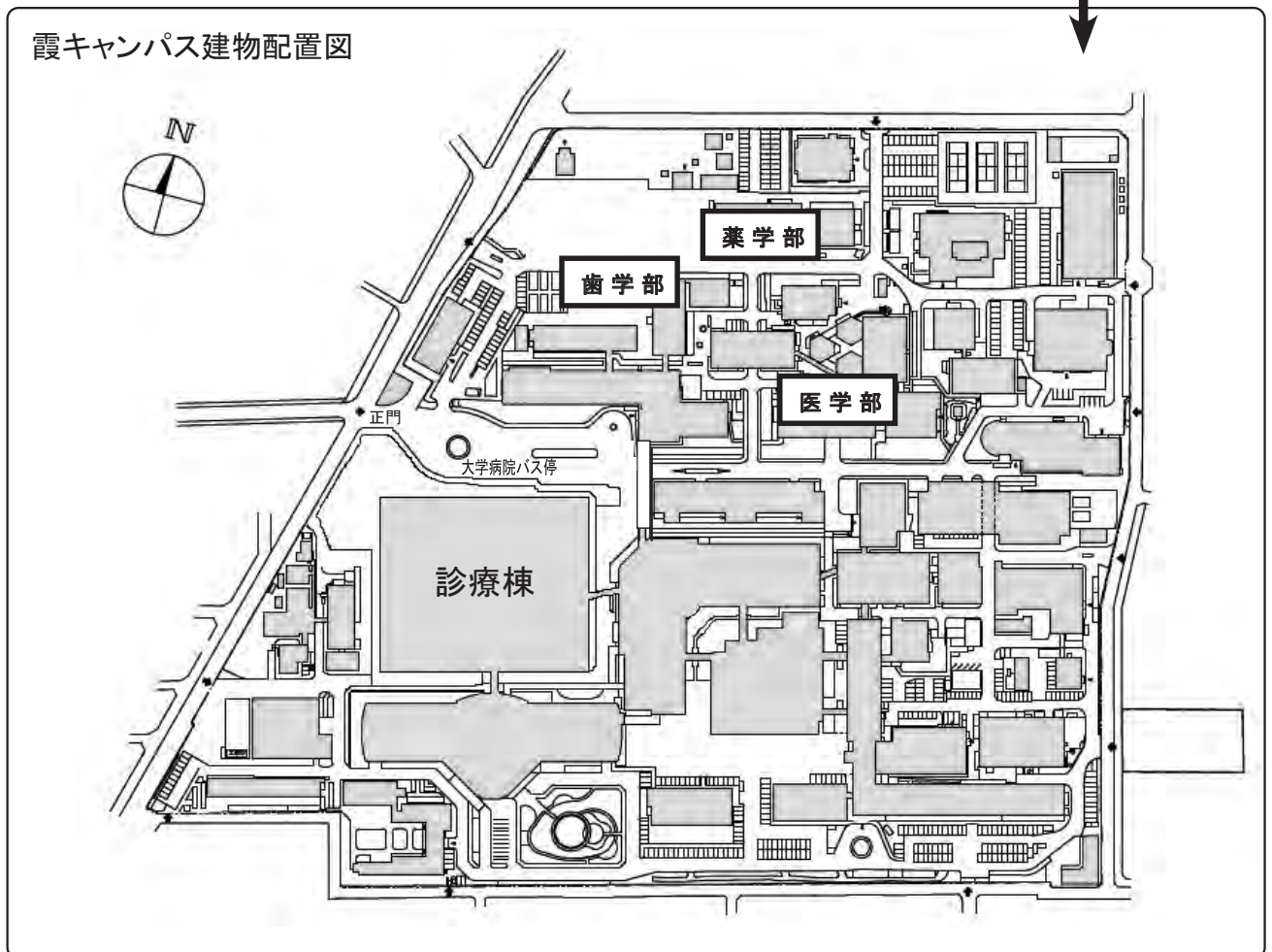
経 路

- ・ J R山陽本線・山陽新幹線「広島駅」前からバス「大学病院」行で、終点下車
(所要時間約 20 分)
- ・ J R山陽本線「横川駅」前からバス「大学病院」行で、終点下車
(所要時間約 40 分)
- ・ J R山陽本線「西広島駅」前からバス「大学病院経由旭町」行で、「大学病院」下車
(所要時間約 30 分)

霞キャンパス位置図



霞キャンパス建物配置図



大阪試験場(大阪大学中之島センター内) (大阪市北区中之島 4-3-53)

試験実施学部：**歯学部**

経 路

<電車によるアクセス>

- ・京阪中之島線 中之島駅下車 徒歩約 5 分
- ・阪神本線 福島駅下車 徒歩約 9 分
- ・JR 東西線 新福島駅下車徒歩約 9 分
- ・JR 大阪環状線 福島駅下車 徒歩約 12 分
- ・地下鉄四つ橋線 肥後橋駅下車 徒歩約 10 分
- ・地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅下車徒歩約 16 分

<バスによるアクセス>

- ・大阪市バス (75 系統) 大阪駅前バスターミナル→田養橋下車徒歩 1 分
(53 系統) 大阪駅前バスターミナル→中之島四丁目下車徒歩 1 分



広島大学の入試に関する情報について

1 広島大学ホームページ (Webサイト)

広島大学ホームページのメニュー「入学案内」→「入試情報」をご覧ください。大学の最新情報、教員の研究内容や学生生活など、広島大学に関する詳細な情報を調べることができます。

また、募集要項等の各種資料請求もできます。

詳しくは次のホームページをご覧ください。右のコードからご請求ください。

広島大学トップページ:<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>

募集要項・資料請求:<http://hiroshima-u.jp/nyushi/yoko/doga/seikyu>



資料請求はコチラ
(外部サイト)

2 受験生向け大学案内「広島大学で何が学べるか」

広島大学全体にかかわること、学部・学科等の内容及びキャンパス生活の情報などを、多くの写真を交えて詳しく紹介しています。請求方法は上記ホームページ等をご覧ください。

3 広島大学説明会・オープンキャンパス

6, 7 月には各地で広島大学説明会を, 8 月には各キャンパスでオープンキャンパスを開催します。どちらのイベントも, 教職員や在学生の話を直接聞くことで広島大学をより身近に感じることのできるものですので, ぜひご参加ください。

その他, 日本各地で業者等主催の説明会にも参加しますので, ぜひ広島大学のブースにお越しください。詳細は次のホームページをご覧ください。 <http://hiroshima-u.jp/nyusi/setsumeikai>

| | | | | | | |
|-----------|-----------------------------------|----------|----|----------|----|------------|
| 広島大学説明会 | 広島 | 6月21日(日) | 岡山 | 6月28日(日) | 神戸 | 6月28日(日) |
| | 山口 | 7月19日(日) | 松山 | 7月19日(日) | 福岡 | 7月20日(月・祝) |
| | 松江 | 7月26日(日) | 高松 | 7月26日(日) | | |
| オープンキャンパス | 8月18日(火), 19日(水) ※東千田キャンパスは19日のみ。 | | | | | |



説明会等日程

4 過去問題 (3 年分) が閲覧等できる場所

一般入試(前期・後期日程), AO入試の問題(AO入試の小論文を除く)を閲覧可能です。

なお, いずれの入試も, 「面接」及び「実技」(健康スポーツ系及び音楽文化系コース)に関する資料はありません。

また, 一般入試(後期日程)及びAO入試の問題(著作権該当部分を除く)は, 平成26・27年度入試分がWeb上でも閲覧できます。その他の入試における過去問題の情報と併せて公開していますので, 次のホームページをご覧ください。

<http://hiroshima-u.jp/nyushi/gakubu/kakomon>

| 閲覧場所 | | 備考 |
|------|---|--|
| 図書館 | 広島大学東広島キャンパス ・中央図書館 ・東図書館 ・西図書館 広島大学霞キャンパス ・霞図書館 | 平成25・26・27年度入試の過去問題が閲覧及びコピーできます。各図書館の開館時間は以下のホームページで参照してください。 http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp |
| オフィス | ・東京オフィス TEL 03-5440-9065 ・福岡オフィス TEL 080-1632-4204 ・大阪オフィス TEL 06-6444-2112 | 平成25・26・27年度入試の過去問題が閲覧のみできます(コピーはできません)。※来室の際は事前に電話連絡してください。 |



「広島大学入試アプリ」 できました!

広島大学入試アプリをダウンロードすれば、大学案内やパンフレット、紹介ムービー、最新の入試情報がいつでもスマートフォンでチェックできます。スマートフォンアプリで広島大学をもっと知ろう!

LINE@



広島大学

「広島大学入試 LINE@」 で情報発信中!

広島大学入試LINE@アカウントを友だち登録して下さった方に、入試関連イベントのお知らせや入試情報など、高校生・受験生のみなさんに役立つ情報をお届けします。LINE@で広島大学とつながろう!

広島大学フェニックス奨学制度

入学料
全額免除

&

在学中の授業料
全額免除

&

月額 10 万円の
奨学金給付

「広島大学フェニックス奨学制度」は、学力が優秀でありながら経済的理由により大学進学が困難な人を支援するための、広島大学独自の奨学制度です。

1.概要等

支援内容・・・入学料全額免除，在学中の授業料全額免除，奨学金の給付（月額10万円）

採用人数・・・10人程度（新入生（学部））

※本学の大学院へ引き続き進学した場合は，奨学生として支援を継続します。

※在学期間中は，本学が定める成績基準を満たす必要があります。成績基準を満たさない場合、奨学生の資格を失います。

2.申請方法

対象・・・次の入学試験の志願者のうち、「3.選考基準」に掲げる2つの基準を満たす方

AO入試（総合評価方式Ⅱ型）または一般入試（前期日程）

※本制度を希望する方は，以下の「お問い合わせ・申請書類請求先」にお電話でご連絡の上，返信用封筒（角型2号・申請者の住所氏名を記入・400円分の切手を貼付）をご送付ください。

電話受付期間：平成27年12月21日（月）～平成28年1月21日（木）

申請手続期限：AO入試（総合評価方式Ⅱ型）志願者 平成28年1月29日（金）
一般入試（前期日程）志願者 平成28年2月3日（水）

※申請には源泉徴収票や確定申告書など年収を証明する書類等が必要ですので，早めにご準備ください。

3.選考基準

選考方法・・・本制度に申請された方のうち，「2.申請方法」に掲げた本学入学試験により合格し，以下の2つの基準を満たした方の中から10人程度を奨学生として選考します。

・成績優秀者の基準

大学入試センター試験得点が，志願する学部・学科等の大学入試センター試験配点合計の80%以上

・経済的困窮度の基準

経済的困窮度は，前年（平成27年1月～12月分）の総収入金額を対象とし，世帯員全員の年収・所得の合計金額から，家族構成や家庭事情等に応じて定めている特別控除額を差し引いた金額が，本学で定めた収入基準額以下であることが必要です。

【収入・所得の上限の目安】

| 収入の種類 | 給与所得（年金を含む）（年収） （「源泉徴収票」の支払金額） | | 給与所得以外（年収） （「確定申告書」の所得金額（税込）） | |
|---------|-----------------------------------|-------|----------------------------------|-------|
| | 自宅 | 自宅外 | 自宅 | 自宅外 |
| 通学形態 | | | | |
| 世帯人数 3人 | 202万円 | 265万円 | 80万円 | 124万円 |
| 〃 4人 | 244万円 | 307万円 | 109万円 | 153万円 |
| 〃 5人 | 304万円 | 367万円 | 151万円 | 195万円 |

ホームページでもご確認いただけます。<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/keizaishien/phoenix.html>

【お問い合わせ・申請書類請求先】

広島大学 教育・国際室 学生生活支援グループ（フェニックス奨学制度担当）
〒739-8514 東広島市鏡山一丁目7番1号 TEL:082-424-6168, 6163 FAX:082-424-6159



平成28年度 広島大学AO入試 (総合評価方式) 入学志願票

受験番号
①

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|-------------|----------|-----------|---------------|------|-----------|--------------|--------|-----|------------------|----------|---------|--------|---------|----------|-----|---|--|
| 志望学部 | 学部 | | 学科 | | | | | | | | | | 専攻 | | | | | |
| | | | 第 類 (系) | | | | | | | | | | コース | | | | | |
| ⑭・選抜区分 ※志望ゼミナール分野 | 文 学 部 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 西洋哲学 | インド哲学・仏教 | 倫理学 | 中国思想文化学 | 日本史学 | 東洋史学 | 西洋史学 | 地理学 | 考古学 | 文化財学 | 日本文学語学 | 中国文学語学 | 英米文学語学 | ドイツ文学語学 | フランス文学語学 | 言語学 | | |
| | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | | |
| | 教育学部 第一類 | | | 経済学部 昼間コース | | | 理学部 生物科学科 | | | 医学部保健学科 看護学専攻 | | | 生物生産学部 | | | | | |
| | 文科系 | 理科系 | A選抜 | B選抜 | 一般型 | 科学オリンピック型 | 一般型 | 大学院進学型 | 専門型 | A型 | B型 | C型 | | | | | | |
| 1 | 2 | 4 | 5 | 31 | 32 | 41 | 43 | 42 | 45 | 46 | 47 | | | | | | | |
| 氏名 ② | | | | | | | | | | | ※性別 ④ | 生 年 月 日 | | | 満年齢 | | | |
| | | | | | | | | | | | 男 | 女 | 年号 | 年 | | 月 | 日 | |
| カタカナ ③ | | | | | | | | | | | 1 | 2 | 平成 | 昭和 | | | | |
| | | | | | | | | | | | H | S | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|---------------------|-------|------------------------------|-------|----------|-----|-----|-----|-----|------|----------------|------|---------------------------|--------|-------|----------------|----------------------|---------|-----------------|---|--------|---|---|--|--|
| 出願資格 | 出身学校 所在地 都道府県 | 都道府県 | フリガナ | | 出身学校名 | | | | | | | | | | | | 高等学校 中等教育学校 私立 | | | | | | | | |
| | 高等学校等コード ⑦ | | ※高等学校若しくは中等教育学校卒業者(卒業見込者を含む) | | | | | | | | | | ※高等学校若しくは中等教育学校卒業者以外 ⑬ | | | | | | 高校等卒業年 資格取得年 | | | | | | |
| | | | 課 程 ⑧ | | 学 科 ⑨ | | | | | | 卒業見込・卒業の別 ⑩ | | 外国の学校等 | 在外教育施設 | 専修課程 | 高等文部科学大臣の指定した者 | 高度認定卒業 | 高専3年終了他 | その年の ⑪ | | 年 ⑫ | | | | |
| | | 全日制 | 定時制 | 通信制 | 普通科 | 理数科 | 農学科 | 工業科 | 商業科 | 総合学科 | 1/6以上の学 | 卒業見込 | 卒業 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | H | S | | |
| 志願者 連絡先 | 住 所 | | 〒 - | | | | | | | | | | 電話 | | () - | | | | | | | | | | |
| | | | Fax | | () - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 携帯 | | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | メール | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上記以外の 連絡先 ※他に本人と連絡をとれる連絡先があれば記入 | 住 所 | | 〒 - | | | | | | | | | | 電話 | | () - | | | | | | | | | | |
| | | | Fax | | () - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 携帯 | | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | メール | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大学記入欄 | ⑳ | ㉑ | ㉒ | ㉓ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 調査書全体の | 評定平均値 | 工業数理基礎 | 簿記・会計 | 情報関係基礎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

歯学部志願者は、受験を希望する会場に○を付してください。

| | |
|------------|---------------------|
| 第1次選考試験会場 | 霞キャンパス試験場 (広島市) |
| (歯学部志願者のみ) | 大阪試験場 (大阪大学中之島センター) |

志願票記入上の注意

志願票の記入に当たっては、下記の事項をよく読み、**太ワクの中のみ記入**してください。

黒のボールペン（摩擦熱等の温度変化で筆跡が透明化するペンは使用不可）を用い、文字は楷書で丁寧に記入してください。

1. 氏名のカタカナは、1コマ1字ずつ記入してください。濁点「`」、半濁点「°」は、1コマを使用し、姓と名の間を1コマあけてください。氏名が長くて記入できない場合は、書けるところまで書いてあとは打ち切ってください。

記入例

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ヒ | ロ | タ | ド | イ | マ | ナ | フ | ド |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

2. 満年齢は、平成28年4月1日現在で記入してください。
3. 高等学校等コードは、「平成28年度大学入学者選抜大学入試センター試験受験案内」の「高等学校等コード表」により、該当コード番号を記入してください。（文学部のⅢ型を志願する者は、記入不要です。）
4. 生年月日の年号欄は、該当する年号を○で囲んでください。
5. 資格取得年は、平成28年3月卒業見込みの場合は、「28」と記入してください。
6. ※印の欄は、該当する英数字を○で囲み、それ以外の欄は、数字若しくは文字を記入してください。
なお、「志望ゼミナール分野・選抜区分」欄は文学部、教育学部第一類、経済学部経済学科昼間コース、理学部生物科学科、医学部保健学科看護学専攻、生物生産学部を志願する者のみ記入してください。
7. **歯学部を志願する者は**、第1次選考試験会場を霞キャンパス試験場（広島市）、大阪試験場（大阪大学中之島センター）のいずれか希望する会場を選択し、**○を付してください**。
（受験票には○を付さないでください。）
8. **生物生産学部を志願する者は**、志望学部のコースを**記入しない**でください。
9. **誤って記入した場合は**、**二重線を引き、余白部分に訂正（訂正印は、不要）してください**。（訂正は、文字がマスからはみ出してもかまいません。なお、**修正液及び修正テープ等は使用しないでください**。）

平成28年度 広島大学
AO入試(総合評価方式)写真票

受験番号

※記入しないでください。

| | | | |
|-----|-------------|--------------|--|
| 学 部 | 学 部 | | 写真貼り付け欄 注 意 上半身, 脱帽, 正面 向きで最近3か月以 内に撮影したもの ※白黒も可 (縦 4cm×横 3cm) |
| 学 科 | 第 類 (学科 系) | 専 攻 コ ー ス | |
| 氏 名 | | | |

注 太ワクの中だけ記入してください。

----- 切り離さないでください -----

平成28年度 広島大学AO入試(総合評価方式)受験票

| | | | |
|---------------------------|--------------------|------------------------|--------------|
| 氏 名 | | 受験番号 | ※記入しないでください。 |
| 学 部 | 学 部 第 類 (学科 系) | 専 攻 コ ー ス | |
| 第1次選考 希望試験場 (歯学部のみ) | 霞キャンパス試験場 (広島市) | 大阪試験場 (大阪大学中之島センター) | |

注意事項 本受験票は、試験当日必ず携帯してください。

----- 切り離さないでください -----

入学検定料
振込証明書
貼付用紙

| |
|--------------|
| 受験番号 |
| ※記入しないでください。 |

(貼り付け欄)
※剥がれないように貼り付けてください。

○振込銀行の振込証明書を貼付してください。

○志願者本人の捺印と、手数料の振込証明書を貼付してください。

○志願者の捺印と、手数料の振込証明書を貼付してください。

○志願者の捺印と、手数料の振込証明書を貼付してください。

○志願者の捺印と、手数料の振込証明書を貼付してください。

----- 切り離さないでください -----

平成28年度 広島大学AO入試(総合評価方式)大学入試センター試験成績請求・受験教科・科目確認票

| | | |
|-----------|-----------------------------|---|
| AO | 平成28センター試験成績請求票 国公立AO入試用 | |
| 貼 り 付 け 欄 | | |
| ③ | ④ | ⑤ |

| | | |
|--|---|---|
| 受験番号 | ① | ② |
| 受験教科・科目確認欄 ※受験する学部・学科・類・コースに 対応する記号を記入してください。 [50ページ~52ページ参照] | | |

平成28年度 広島大学AO入試(総合評価方式)住所票 1

| | |
|--|--|
| 資 料 等 送 付 先 (必ず記入してください) ※「機」は訂正しないでください。 | |
| 受 験 番 号 (記入しないでください) | |

.....切り離さないでください.....
平成28年度 広島大学AO入試(総合評価方式)住所票 2

| | |
|--|--|
| 合 格 通 知 書 送 付 先 (必ず記入してください) ※「機」は訂正しないでください。 | |
| 受 験 番 号 (記入しないでください) | |

.....切り離さないでください.....
平成28年度 広島大学AO入試(総合評価方式)住所票 3

| | |
|--|--|
| 合 格 通 知 書 送 付 先 (必ず記入してください) ※「機」は訂正しないでください。 | |
| 受 験 番 号 (記入しないでください) | |

.....切り離さないでください.....
平成28年度 広島大学AO入試(総合評価方式)住所票 4

| | |
|---|--|
| 入学式,オリエン テーション関係 資 料 等 送 付 先 (必ず記入してください) ※「機」は訂正しないでください。 | |
| 受 験 番 号 (記入しないでください) | |

.....切り離さないでください.....
広島大学体育会・大学祭実行委員会及び広島大学消費生活協同組合資料送付用
平成28年度 広島大学AO入試(総合評価方式)住所票 5

| | |
|--|--|
| 学 部 名 ※注④ 資 料 等 送 付 先 (資料送付を希望される方は記入してください) ※「機」は訂正しないでください。 | |
| 受 験 番 号 (記入しないでください) | |

注① この住所票は、シール式になっているので、はがれないように取り扱ってください。
 注② 太ワクの中だけ記入してください。
 注③ 「機」は訂正しないでください。
 ※注④ 本住所票には、平成28年3月の時点で確実に届く住所を記入してください。

平成28年度 広島大学AO入試（総合評価方式）実技検査受験種目届

教育学部第四類（生涯活動教育系）健康スポーツ系コース

| | | | | | |
|------|--------------|-----|--|-----|-----|
| 受験番号 | ※記入しないでください。 | | | | |
| 種 目 | | 氏 名 | | 性 別 | 男・女 |
| 記 号 | 受 験 種 目 名 | | | | |
| | | | | | |

※上記の学部，類，コースの志願者のみ提出してください。

..... 切 り 取 り 線

平成28年度 広島大学AO入試（総合評価方式）実技検査受験種目届

教育学部第四類（生涯活動教育系）音楽文化系コース

| | | | | | |
|------|--|-----|--|-----|-----|
| 受験番号 | ※記入しないでください。 | | | | |
| 種 目 | A. 声楽（声種： ） B. 器楽（楽器名： ） C. 作曲 | 氏 名 | | 性 別 | 男・女 |

受験する種目を○で囲ってください。

| | | | |
|-------|---|---------|--|
| 受 験 曲 | ① | 作 曲 者 名 | |
| | | 曲 名 | |
| | ② | 作 曲 者 名 | |
| | | 曲 名 | |

1. 作曲の演奏曲については、①に記入してください。

2. 23ページの2. **第四類（生涯活動教育系）音楽文化系コース** 注意（2）を参照の上、受験する曲の楽譜を併せて提出してください。

※上記の学部，類，コースの志願者のみ提出してください。

..... 切 り 取 り 線

受験番号

※記入しないでください。

自己推薦書 1/2

* この自己推薦書は1/2, 2/2の2枚で構成されています。

志願者が自筆、手書き、黒ボールペン（摩擦熱等の温度変化で筆跡が透明化するペンは使用不可）で記入してください。

志望学部 _____ 学部 _____ 学科 _____ 専攻 _____

第 _____ 類(_____ 系) _____ コース _____

志願者氏名 _____

志望ゼミナール分野(文学部のみ記入)

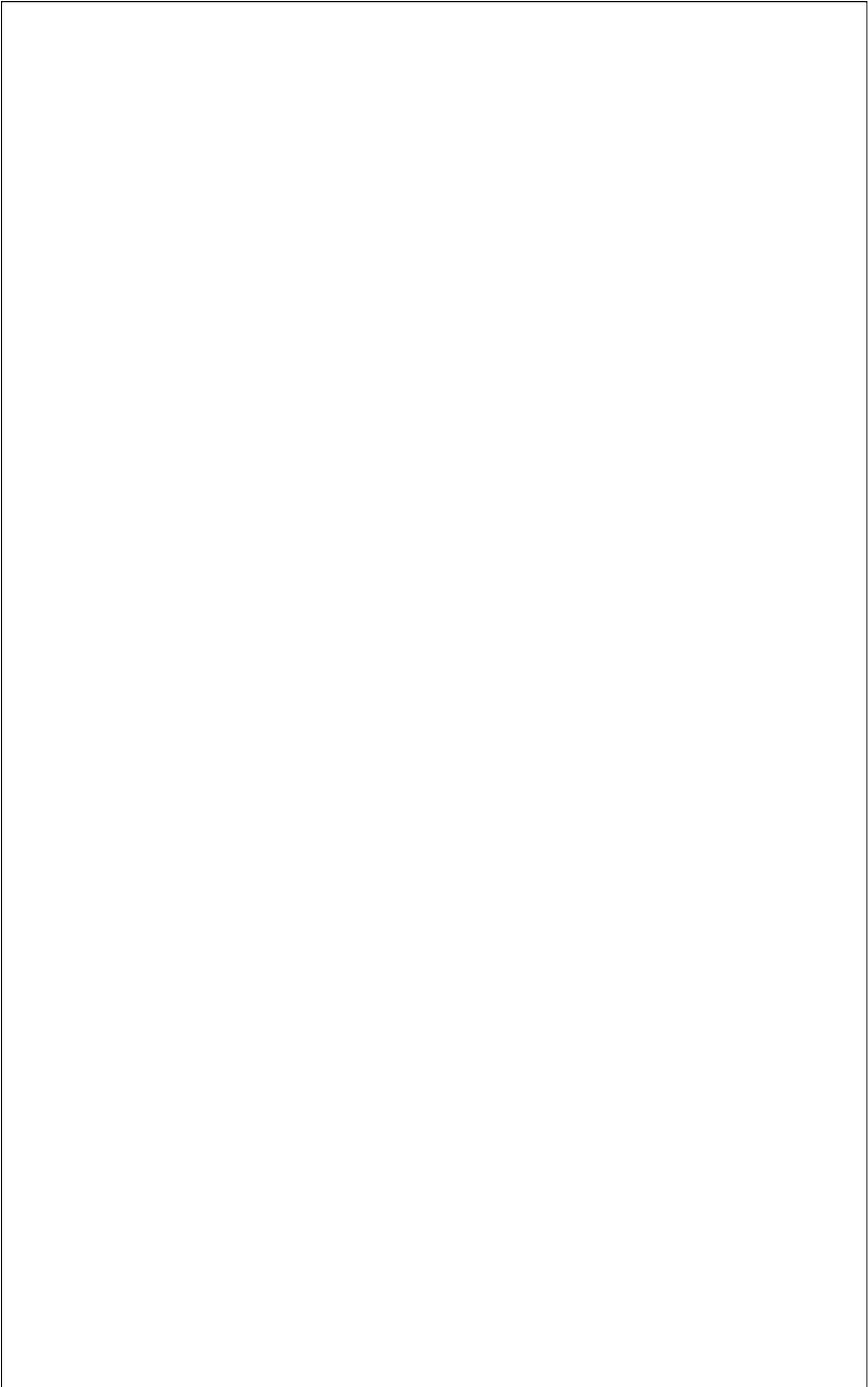
1. あなたが高校時代(高校卒業後を含めてよい)に積極的に取り組んだ勉学・活動は何ですか。次のA~Iの項目の中から該当するものの欄に○印を記入し(複数選択してもよい)、その内容を裏面に具体的かつ簡潔に記入してください。

| 記入欄 | 高校時代(高校卒業後を含めてよい)に積極的に取り組んだ勉学・活動の内容 |
|-----|---|
| A | 語学能力 <英検, TOEIC [®] 等, 外国語の検定試験合格など> |
| B | 国際交流 <海外研修や留学の経験など> |
| C | スポーツ・科学・文化・芸術活動 <科学オリンピック, 各種大会での活動など> |
| D | 学校内の諸活動 <部活動, 生徒会活動, SSH, SSP での活動など> |
| E | 自主活動 <継続した社会奉仕活動や自己啓発活動への参加など> |
| F | 各種資格 <[A]語学能力以外の各種資格取得, 検定試験合格など> |
| G | 学業成績 <極めて優れた学業成績を収めるなど> |
| H | 就業における特別な活動<高校卒業後就職した者の場合で, 仕事の上で特記される活動など> |
| I | その他 |

【注意事項】

- ・上記の勉学・活動の内容に関連する資料があれば、この用紙に添付してください(コピーでよい)。
- ・裏面に記載が無い場合には、具体的な内容が無いものとして扱います。
- ・英語外部検定試験を利用したAO入試で提出を要する、各種検定試験合格及び各種資格取得については、証明する資料(原本)を必ず添付してください。願書受付時に確認後、返却します。
- ・添付資料は、可能な限りA4判に統一してください。
- ・添付資料は、クリップ留めして、資料が容易に取り外せるようにしてください(ホチキス留め不可)。
- ・CD-R, USB等の記録媒体の添付はできません。
- ・教育学部第四類(生涯活動教育系)健康スポーツ系コースの志願者については、「スポーツ種目競技実績調査書【様式2】」に添付する資料と同じ場合は、添付不要です。「スポーツ種目競技実績調査書【様式2】」に添付しない資料のみを添付して提出してください。
- ・教育学部第四類(生涯活動教育系)造形芸術系コースの志願者については、できるだけ美術以外の内容について記入してください。資料を添付する際には、「美術に関わる活動実績調査書【様式3】」に添付しない資料のみを添付して提出してください。

(裏面に続く)



自己推薦書 2/2

2. あなたがこの学部・学科に関連して自己アピールできることは何ですか。志望する理由も併せて具体的に記入してください。記入の際は、志願者が自筆、手書き、黒ボールペン（摩擦熱等の温度変化で筆跡が透明化するペンは使用不可）で記入してください。

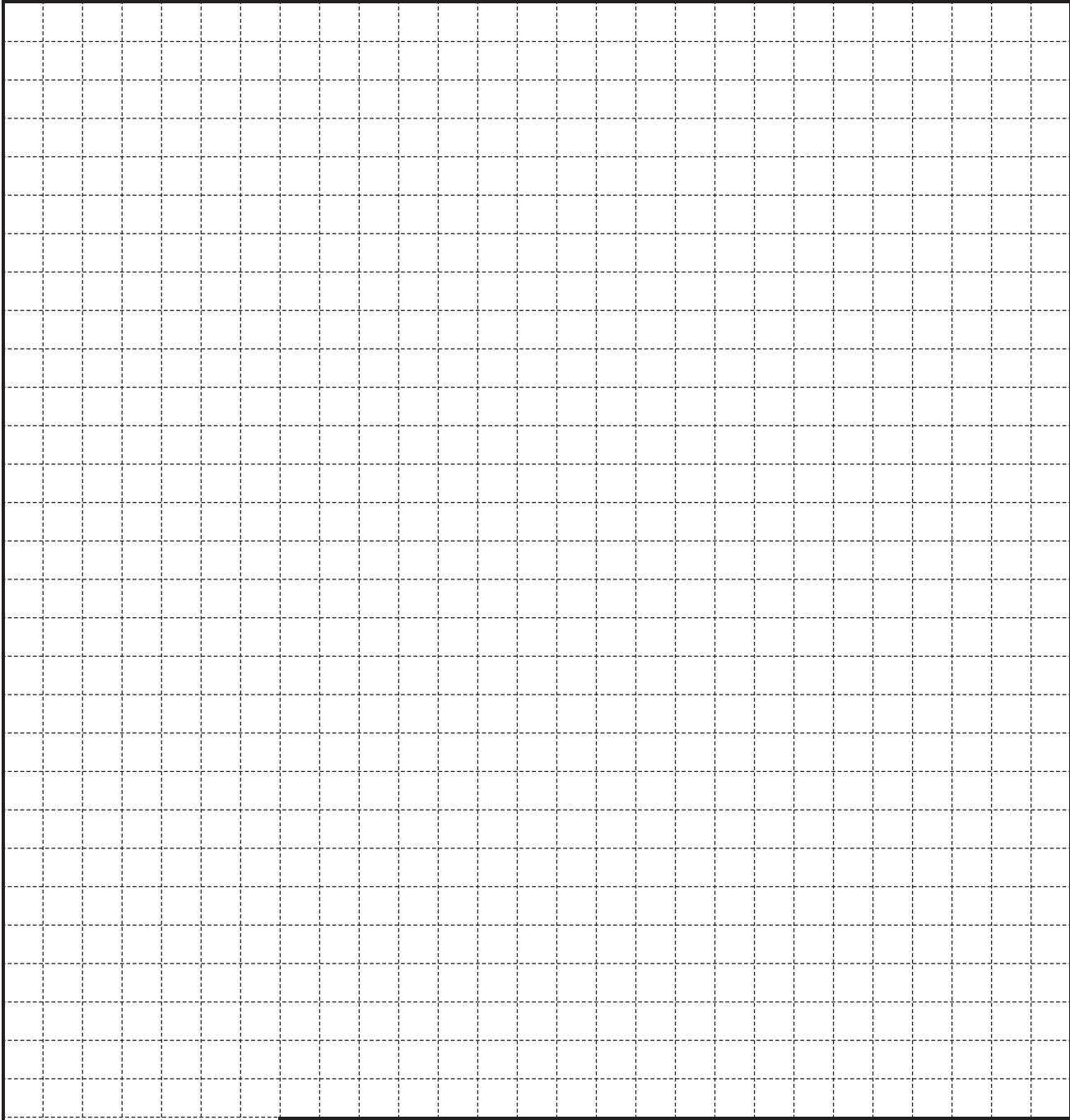
なお、医学部医学科は、MD-PhDコースへ進学後に希望する研究内容や、目指す研究者像がわかるように志望理由を書いてください。（注：この用紙には資料添付はできません。）

※字数指定：総合科学部・文学部・医学部医学科は 1600 字以内。医学部保健学科 1200～1600 字。
上記以外の学部は 800 文字程度

10

20

27



ここまで1600字

受験番号

※記入しないでください。

スポーツ種目競技実績調査書

(教育学部第四類(生涯活動教育系)健康スポーツ系コースの志願者のみ、全員提出してください。)

志願者氏名

高等学校在学中の競技実績種目(受験科目に限る)※

1 有

2 無

※1に○をした場合は、(注)をよく確認の上、以下の項目を記入し提出してください。

2に○をした場合は、以下の項目の記入は不要です。志願者氏名を記入し、提出してください。

スポーツ種目競技実績

| | |
|---------------|--|
| 種目名 (受験種目) | |
|---------------|--|

| 1. 出場大会名 | 2. 出場 学年 | 3. 専門種目 ポジション | 4. 成績 | 5. 記録 |
|----------|-------------|------------------|-------|-------|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| | |
|---------|--|
| 6. 特記事項 | |
|---------|--|

このスポーツ種目競技実績は、23 ページの表に示された種目のうち実技検査受験種目として届け出た種目のみが対象となります。また、記入にあたっては、以下の(注)をよく読んで正しく記入してください。

なお、(注)の1から6は、上の表の欄1から6にそれぞれ対応しています。

(注)

- 高等学校在学中、本人が出場し、競技(プレー)した全国レベルの大会の中で、もっとも成績の良かった大会を3つまで選び、社会的評価の高いと思われる大会から順に、その正式大会名を記入してください。ただし、陸上競技の場合はトラック競技(リレーを除きます。)及びフィールド競技、水泳の場合は競泳(リレーを除きます。)を対象とします。また、本人が当該大会に登録されていても、実際に競技(プレー)しなかった試合は除きます。
- 1で記入した大会に出場した学年を記入してください。
- 個人競技の例として、「水泳・自由型 100m」、「柔道・階級○○級」等を記入してください。また、団体競技や団体戦の例として、「フォワード」、「ガード」、「先鋒」、「大将」等を記入してください。
- 「第○位」、「決勝トーナメント○回戦敗退ベスト○○」等を具体的に記入してください。また、出場チーム数・人員数等も記入してください。
- タイム、得点等を記入してください。
- 特記事項の欄には、団体競技で個人として優秀な成績をおさめた者の場合、その内容(選抜選手、候補選手、強化選手等)を具体的に記入してください。また、その他の場合、公認のベスト記録、ランキング、段位、表彰等について記入してください。
- 記入したスポーツ競技実績を証明する資料(公式試合における本人の出場記録、公式記録あるいは大会報告書、表彰状、新聞記事事項、スポーツ専門雑誌記事事項、競技団体の機関誌等)のコピーを必ず添付してください。なお、成績・記録を証明する資料がない場合、本人の競技歴とはみなされないので注意してください。
- 出願書類提出期限以降に、(注)1に該当する実績が得られた場合は、その成績・記録を証明する資料を10月22日(木)までに教育学部まで書留で郵送してください。

受験番号

※記入しないでください。

美術に関わる活動実績調査書

(教育学部第四類(生涯活動教育系)造形芸術系コースの志願者のみ記入してください。)

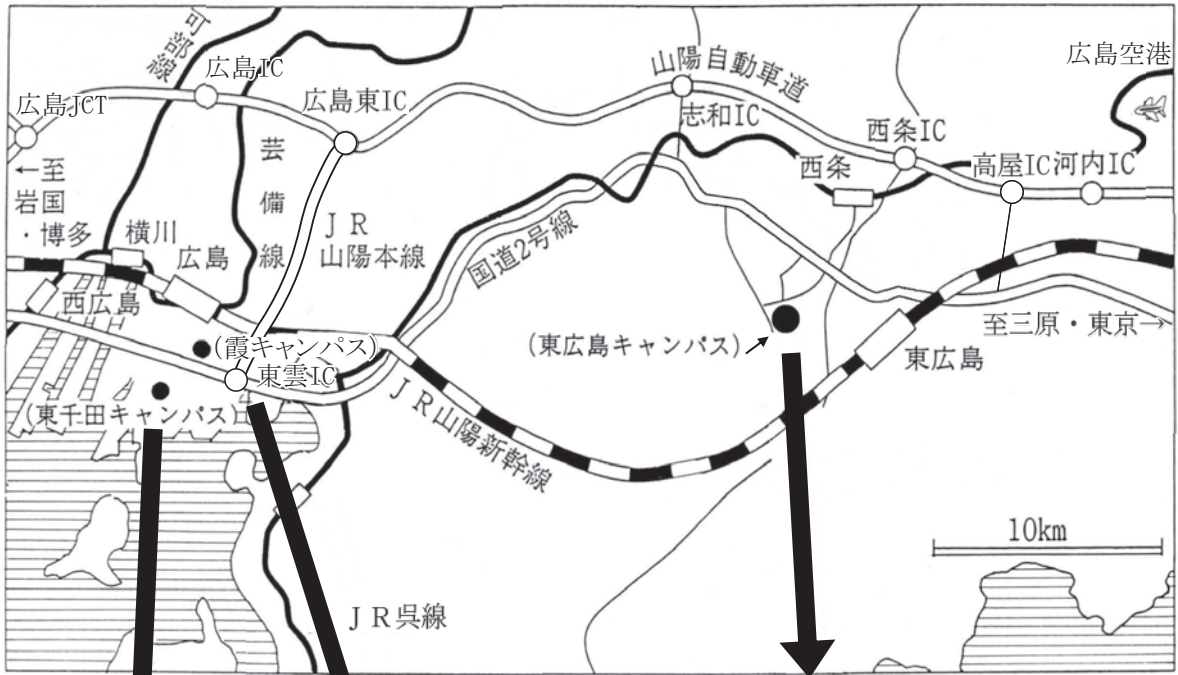
志願者氏名

| 活動内容 | |
|------|---|
| 1 | ① |
| | ② |
| 2 | ③ |
| | ① |
| 3 | ② |
| | ③ |

(注)

- 活動内容は、美術に関わるものとします。(「自己推薦書」に記載した内容との重複も可)
高等学校入学以後、本人が制作・発表した作品、あるいは論文や公刊物等に掲載されたもの、またはボランティア活動等の社会的活動、学校での活動などから特にアピールしたい具体的な実績を3つ以内で選び、記入してください。
「活動内容」には次の①～③を明記してください。①「活動年・月」(活動・発表を行った年・月やその期間(平成〇〇年〇〇月))、②「活動の場」(活動等の発表先(展覧会名等)、発表場所(美術館、学校等)、公刊物の名称、発行機関、出版社等、または主催者)、③「活動の概要」(具体的に。受賞などもあれば記入してください。)
- 記入した各々の活動内容が明確にわかるように、クリアブック等を用いて活動実績ポートフォリオ〔代表的な作品写真、状況のわかる写真・記事等をA4版(コピー可)で整理した資料〕を作成し、添付してください。また客観的に本人のものであることを証明する資料(公刊物、展覧会図録、パンフレット等のコピーや、第三者による証明書(A4判、書式は自由))も併せて添付してください。なお活動実績を証明する資料がない場合、その活動は本人の活動実績とはみなされないので注意してください。
- 活動実績が特にない場合は、記入欄1-③に「特記事項なし」と記入し提出してください。

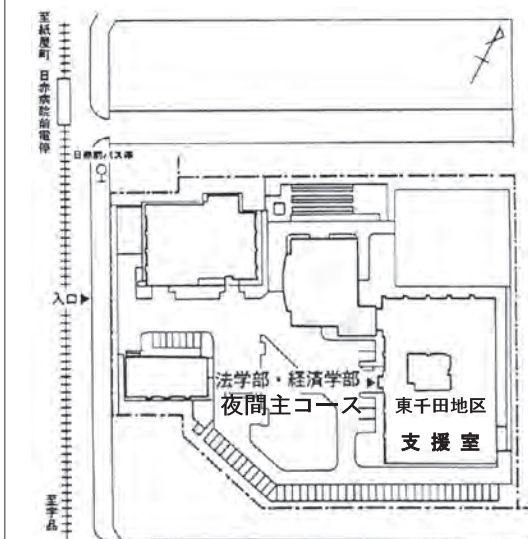
広島大学位置図



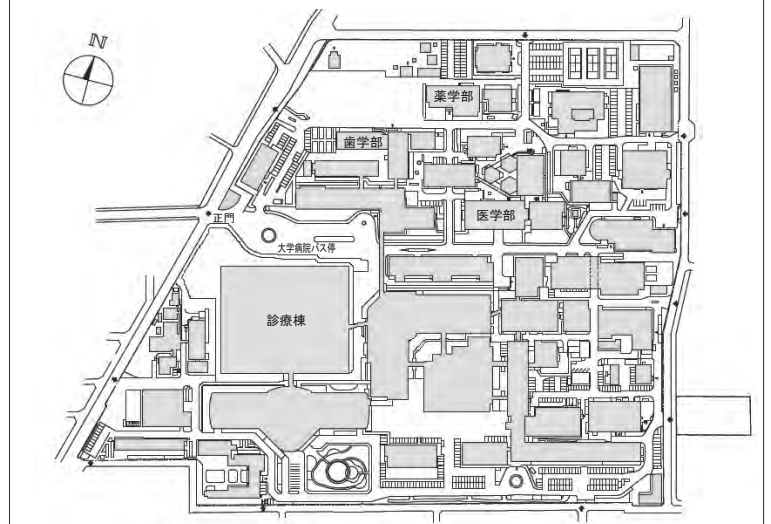
東広島キャンパス建物配置図



東千田キャンパス建物配置図



霞キャンパス建物配置図



経路

- ・ J R 広島駅前からバス紙屋町經由「広島港 (宇品)」行で「日赤前」下車 (所要時間約 20 分)
- ・ J R 広島駅前から市内電車紙屋町經由「広島港 (宇品)」行で「日赤病院前」下車 (所要時間約 30 分)
- ・ J R 西広島駅前から市内電車「広島港 (宇品)」行で「日赤病院前」下車 (所要時間約 30 分)



広島大学

建学の精神

自由で平和な一つの大学

大学の理念

平和を希求する精神
新たなる知の創造
豊かな人間性を培う教育

地域社会・国際社会との共存
絶えざる自己変革

学部等照会先

東広島キャンパス 受付時間 午前9時から午後5時まで(土日・祝日を除く)

| | | | |
|-------------|-----------|---------------|------------------|
| 総合科学部 | 〒739-8521 | 東広島市鏡山一丁目7番1号 | TEL.082-424-6315 |
| 文学部 | 〒739-8522 | 東広島市鏡山一丁目2番3号 | TEL.082-424-6613 |
| 教育学部 | 〒739-8524 | 東広島市鏡山一丁目1番1号 | TEL.082-424-6725 |
| 法学部(昼間コース) | 〒739-8525 | 東広島市鏡山一丁目2番1号 | TEL.082-424-4648 |
| 経済学部(昼間コース) | 〒739-8525 | 東広島市鏡山一丁目2番1号 | TEL.082-424-7217 |
| 理学部 | 〒739-8526 | 東広島市鏡山一丁目3番1号 | TEL.082-424-7315 |
| 工学部 | 〒739-8527 | 東広島市鏡山一丁目4番1号 | TEL.082-424-7524 |
| 生物生産学部 | 〒739-8528 | 東広島市鏡山一丁目4番4号 | TEL.082-424-7915 |

霞キャンパス 受付時間 午前9時から午後5時まで(土日・祝日を除く)

| | | | |
|-----|-----------|---------------|------------------|
| 医学部 | 〒734-8553 | 広島市南区霞一丁目2番3号 | TEL.082-257-5049 |
| 歯学部 | 〒734-8553 | 広島市南区霞一丁目2番3号 | TEL.082-257-5614 |
| 薬学部 | 〒734-8553 | 広島市南区霞一丁目2番3号 | TEL.082-257-5777 |

東千田キャンパス 受付時間 午後1時から午後9時まで(土日・祝日を除く)

| | | | |
|--------------|-----------|-------------------|------------------|
| 法学部(夜間主コース) | 〒730-0053 | 広島市中区東千田町一丁目1番89号 | TEL.082-542-6998 |
| 経済学部(夜間主コース) | 〒730-0053 | 広島市中区東千田町一丁目1番89号 | TEL.082-542-6961 |

【入学センター】 〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号 TEL.082-424-4656

※東広島市外からは、すべて市外局番をダイヤルしてください。